

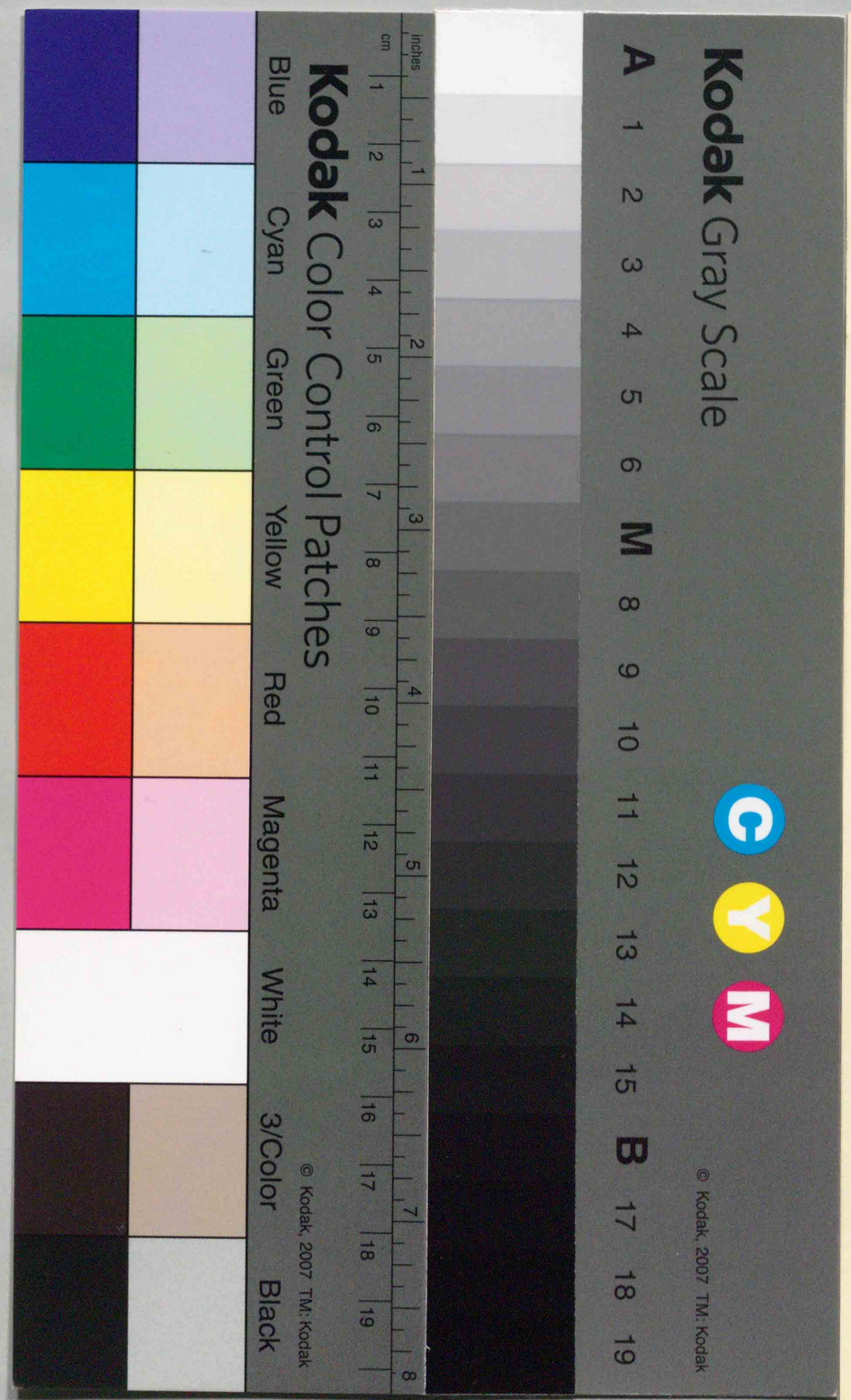
教科書文庫  
4  
293  
40-1925  
2000301541

編所輯編堂省三  
高教等中  
理地界世近最

卷中

版訂九

社 會 式 株  
行 業 堂 省 三



42825

教科書文庫

4
293
40-1925
2000301541



教科書文庫

4

293

40-1925

2000301541

資料室

375.9  
Salt

# 中 等 教 育 最 近 世 界 地 理

三 省 堂 編 輯 所

編 纂

九 訂 版

中 卷



株 式 會 社

三 省 堂 發 兌

広島大学図書



広島大学図書

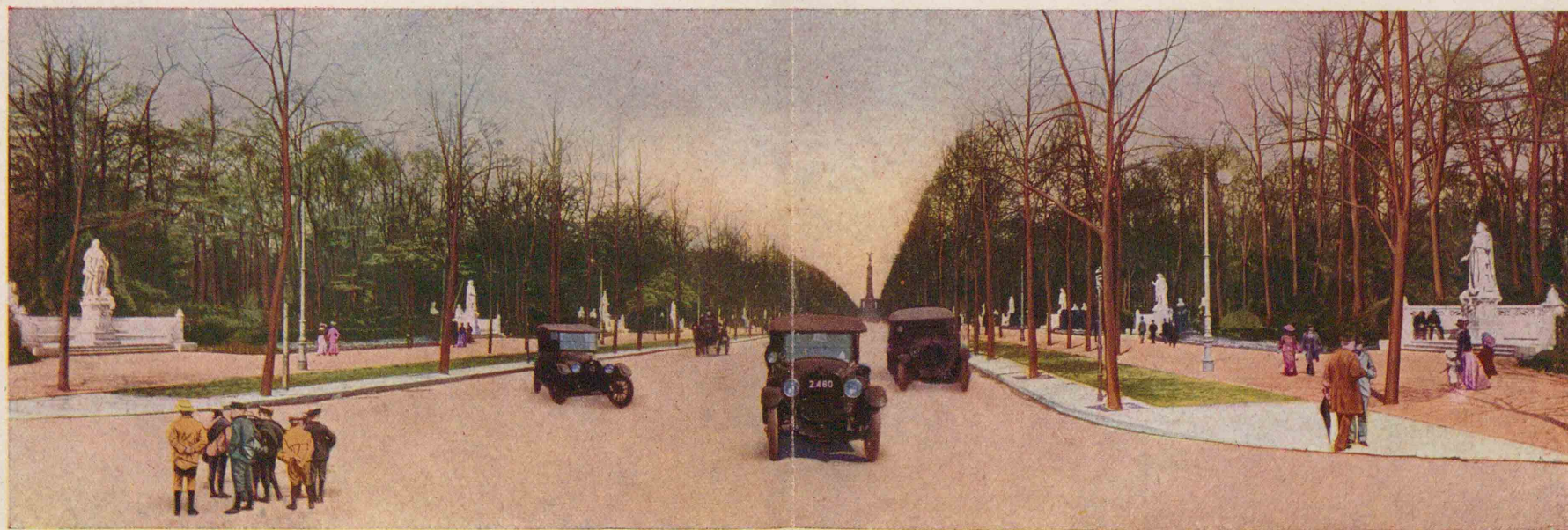
2000301541



倫敦を世界の大都たらしめしはテムス河にして、テムス河を世界の  
大港たらしむるは倫敦なり。テムス河には數多の架橋あり、  
タロー橋、倫敦橋、ウエストミンスター橋等は殊に著ける。  
圖はウエストミンスター橋を上流より望みたる光景にして、  
左岸には國會議事堂巍然として峙ち、その背後に、ウエスト  
ミンスター寺の高塔も僅に現はれ、右岸に見ゆるはセントト  
ーマス病院なり。



ロンドンテムズ河



ベルガミーチのストリート

中等教育最近世界地理 中卷 目次

第三編 歐羅巴洲

概説	.....	一
各説	.....	四
第一章 露西亞	.....	四
第二章 フィンランド	.....	一三
第三章 バルチック沿海諸國	.....	一四
第四章 スカンデナヴィヤ半島	.....	一五
第五章 丁 抹 附アイスランド	.....	二二
第六章 獨逸	.....	三三
第七章 波 蘭 附ダンチヒ	.....	三四
第八章 チェッコスロバキヤ	.....	三六
第九章 墺地利 附リヒテンスタイン	.....	三八
第十章 洪牙利	.....	四〇

目次

チーヤガルデンは森林的の大公園なり、園はその中央道路にして、白大理石の塑像は幾十となく路を挟んで來人往者を睥睨す、即ち普佛戰爭の記念として、皇帝功臣學者詩人より美術家・音樂家に至るまで、總てこの國の名士を影み列ねたるものなり、戰勝記念塔は遙に高く聳え、凱旋門も亦附近にあり、普佛戰爭に勝ち誇れる當時と、歐洲戰爭に敗れたる現時と、國民の感果して如何ぞや。

第十一章	瑞 西	三
第十二章	佛蘭西 附モナコ	四
第十三章	白耳義 附ルクセンブルグ	五
第十四章	和 蘭	六
第十五章	英吉利	七
第十六章	イペリヤ半島 附アンドラ	八
第十七章	伊太利 附サンマリノ	九
第十八章	バルカン半島	一〇
一 希臘		
二 アルバニヤ		
三 ユーゴスラビヤ		
四 ルーマニヤ		
五 ブルガリヤ		
六 歐羅巴土耳其		
總 說		一〇四

附 錄  
設 問 集

中等 最近世界地理 中卷 目次終



中等 最近世界地理 中卷

第三編 歐羅巴洲

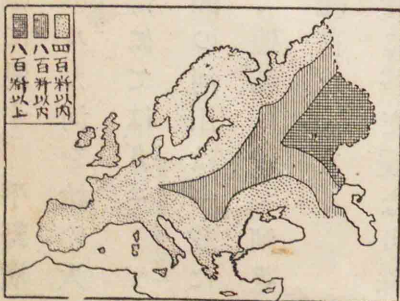
Europe

概 説

■ 歐羅巴洲は、亞細亞洲の西に連る半島状の大陸にして、その面積は亞細亞洲の四分の一に足らざれども、周邊には半島海灣等の肢節錯雜するを以て、面積の割合に海岸線の長きこと、諸大洲中第一に位し、大陸の内部と雖、海岸より八百軒を超越る處は極めて少し。

洲の西部は幅狭きが上に、アルプ山脈及びその餘派諸方に連りて、地勢錯雜すれども、東

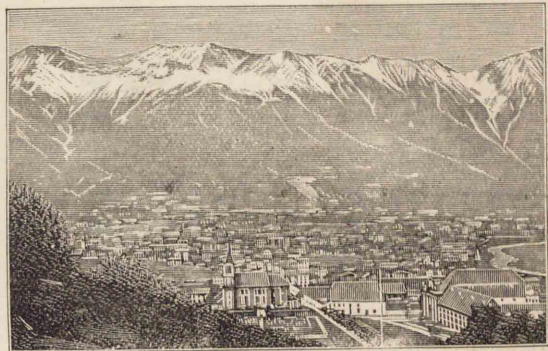
面積 約九百九十萬  
方軒(約六十  
四萬方里)  
人口 約四億五千萬  
(世界人口の  
四分の一餘)



離 距 の と 岸 海

歐羅巴洲 概 説

本洲の氣候は緯度の關係上南北によりて異なると共に海流の影響上東西によりて異なるが故に最寒の地は東北部にあり

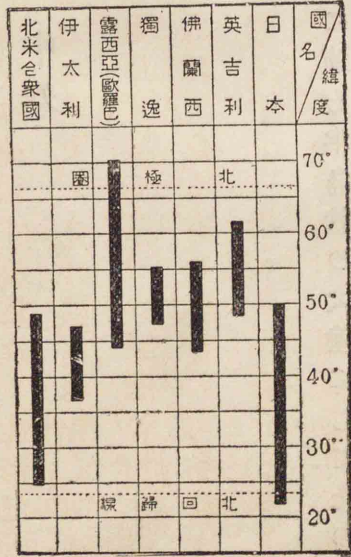


アルプス山の脈の部

方の大部は露西亞平原に屬す。平野廣き東部には、本洲最大のボルガ河を始め大河多く、山地に富める西部にては、ダニューブ河の獨り大なるのみ。本洲の河川は、一般に水量多く、互に運河を以て連結し、殆ど一河系の觀をなせるが故に、交通甚だ便なり。

一 氣候は緯度の割合に甚だ暖なり、殊に

暖流の影響を受けて雨量多く、夏涼冬暖の好氣候を有すれども、東部に趣くに從ひ、次第に大陸性に傾けり。英吉利は我が



緯度上於ける日本と歐羅巴洲との比較

三大民族の外西部にケルト族、希臘に希臘族及びピレネー山中にバスク族あり

樺太の北境以北にあれども、その海岸は凍結する處なく、北海道と同緯度の伊太利は、避寒の好適地となれり。されば土地普く開け、加ふるに石炭鐵等の鑛産豊富なれば、工業商業等の發達著し。

住民は東方の一部に亞細亞人種を見る處あれども、大多數は歐羅巴人種にして、中にもラテン族・チルトン族・スラブ族をその主腦とし、學藝産業等の進歩著しく、現に大小約三十の國家ありて、世界獨立國の半を占む。便宜上、本洲を分ちて左の諸地方とす。

- 露西亞 フィンランド バルチック沿海諸國 スカンヂナヴィヤ半島
- 丁抹 獨逸 波蘭 チェッコスロバキヤ
- 塊地利 洪牙利 瑞西 佛蘭西
- 白耳義 和蘭 英吉利 イベリヤ半島
- 伊太利 バルカン半島

各説

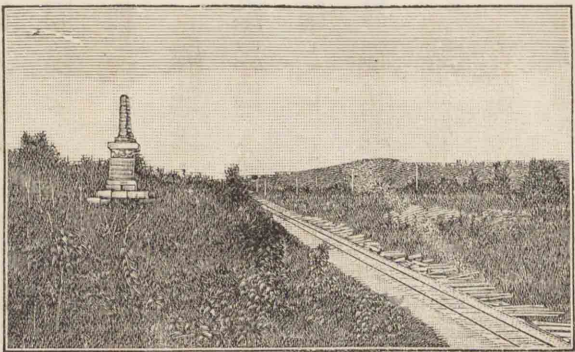
第一章 露西亞

面積人口  
 面積約四百三十萬方里  
 (約二十八萬方里) 人口約九千五百萬

隣邦  
 フィンランド・バルチック沿海諸國・波蘭・ルーマニア・亞細亞露西亞

ウラル山脈は最高のテルボス山も尙高さ千六百餘米に過ぎず

大平原は臺地の割剝られたるより生じたるものにして斯る構造の平野を準平原といふ

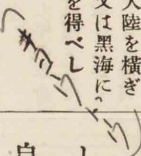


(よ見をきた觀の中山ど治てしと々坦)道鐵斷横ルラウ

**地形** 露西亞は大平原國にして、東境にウラル山脈連れども、その傾斜は極めて緩にして、交通上の障碍著しからず。内部は茫漠たる歐羅巴大平原にして、處々に丘陵の起伏を見るのみ。バルダイ連丘は、その中の最も高きものなれども、尙三百餘米に過ぎず。東南部の裏海に接する地方は、廣大なる窪地をなせり。

國內大河多く、概内部の丘地により、分れて三方に流る。南部には本洲最大のボルガ

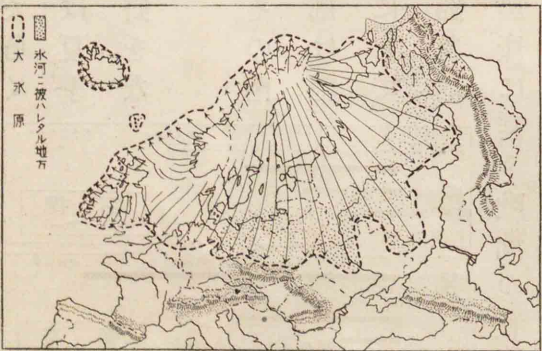
北極海又はバルチック海より水路によりて大陸を横ぎり裏海又は黒海に通ずるを得べし



河を始め、ウラル・ドン・ドニエプル等の大河多く、北部にはペチョラド・ビナ・ヂューナ等の諸川あり。何れも、水勢緩にして、概上流まで溯航し得べく、且運河の連絡ありて、舟運の便に富み、又冬季は凍結して、良好の橈道となれり。西北部には湖水多く、ラドガ・オネガの兩湖は殊に大なり。何れも地質時代に於ける、氷河堆石によりて成れるものなり。

國の三面に海を控へ、北には白海灣入し、西北にはフィンランド灣あれども、共に冬季凍結の不便あり。南方の黒海は、クリミア半島・アゾフ海等の屈曲に富めるも、入口を他國の領土に扼せらるゝ不便あり。

**氣候** 土地廣漠にして、地勢單一なるが上に、海の影響を受くること少きを以て、概大

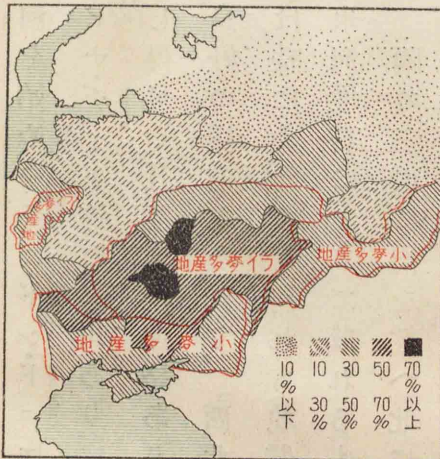


方地るたれば被に河氷て於に代時河氷



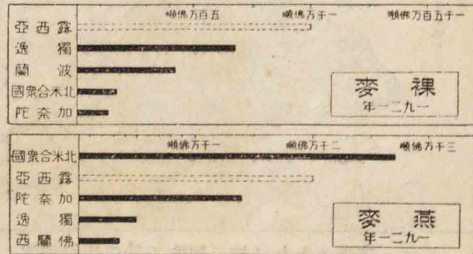
陸性を帯び、中部以北は、冬永くして寒氣甚だ強く、北部の一帶は凄凉たる凍原をなし、東南部は夏季酷熱にして降雨乏しく、之が爲に沙漠的の草野をなせる處あり。

【産業】 北部の凍原帯は全く不毛なれども、その南には森林帯ありて、木材・毛皮等を産し、西南部は肥沃の黒土帯にして、



露西亞の耕地分布

沃の黒土帯にして、麥類・麻類・馬鈴薯・甜菜・煙草等の農産に富み、歐洲の穀倉と稱せらる。東南部は牧畜盛にして、殊に馬の頭數は世界第一に位し、牛羊等も亦多く、名産たる露西亞草の外羊毛等を出す。鑛産は頗る豊富

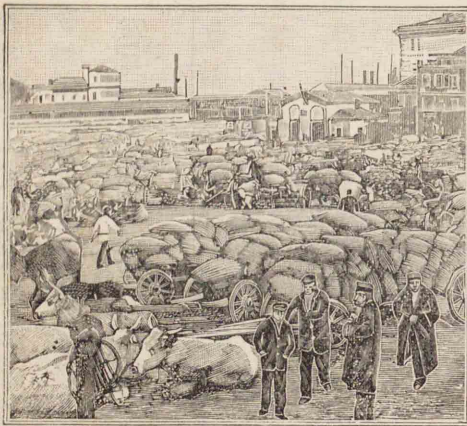


大麻・亞麻の産額に世界第一  
一九一七年の革命以來擾亂相次ぎ産業の不振甚しかりしが、今や着々復興の途を講じ穀物の供給地たらんとす

木目起  
レース  
外國の服  
のネリ、机、窓  
カケ、セ、ミ、ス  
サモアール  
カネラワール  
カネ  
（バン）

穀物は輸出總額の四分の三を占む

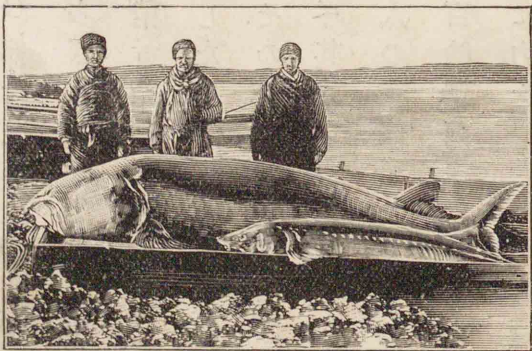
内陸水路の延長八萬餘軒鐵道延長は四萬六千哩餘あり



穀物輸出の光景 (サツヂオ)

にして、ウラル山地は金・白金及び寶石に富み、西部及び南部よりは石炭・鐵岩・鹽等を出し、河湖の水産も亦少からず。工業は次第に發達せりと雖、尙家内工業を主とし、機械工業に至りては、西歐諸國に比して著しく遜色あり。

貿易は穀物、木材、麻、皮革等を輸出して、綿、機械、茶等を輸入す。内地には各地に定期市場の開設ありて、その大市には内外の商賈多く群集せり。交通は、河川、運河の便ある外、鐵道の



裏海の漁利(鱒魚)

延長著しく、遠く西比利亞中央亞細亞と連絡すれども、地積に對する割合は、未だ大ならず。海運は多く外國船に頼れり。

**住民**

面積廣く且平坦にして、移住に便なれば、住民甚だ錯雜すと

雖、主要なるはスラブ族にして、概おほ希臘教を

奉ず。上流社會及び都會民の生活は、西歐

地方と著しく異ならざれども、農民の生活

は粗野單純にして、稍、東洋風を帶べり。高

等の教育は頗る發達したるも、初等教育は未

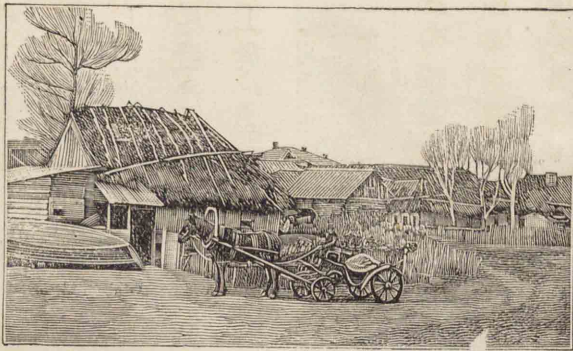
だ普及に至らず。その他東部、北部には亞

細亞種に屬する土耳其族、フィン族等も住居

し、西南部には猶太人の在住頗る多し。

**政治** この國は、二百餘年前、ペテロ大帝の

頃より、領土の擴張に力を盡し、その版圖は



露國の民家

ロシア語 (西) 露  
キリルヤ語 (中) 露  
新教 (中) 露

露西亞の露國聯盟  
二百餘年前ニ文明傳  
フルセハイヤン

勞農露西亞の領域  
内には自治權を有  
する地方少からず

過激社主義  
ホルセヒヤ

新有財主義  
レーニン  
トロツキ

共産主義

歐亞兩洲に跨りて、世界全陸地の約六分の一を占むるに至りしが、國內には各種の民族ありて一致を缺き、極端なる專制政治と、強大なる陸軍の威力とにより、之を治めしも、日露戰役の後、立憲制を採用し、又最近の大戦に際し、革命起りて君主政治を廢止したり。以來民族自決主義によりて、國內の分裂を來し、フィンランド、波蘭及びバルチック海沿岸の地方は獨立し、その他、一時は十數個の邦國分立したりしが、一千九百二十二年、勞農露西亞はウクライナ共和國、白露西亞共和國及びコーカシヤ聯邦と合同し、新國家を組織して共和國聯盟と稱す。政治は勞農共產主義の共和國にして、行政は人民委員會之に當り、立法は中央執行委員會の掌る所なり。

**日本との關係** 日露の關係は、幕末に於てその端を開きしも、露國の極東政策は、我が國と相容れず、明治三十七八年朝鮮滿洲の野に於て干戈相見ゆるに至れり。戦後日露協約を結びて親善の實を擧げ、世界大戰の勃發するや、相携へて共同の敵に當りしが、革命蜂起してより國交未だ舊に復せず。

モスクワ  
首都ニ  
相シス

イワシ大  
ワシ大  
鐘大  
塔  
アリ



モスクワ市の中心部

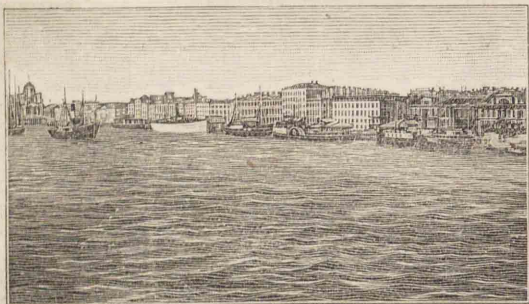
【都邑】モスクワは水陸交通の要地に位し、  
 勞農露西亞及び共和國聯盟の首府にして  
 商工業の盛大なること全國第一に位し、市  
 の中央には、宮殿・寺院等の壯麗なる建物多  
 し。この地は嘗て  
 建國の當時にも都  
 たりし所にして、帝  
 政時代には、戴冠式  
 その他の大禮を此  
 處にて行へり。東  
 方のニジニノボ  
 ロドは、内地商業の  
 要地にして、殊に定



ニジニノボロドの風景

エカテリンブルグ  
は前露帝の横殺せ  
られし處にして中  
央委員會の議長た  
りしス氏の名を記  
念する爲最近にス  
ウエルドロフスク  
と改名したり

期市の盛大を以て名高く、ウラル山地のペルム及びエカテリンブルグは、鑛業の中心をなし、裏海に臨めるアストラハン、沿岸貿易の要地にして、附近は水産多し。

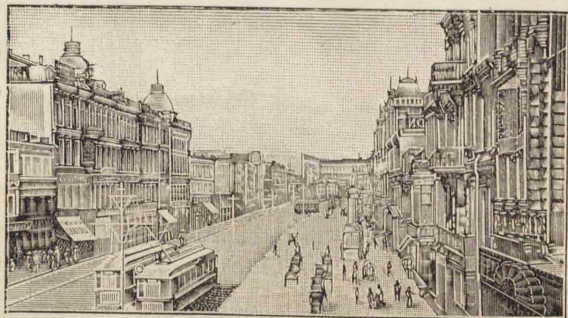


ネバ河とニレラグンの街市

フィンランド灣に臨めるレニングラード(ペトログラード)は、永く露西亞の帝都たりし處にして、舊皇居を始め壯大なる建物多く、ネバ河中を流る、海灣は稍淺けれども、海中に運河を設けて汽船の出入に便し、本國第一の商港にして、市況頗る繁盛なり、その副港たるクロンスタットは、小島上に位し、往時より重要な軍港にして且商港を兼ねるも、冬季は凍結の不便あり。北方のアルハンゲルスクは、白海の要港にしてアレキサンドロフスクは、大戦當時外國航路の衝に當り

キエフも定期市を以て名高く又宗教上の名地なり

ヘルソン及びニコライエフは近年河心淺渚の結果穀物の輸出はオデッサを凌ぐんとするに至れり



のミンスクは白露西亞共和国の首府とす  
Minsk White Russia

第二章 フィンランド

Finland

フィンランドは、舊露西亞の西北部を占め、ボスニヤ灣及びフィンラ

Bohnia

しを以て發達したり。

ドニエプル河下流の地方はウクライナ共和国の占むる所にして、産業發達し、人口密度

も亦大なり。ハルコフはその首府にして定期市の開設を以て名高く、キエフは製革、製糖

等の工業行はる。黒海岸のオデッサは、黒土帯

地方の門戸をなし、東方のヘルソン及びニコ

ライエフと共に、穀物の輸出多く、クリミヤ半

島のセバ・スト・ボルは、著名の軍港なり。西方

のミンスクは白露西亞共和国の首府とす。

Sevastopol

Kherson

Odesa

Nikolayev

Karlovy

Kiev

Dniepr

面積

約三十三萬三千方料(約二萬一千六百万里)

人口

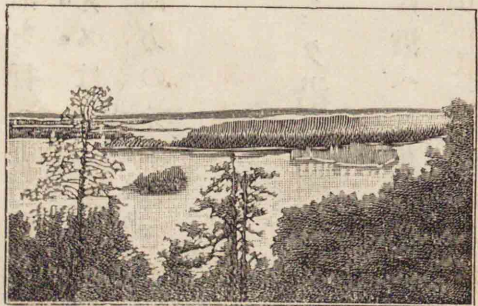
約三百三十萬

隣邦

露西亞・瑞典・諾威

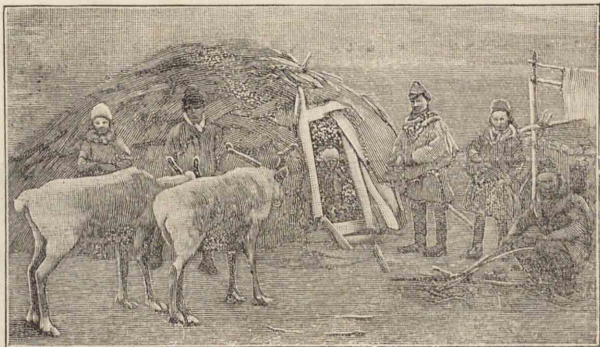


ンド灣に臨む。北部は高原をなせども、その他は概ね低平にして、南部に木は大小無數の湖水散在材せり。積氣候は、冬永くして甚出だ寒冷なれども、林地廣のくして木材の産に富む。光地味は肥沃ならざれども、國民は農耕を勵み景て、麥類・馬鈴薯・麻等を出し、又牧畜をなせり、從て製材・バルブ製造・製粉・製革等の工業も、水力を利用して盛に行はれ、中にも林産は主要の富源をなす。



水湖の方地蘭芬

エストニアは面積約五萬九千五百方  
約三萬九千八百  
十方里)人口約百  
七十五萬



活 生

住民の大部は、亞細亞種のフィン族にして、夙に西歐の文明を容れ、大學を始め各種の學校ありて、教育頗る進み、宗教は多く新教を奉ず、又北部には未開のラップ人住みて、概々遊牧を營めり。國民は自由思想に富み、常に露人の迫害に不平を抱き、帝政時代より已に自治を許されたりしが、大

戦中、獨立して共和政治を行へり。

プ  
ラ  
首府ヘルシン  
グ  
フ  
オ  
ル  
ス  
は、フィンランド灣

人  
に  
臨  
み  
て  
港  
市  
を  
な  
し、西  
方  
の  
オ  
ー  
ボ  
と  
共  
に

木  
材  
の  
取  
引  
行  
は  
る。

### 第三章 バルチック沿海諸國

バルチック海の東岸に沿へる舊露領の地方には、各種の民族ありしが、大戦中相踵ぎ

ラトヴィヤは面積約六萬二千八百方  
約四千七千方里  
人口約二百五十萬  
リトワニヤは面積約十五萬二千七百  
方里(約九千九百  
方里)人口約四百  
八十萬  
エストニア人、レ  
ト  
人  
は  
共  
に  
亞  
細  
亞  
人  
種  
に  
し  
て  
リ  
ト  
ワ  
ニ  
ヤ  
人  
は  
白  
人  
の  
祖  
と  
稱  
せ  
ら  
る

瑞典  
面積 約四十六萬方  
約二萬九千  
方里)  
人口 約五百九十萬  
諸國  
面積 約三十一萬方  
約二萬方里)  
人口 約二百六十萬



頭 埠 の ガ リ

て自治を唱ふるに至れり。北部にはレバルを首府としてエスト  
ニア共和國(主としてエストニア人)興り、中部にはリガを首府としてラトヴィヤ共  
和國(主としてレトワニア人)興り、リガは往時より主要の商港にして、穀物の輸出  
多し。南部にはリトワニア共和國(主として  
リトワニア人)ありて、コブノをその首府とす、又大戦後、  
國際聯盟の管理下にありしメモル地方は、  
この國に合併せられたり。

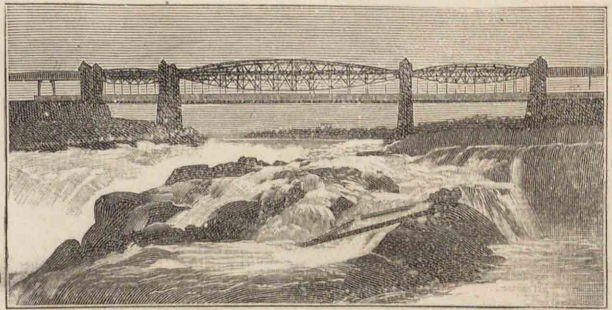
### 第四章 スカンディナヴィヤ半島

地形 バルチック海の西北に突出せる大半  
島にして、瑞典、挪威の二國に分れ、その面積  
は併せて我が國よりも稍、大なり。  
スカンディナヴィヤ山脈半島を縦貫し、一般

スカンデナヴィヤ山脈の一部にキオレン山脈の名あり

水カカ多ク  
世界  
最モ水カ多ク電カ多ク

峡灣は氷蝕により  
峽谷を生じ地盤沈  
降の爲海水の浸入  
したるものにして  
ソーネ峡灣の如き  
は長さ百五十軒に  
及ぶ



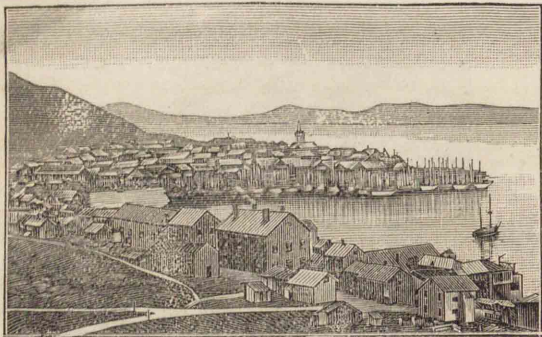
カスデンナピヤの急流

ル等の諸湖は稍大なり。  
バルチック海岸は、出入單調なれども、大  
西洋岸は、山脚海に迫りて削るが如き無

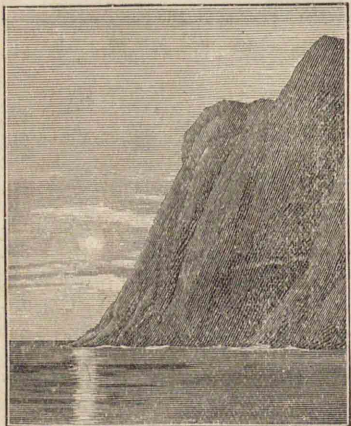
に高臺性にして、歐洲大陸の最大水河此處に懸る。主軸は西に偏するが故に、東斜面は稍緩斜して、高臺段丘平野の三列をなし、竝走せる數多の短流は、段丘部に於て河道を擴げ、狭長の湖水をなすもの多く、又その段丘を離る處は、急流瀑布をなして航運を遮ると雖、水力の利用には極めて便なり。南部には湖水多く、ウエーネル・ウエッテル・メーラ



峽灣地方の風景



歐洲最北の都邑(トスエフルメンハ)



今夜に太陽を望む光景

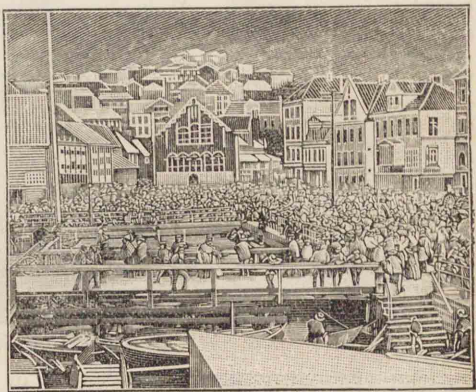
數の峽灣を形成し、ロフトデン諸島を始め、數多の岩礁羅列して外洋の風浪を遮り、白帆その間に隠見して、北歐特有の光景を呈す。  
〔氣候〕 土地の大部は高緯度にあるが故に、夏と冬とに於ける、晝夜長短の差甚だ大にして、北部地方にては、全く太陽の出沒せざる時あり。氣候は灣流の影響により、南北よりも東西に於て著しく異なり、西岸は降雪多けれども、殆ど海面の凍結することなく、北緯七十度の地に、尙都邑の發達せるものあり。東岸は之と反し、雪は少けれども、海面は概堅氷に鎖さる。

瑞典にては水力を利用して盛に製材をなせり

鐵は多く礦石の儘にて輸出せしむ、水力利用の爲製鐵業も盛なるに至れり

近年水力の利用益々盛となりこの國工業の將來は頗る有望となれりされど我が國とは海路遠く貿易關係は未だ深からず

諾威式捕鯨は世界の模範にして我が國も之を應用す



(ンゲルベ)場市の魚

**産業** 地勢、氣候等の關係上、耕地の面積極めて狭く、農産は南部に多少の燕麥、馬鈴薯等を産するに過ぎざれども、林業は一般に盛にして、木材、パルプ、燐寸、軸木等の産出多く、又瑞典よりは良質の鐵を産す。諾威の海岸は著名の豊魚地にして、鯨、鱈等の漁利甚だ多く、捕鯨の法も大いに進

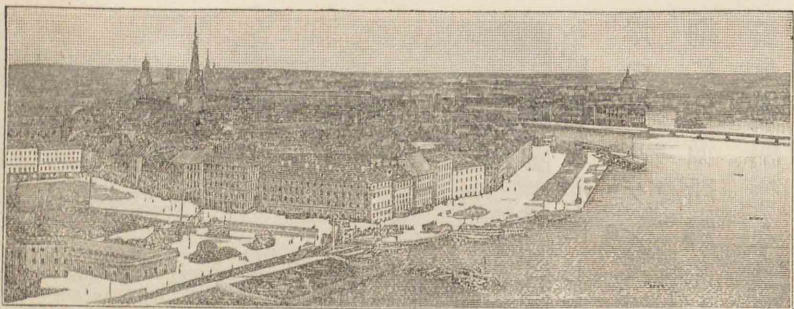


俗風の人典瑞

めり。工業は水力を利用して、製材、製粉及び燐寸の製造等盛に行はる。貿易は、多く是等の製品及び水産物を輸出して、穀物、石炭等を輸入す。

漁業  
成り

ノルマン人はコロンブスの新大陸発見前既に北米に渡航したることあり



觀景のムルホクットス

**住民政治** 北部には遊牧生活を營める少數のラップ族あれども、その他は概チユートン族にして、新教廣く行はる。教育能く普及し堅忍の美風あり。古來冒險の氣性に富みて、著名の探檢家輩出し、又諾威人は、海上事業に従事するもの多く、海運著しく發達し、多數の商船を有して、世界屈指の航海國に數へらる。

この兩國は、古く丁抹と合同せる王國たりしが、その後分離して一箇の王國をなし、更に近年、諾威は別に君主を定めて、共に立憲政治を行へり。

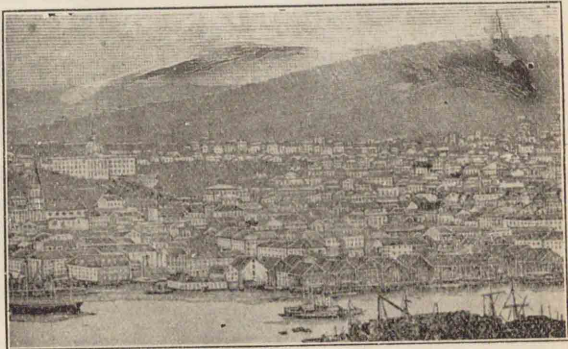
**都邑**

瑞典の首都ストックホルムは、メーラル湖の吐口にある數多の島上に跨り、風光甚だ

Stockholm

我が公使は諾威・  
丁抹・フィンラン  
ドをも兼轄す  
ストックホルム・ゲ  
テボルグには自由  
港區を設定せり

ハンメルフェスト  
は緯度七十度を超  
え十一月より一月  
末まで太陽地平線  
上に出でず



み、風景秀麗にして木材の輸出多し。西海  
岸のベルゲンは、水産業の大中心にして、漁  
期には漁船群集し、トロニエムは舊都にし  
て、風景頗る佳なり。北方のハンメルフェスト

オスロの市街  
工業地にして、木材  
パルプ、燐寸等の輸  
出多し。

ノルウェーの首府オス  
ロ(クリスチヤニヤ)はクリス  
チヤニヤ峡灣に臨



港ンゲルベ

明媚にして、我が公使館あり、西北のウプサ  
ラは、名高き大學の所在地とす。カテガット  
海峽に臨めるゲテボルグは、國內第一の商  
工業地にして、木材  
パルプ、燐寸等の輸  
出多し。

は、小島上にある漁港にして、歐洲最北の都邑として知らる。

### 第五章 丁抹

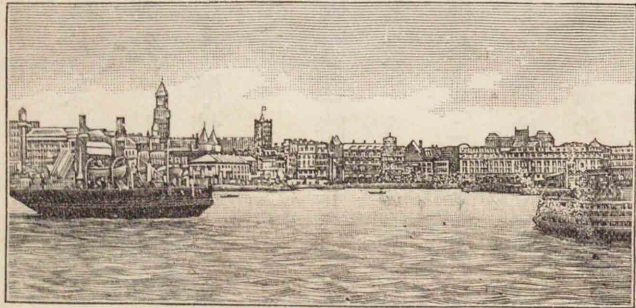
Denmark 附 アイスランド Iceland

面積 約四萬五千五  
百方軒(約二  
千八百五十方  
里)  
人口 約三百三十萬  
隣邦 獨逸

丁抹に於ける海峽の要地には列車搭載船を備へて鐵道連絡の便を計る圖はその一を示したるものにて對岸の都邑はアイ

#### 地形

丁抹は、ユトランド半島の大部と、フィ  
ン・シエラランド・ラーランド等の島々とより成  
り、スカゲールク・カテガット・ズンドの三海峽を  
隔て、スカンデナヴィヤ半島と對す。面積は  
我が九州よりも稍廣く、その大部は低平なれ  
ども、不毛の砂原多し。西岸は屈曲單純にし  
て、砂丘・瀉湖相連り、碇泊の便少しと雖、東岸は  
海峽・島嶼多く、その要部には、列車搭載船を備  
へて連絡の便を計り、船舶の出入繁く、又リ  
ム峽灣は天然の運河をなし、内地の交通に便



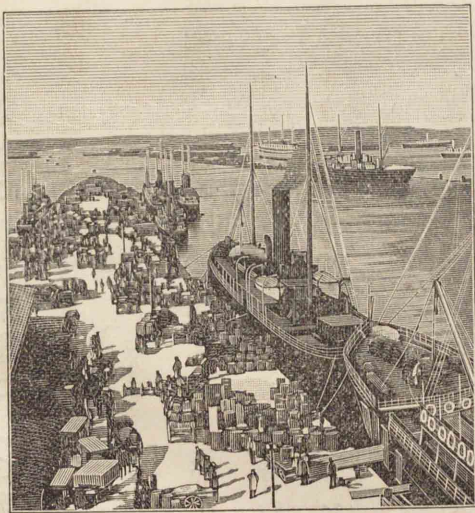
船載搭車列



輸出額の大部は畜産にして殊に牛酪は過半を占む  
我が近海の水底電線は丁抹人の沈没に成れるもの少からず

すること少からず。

**〔氣候産業〕** 氣候は灣流の影響により、頗る温和なれども、濕潤にして海霧多し。住民はチュートン族の特長を發揮し、勤勉にして貯蓄心に富み、能く濕地・砂原を開拓して農牧を勵み、家畜牛酪・煉乳等の産多し。工業は盛ならざれども、陶器の産出稍、名あり。



頭埠のンゲーハンベコ

**〔政治〕** この國は、往時、スカンヂナビヤ半島をも含める大國にして、北歐に覇を稱へしことあり。現時は國勢著しく振はずと雖、尙昔日強盛の名残を留め、フェル諸島・グリーランド等の領地を有し、又世界大戰の結果として、嘗て獨逸に割讓したるシユレスウッヒの一部を

コペンハーゲンは内海航通盛なりし時代には繁榮を極めしも今は昔日の觀なく自由港區を設けてその挽回を期せり

アイスランドは面積約十萬二千方料(約六千六百里)人口約九萬あり

回復するを得たり。

**〔都邑〕** 首府コペンハーゲン(Copenhagen)は、シユerland島の東岸に位し、交通の要衝を占め、バルチック海の咽喉を扼して、盛なる商港をなし、學藝の設備も亦整ひ、殊に天文臺は世界の學界に重きをなす。アールフス(Aarhus)は半島地方の要港とす。

**アイスランド** 北大西洋中にある大島にして、有名なるヘクラ山を始め、活火山多く、又沸泉に富むを以て著はる。氣候寒く、住民は牧畜と漁業とを主業とす。この地は近時まで丁抹に屬せしが、今は獨立國となり、丁抹王を戴きて君主となし、ライキヤビク(Leykjavik)をその首府とす。

### 第六章 獨逸

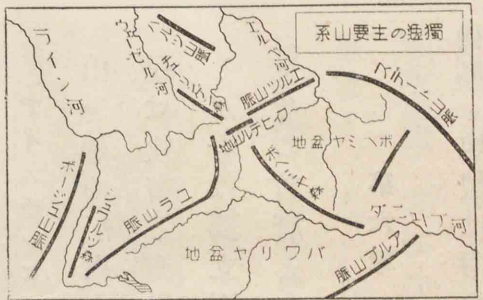
Germany (Deutschland)

**〔地形〕** 地勢は南北の二部に分る。南獨逸は山地にして、アルプ山

面積 約四十七萬五千方料(二萬九千方里)

人口 約六千萬

隣邦 リトワニヤ・波蘭・ダンチヒ・チエッコス・ロバキヤ・奥地利・瑞西・佛蘭西・ルクセンブルグ・白耳義・和蘭・丁抹



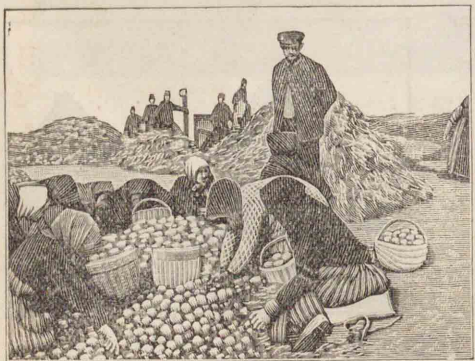
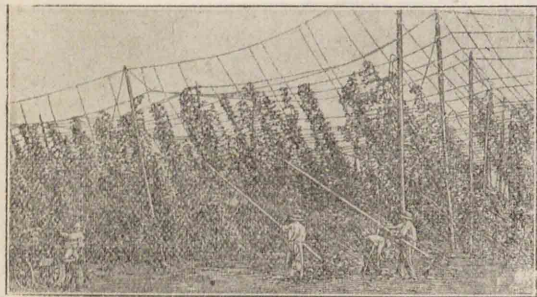
脈南境に蟠り、フイヒテル山地よりは、チューリンゲン森、エルツ山脈、ボヘミヤ森、ユラ山脈等を射出し、別に西部にはシュワルツ森(黒森)ありて、佛國のボージュ山脈との間に、ライン地溝帯を造り、ハルツ山脈は南獨逸の前

驅をなして、北獨逸の平原に臨む。是等の山脈間には、豊沃の盆地を抱き、ダニューブ河はバワリヤ盆地を東流す。北獨逸は歐洲大平原の一部に屬し、土地概々平坦にして、南部より來れるライン・ウエーゼル・エルベ・オーデル等の諸



景光の河ソイラ

馬鈴薯は貧者の常食となり又之より酒精を製すること多量なり



獲收の薯鈴馬び及菜甜

川、此處を貫流す。是等の河川は、互に運河を以て連結し、且下流は水勢緩なれば、舟運の利甚だ多し。海岸地方は殊に低平にして、バルチック海岸は砂嘴・瀉湖の發達著し。

氣候

この國の地勢は、北部に低くして南部に高きが故に、氣温は南北著しき差異なしと雖、東部に至れば次第に大陸性を帯びて、冬寒頗

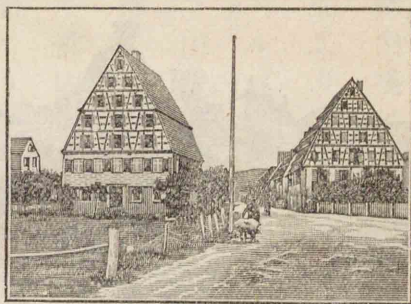
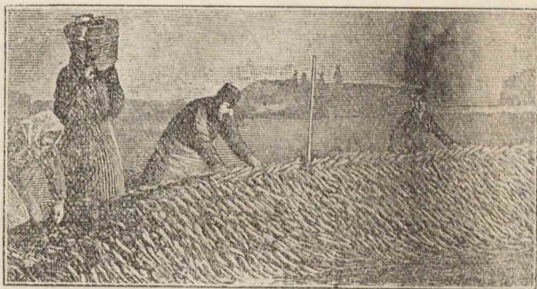
強く、最も溫和なるはライン河の河谷及び北海沿岸の地方なり。

産業

氣候・地味共に良好ならざれども、國民の努力によりて、ライ麥・燕麥・馬鈴薯等は各地に作

下圖の如き高層家屋はホップ栽培地方に於ける特異の建築にして通風の多き上層はホップの蓄積に供する室なり

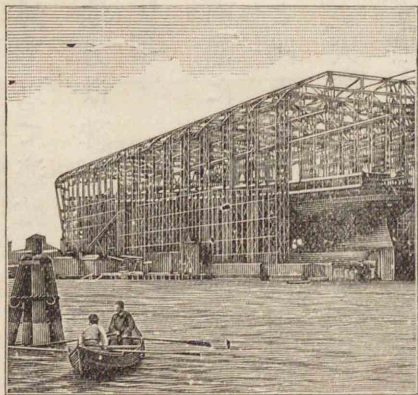
一定面積の森林より得るこの國の收益は日本の三十倍乃至五十倍に達すといふ



ホップの採收とその貯積の家屋

度の整備せること世界の模範と稱せられ、木材・木製品等の産出に富む。鑛産は石炭・鐵・鉛・銀・岩鹽等種類分量共に多く、殊に石炭と鐵とは、英米と並びて世界の

種を出せり。森林は南獨逸に多く、林業制



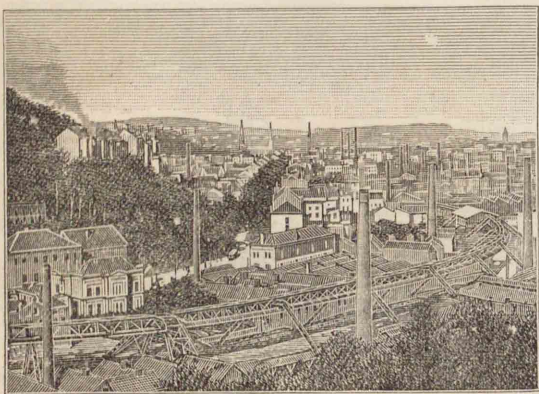
テチン附近の造船

られ、甜菜は中部以北に、小麦・ホップ・葡萄等はライン流域に多く栽培せられ、甜菜糖・麥酒の産額は共に世界第一に居る。北部には牧畜行はれ、牛・馬・羊・豚等の良

陶磁器の産も歐洲にては第一なり

河川運河の延長は一萬二千軒に餘れり

ライン河及びダニュープ河は戦前より國際河川たりしも名實伴はずりしが戦後エルベ・オーデル・ウィスツラ・ニーメンの諸河と共に國際河川として開放せられたり(總説一〇六頁の挿圖参照)

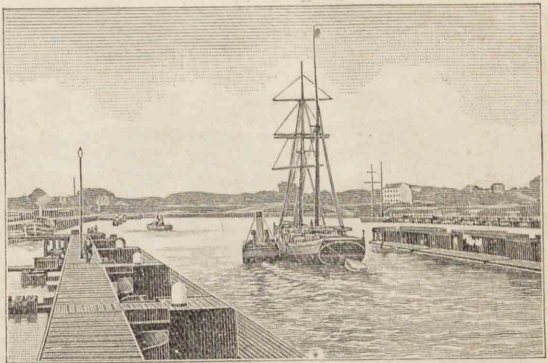


大工業市のエールベルグ

大産地たり。鑛産の豊富は、實業教育の進歩と相俟ちて、工業の發達を促し、製鐵・造船を始め、織物・機械・麥酒・砂糖及び曹達・硫酸・人造藍等の化學製品を出すこと甚だ多し。されば大戦前には、世界の大工業國として、英米と覇を争ひ、製品は世界の市場に雄飛して、貿易繁盛を極めたり。講和の結果、豊富なる鐵産地と、石炭鑛區とを失ひたるは、産業上に及ぼす影響大なれども、今後の活動は、大いに注目に價すべし。

交通 河川運河の水運甚だ大なるが上に、鐵道網の發達著しく、その延長は約四萬哩に達し、内地の交通は極めて便なり。商船は英米に次げる噸數を有せしが、大戦の爲に失ふ所甚だ多く、又專、軍用とし

新教徒と舊教徒との割合は約三と一との比なり  
南部と北部とは宗教のみならず習俗言語等も亦大いに趣を異にせり



キール運河

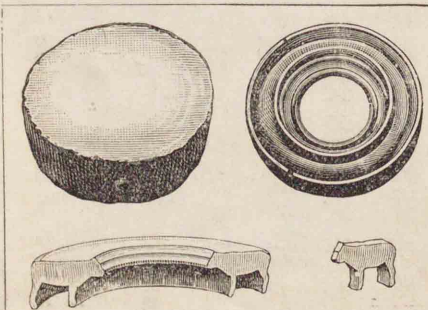
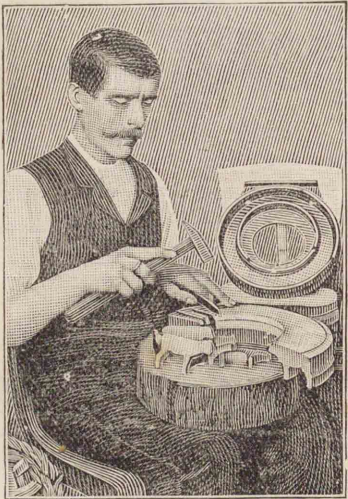
て開鑿されたるキール運河も、今は各國商船の爲に開放せられたり。

**住民** 住民の殆ど全部はチュートン族にして、南獨逸には舊教を奉ずるもの多けれども、他は概し新教徒なり。人口の増加著しく、北米合衆國・伯刺西爾等に移住すもの甚だ多し。元來獨逸人は着實勤勉にして、野外作業に適せざる際は、概し手内職を勵むが故に、玩具の如きは、工場製作の外、個人の手工に成れるもの少からず。一般に尙武の氣に富み、研究心亦甚だ強きを以て、教育普及し、技術進歩し、其等は相俟ちて國運隆盛の基をなせしが、戦後莫大なる賠償の責務を負ひ、民心の緊張驚くべきものありといふ。獨逸には著名の大學・専門學校等多く、大戦以前には、

**獨逸人の手内職は頗る能率を高むるに注意し一本の幹を輪切としロクロにて高低を彫り之を小刀にて割れば數多の牛となること圖の如し**

獨逸はもと四王國六大公國五公國七侯國三自由市一帝國領より成りしが共和政體と成れると共に聯邦中にて王公等を戴ける各國は悉く之を廢して共和制を採り又在來の小國を合して一國となれるものあり今は普魯西・バワリア・ウエーテンベルヒ・バーデン・サクソンニヤ等を始め十五國と外に三自由市とより成る。

各國より多數の留學生相集り、世界學術の淵叢となりしを以て、獨逸語は世界の學術語たる觀を呈するに至れり。

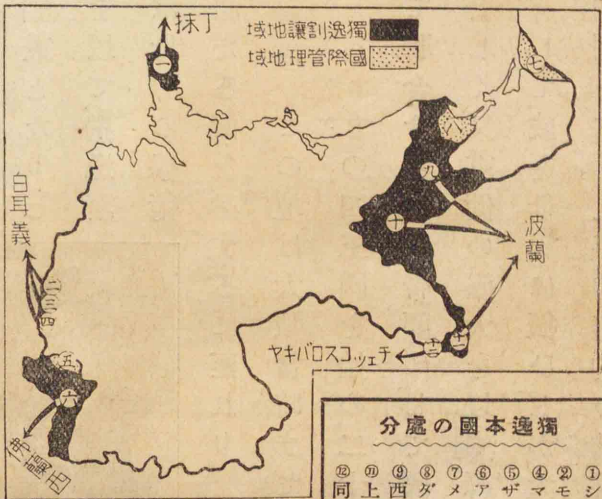


例の序順作製のそと工手の具玩

**政治** この地は大戦當時まで、普魯西・バワリア・サクソンニヤ・ウエーテンベルヒの四王國を始め、二十有餘の獨立國が、普魯西を中心として聯合せる一大帝國にして、國運隆盛を極め、内は學術・産業の進歩著しく、又軍備の強大を以て轟き、外は本國に六倍する廣き領土を有して、威を世界に振ひしが、大戦の敗により俄に帝政を廢して共和制を布き、又平和條約の結果、大いに本國の境域を削減せられ、海

獨逸は大戰前より縮少せること約九萬五千方料なり

大戰前の柏林大學は八千の學生を有したり



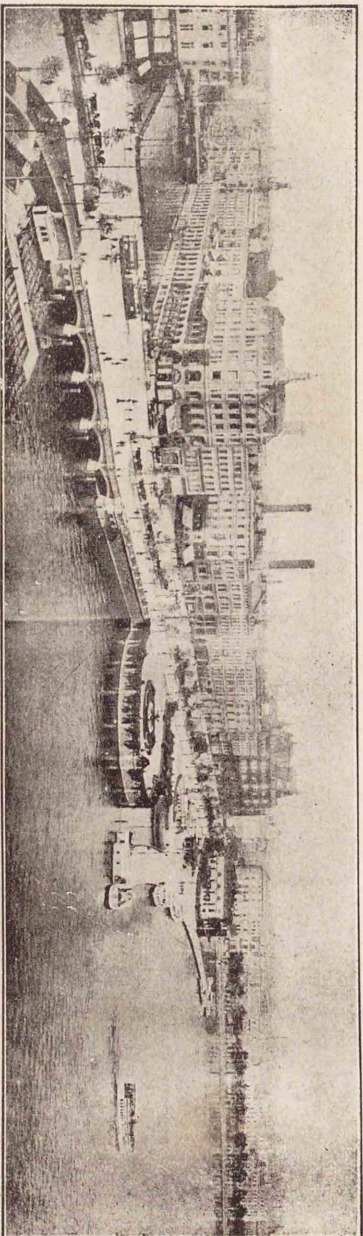
獨逸國本處分

- ① シュレスウイグ (丁抹)
- ② モレネのオイベン (白耳義)
- ③ マルメヂー
- ④ ザール河流域 (國際聯盟管理)
- ⑤ アルサス・ロレーン (佛蘭西)
- ⑥ メメル地方 (聯合國管理となり今はリトワニヤ)
- ⑦ ダンチヒ (自由市となる)
- ⑧ 西普魯西大部 ⑨ ポーゼン (波蘭)
- ⑩ 上シレシヤ一部 (波蘭)
- ⑪ 同上 (チエッコスロバキヤ)

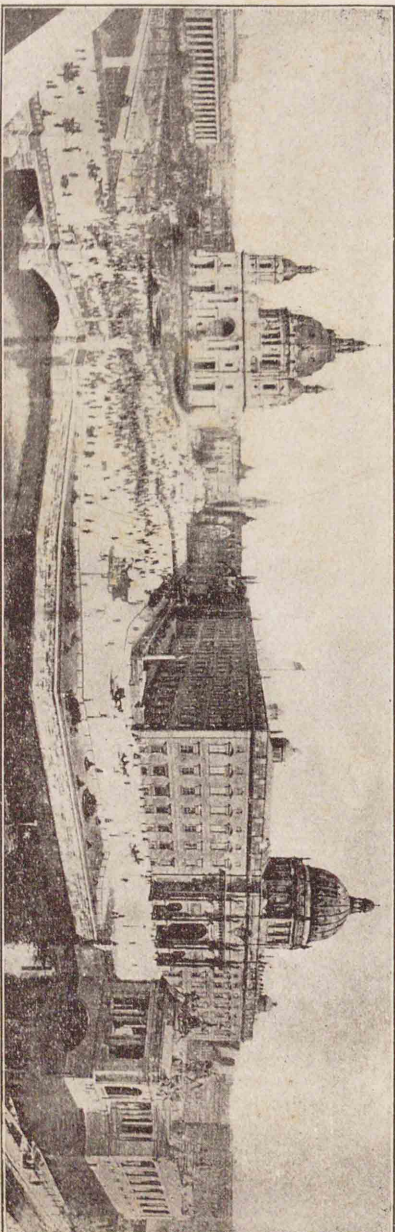
外領土は悉く之を失ひ、軍備も著しく制限せらるる等甚しき打撃を蒙りたり。

日本との關係 獨逸は、軍事に學藝に、長く我が國の師たりし所にして我が學術の進歩は、この國に負ふ所極めて大なり。不幸にして大戰に際會し戰場に於て相見ゆるに至りたれど、國交已に舊に復し、その關係漸く密ならんとす。

〔都邑〕 柏林は普魯西の首府にして、又獨逸の首都たり、エルベ河の支流なるスプレー河に跨り、政治學藝商工業及び交通の大中心をなし、街衢壯麗にして、名高き大學あり、我が大使此處に駐在す、西南



街市のグムン

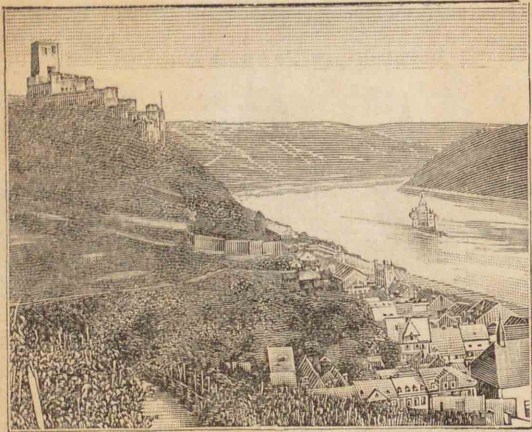


院寺大と居皇舊の林伯

ゲーヤガルデン  
カインテルテンリンデン  
カインスーリン

マゲデブルグの南  
方に當るスタスフ  
ルトは岩鹽の産地  
として名あり  
チラコスロバキヤ  
はステチンとハン  
ブルグとに自由港  
區を設定する權利  
を得たり

キールは軍港なり  
しが戦後破壊せら  
れ自由港區を設く  
ることに決定せり

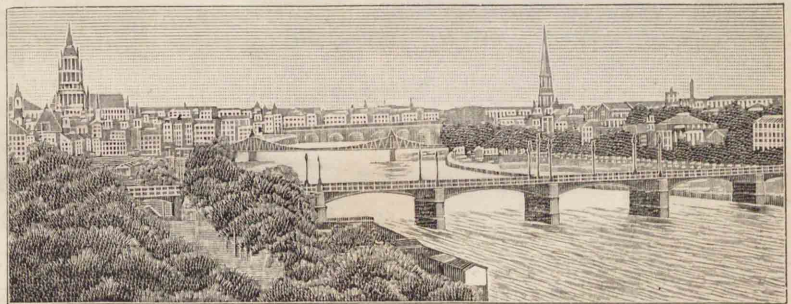
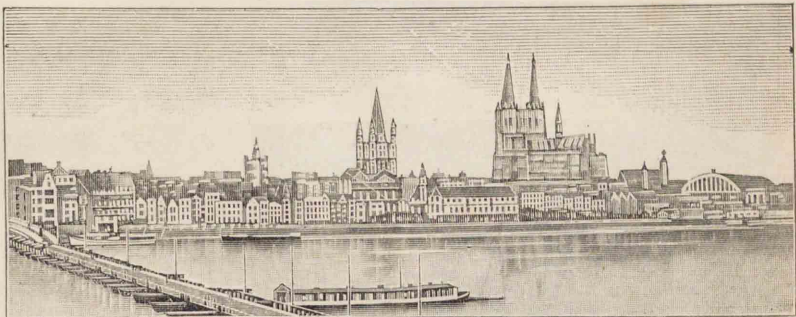


城古の畔河ソイラ

のポツダムには、著名の宮殿ありて、林苑の勝に著はれ、マゲデブルグは製糖業の中心にして、附近は甜菜の耕作盛なり。  
オーデル河の上流地方は、沃野廣くして穀産畜産多く、ブレスラウはその中心市場をなし、工業亦盛に行はれ、河口のステチンは商港にして、附近は造船業盛なり。  
東方に離れて東普魯西あり、ケーニヒスベルヒをその海港となす。  
バルチック海の西邊にキールあり、運河此處より北海に通ず、北海に臨めるウイヘルムスハーフェン及びエムデンは、共に軍港なり。  
ライン河の沿岸には、處々に古城廢壘の残れるものありて、清くその影を

Magdeburg (35)  
Breslau (62)  
Stettin (35)  
Königsberg (26)  
Kiel (31)  
Wilhelmshaven  
Emden

クルップ製鐵場の陸軍武器は英國アイムストロング會社の海軍武器と共に著名なりしも今は武器の製造を禁止せられたり



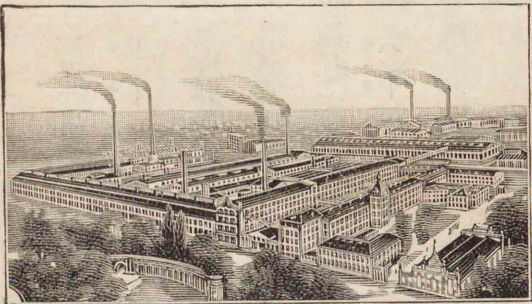
(下) トル フクン ラフ と (上) ソル ケ

河面に投じ、風景秀絶にして、宛も繪畫の如し。その支流ルール河の流域は、石炭鐵の産に富み、繁盛なる工業市多く、クルップ製鐵場を以て名高きエッセン、絹織業の盛大なるケルレーフェルド等は最著はる。ケルン等は交通上の要點に位し、壯大なる寺院あり、フランクフルトは交通商業の中心をなす。Am Main(43) Stuttgart(31)

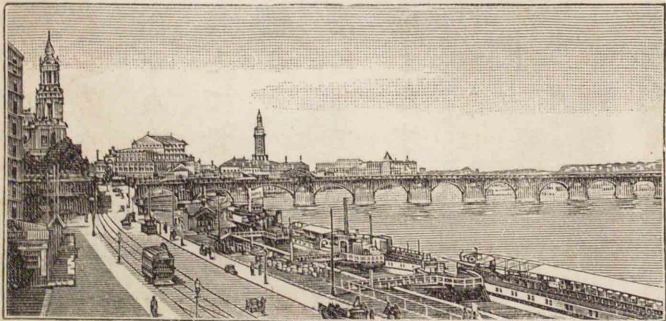
ドレスデンの畫堂は多く天下の名畫を藏するを以て名あり

ライプチヒの西方にあるライマールは共和國憲法制定の地なり

ンベルヒの首府にして、樂器の製造に著はれ、バワリヤの首府ミュンヘンは麥酒の大産地にして、又名高き大學あり。ニールンベルヒは木工業盛にして、鉛筆の産殊に多し。サクソニヤはエルベ河上流の地域を占め、石炭の産多く、工業地帯をなす、ドレスデンはその首府にして、風景の秀麗と化學工藝の發達とを以て名高く、附近のケムニツは盛大なる工業市なり。ライプチヒは出版業盛にして、又著名なる大學あり。



區業工のツニムケ



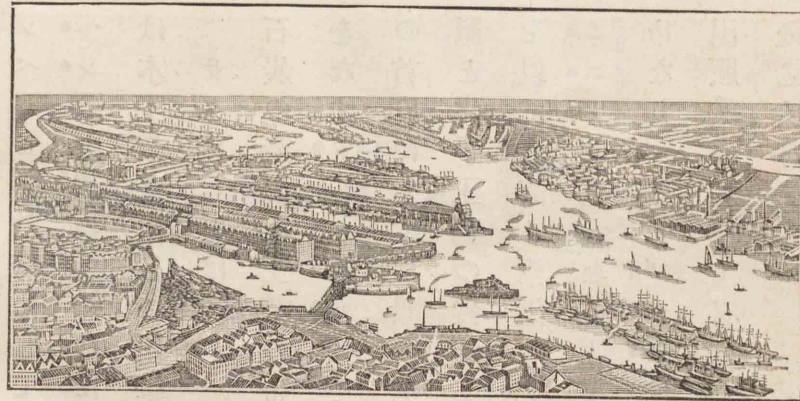
街市のンデスレド

ニールンベルヒ  
Munich(32)  
Nürnberg(33)

ハンブルグに我が  
總領事館あり

我が大匠商船の歐  
洲航路はハンブル  
グを終點となすも  
乗客を取扱はず

面積 約三十八萬六  
千方軒(約二  
萬五千一百万  
里)  
人口 約二千七百萬  
隣邦 獨逸・チェッコ  
スロバキヤ・  
ルーマニヤ・  
露西亞・リト  
ニア



埠頭のグレンハ

エルベ河畔のハンブルグ(漢・ウーゼル  
河畔のブレイメン・バルチック海岸に近き  
Bremer(7)  
リ・ユ・ベックは、共に自由市なり。ハンブル  
Lisbeck  
グは築港甚だ壯大にして、世界航通の大  
中心をなし、貿易繁盛なり。ブレイメン  
はこの國第二の商港にして、ブレイメン  
Bremerhaven  
ハーフェンをその副港となす。

第七章 波 蘭

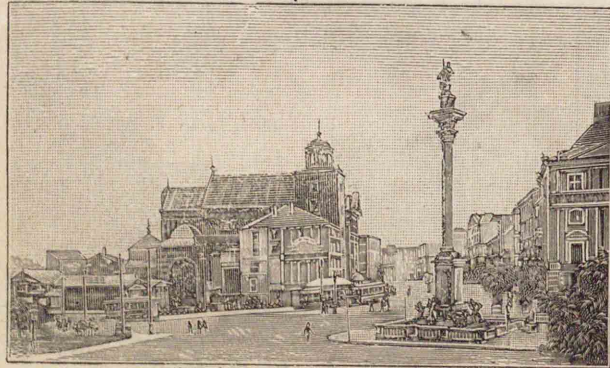
Poland 附 ダンチヒ

波蘭は、大戦の結果獨立したる新興國  
なり。南境にはカルパチヤ山脈連れど  
も、その他は歐洲大平原の一部をなし、沃

但教

野廣く、ウイストラ河此處を貫流す。氣候は大陸性なれども、農業盛  
にして、麥類の産多く、又馬鈴薯・甜菜・麻等を産し、羊馬等の放牧も行  
はる。鑛産は豊富なる炭田を有する外、岩鹽・石油・鐵等に富み、林産  
も頗る多し。工業は紡績機業最、發達して、毛  
織・綿織等の産に富み、製革も亦行はる。  
この地は、スラブ族の一派なる波蘭人の  
住地にして、嘗て一大王國を形成せしこと  
ありしが、約百三十年前、露・獨・奥の三國に分  
割せられ、爾來恨を藏して壓制に服せしも、  
大戦中、舊領の大部を復して再び獨立國と  
なり、共和制を採る。  
首府ワルソーは、ウイストラ河に臨み、交通  
商業の要地にして、我が公使館あり、ロツは

Loetz(45)



街市のワルソー



クラカウに近きウ  
イリツカは岩鹽  
の大産地にして鹽  
層四百米に及ぶ處  
あり又岩鹽層中に  
地下都市あり

面積 約十四萬六千  
方軒(約九千  
五百方里)  
人口 約千三百六十  
萬  
隣邦 獨逸・埃地利・  
洪牙利・ルー  
マニヤ・波蘭

紡績機織等の工業行はる。西部のポーゼ  
ン<sup>Posen</sup>は農産物の集散行はれ、南部のクラカウ<sup>Krakau</sup>  
は城市にして、その附近に岩鹽の大産地あ  
り。東部のレンベルヒ<sup>Lemberg</sup>は商業の一中心に  
して、麻布を産す。

ダンチヒ

Danzig

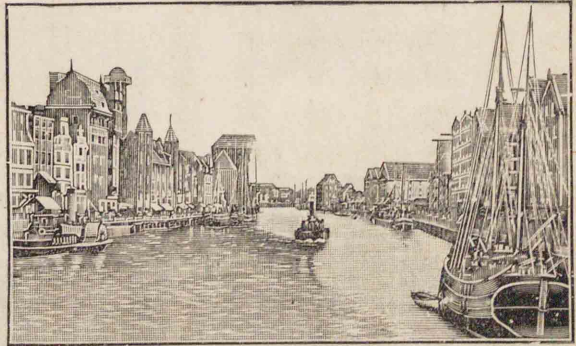
ダンチヒはもと獨逸の港市な

りしが、大戦講和の結果、附近の地と共に  
獨立して自由市となり、聯合國保障の下  
に、波蘭の海口たらしむ。

第八章 チェッコスロバキヤ

Czecho-Slovakia

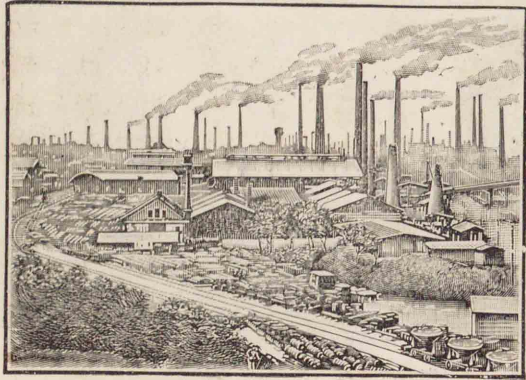
新興國の一にして、西部はボヘミヤ森・エルツ山脈及びステート  
山脈等に包まれてボヘミヤ盆地をなし、東部にはカルパチヤ山脈



中市のヒチンダ

硝子 世界的

一小部は舊獨逸領  
よりこの國に屬し  
たる處あり

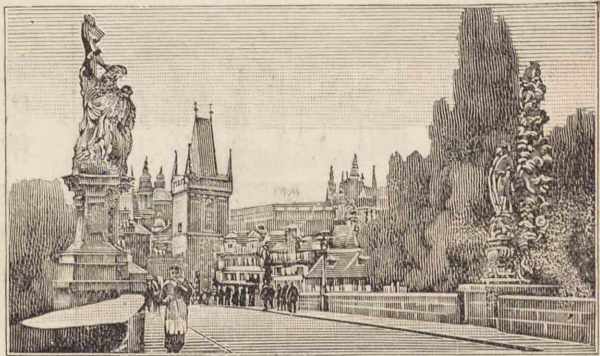


連れり。ステート山脈とカルパチヤ山脈との間は、山勢低夷なれ  
ば、古來モラビヤ門と稱して、南北交通の要路をなせり。エルベ河  
はモルダウ河を始め、盆地の衆水を集めて獨逸に入る。

氣候稍寒けれども、地味豊沃にして、麥類・馬鈴薯・甜菜・葡萄・ホップ等

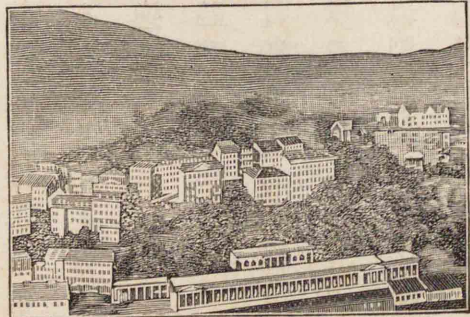
の農産に富み、林地は頗る廣く、石炭・鐵等も  
處々に産し、西部にはラヂウム鑛を出す  
處あり。工業は製織・製鐵・製糖及び麥酒  
醸造等を主とし、又硝子の特産あり。

住民の大部は、スラブ族の一派なるチ  
ェク・スロバクの二民族にして、近時まで  
景・埃地利及び洪牙利の一部なりき。然る  
に民族の相違より、常に迫害を受け、反抗  
の氣焰熾なりしが、今回の大戦に乘じ、獨



街市のゲラブ

立を唱へて共和国となれり。  
 首府**プラーグ**は、モルダウ河に臨み、商工業の要地を占む、その市街は頗る古雅にして、此處にあり。西部には**カールスバード**を始め、著名の温泉場多く、**ピルゼン**は麥酒の産に著はる。**ブリュン**は東部の要市にして、機業盛なり。



場泉温ドースルーカ

### 第九章 奥地利

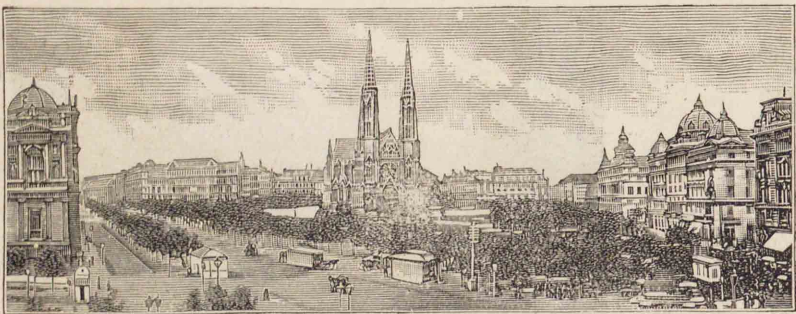
Austria

附 リヒテンスタイン

#### 地形産業

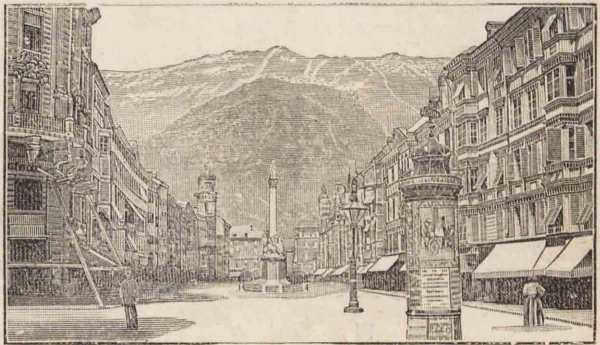
アルプ山地に屬する山國にして、殊

面積 約八萬方軒  
 (約五千方里)  
 人口 約六百萬  
 隣邦 獨逸・瑞西・伊  
 太利・ユーゴ  
 ー・スラビヤ・  
 洪牙利・チエッ  
 コスロバキヤ



街市の納也維

に西部には峻峰竝び聳え、氷河此處に懸りて風景に富む。ダニューブ河その北部を流れ、沿岸に狭小の平地を伴ひて穀物を産し、又葡萄を栽培して葡萄酒を造り、牧牛も處々に行はる。山地は鐵を出し、木材の産も少からず。  
**住民政治** この國は、近時まで洪牙利と聯合して一大帝國をなし、中歐の重鎮たりしが、域内に數多の民族を包擁し、常に統治上の困難を感じたり。然るに大戰講和の結果、民族自決主義により、或は獨立國を生じ、或は他國に併合せられ、國土は全く分裂して、今は西部**チュートン**族の住地のみより成れる小國となり、共和政治を行へり。



【都邑】 首府維也納はダニューブ河に沿ひ、市街の壯麗・風俗の華美なること佛蘭西の巴里と並び稱せられ、織物・陶器その他美術工藝品の産多く、我が公使館此處にあり、上流のリンツは毛織物を産す。西部山地のインスブルックは交通の要衝に位し、その南方に名高きブレネル越あり。この分水界を以て新に伊太利との境界となす。

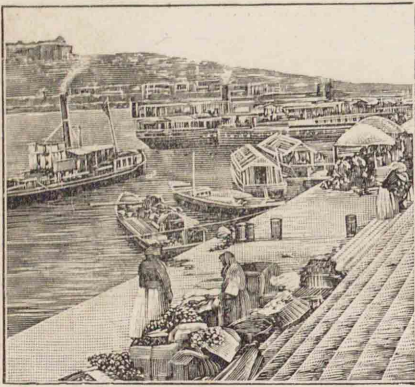
街市のクールのブンスンイ  
 リヒテンスタイン 奥地利と瑞西との間に  
 ある小地域にして公國なり。

### 第十章 洪牙利

Hungary

【地形産業】 カルパチヤ山脈に抱かれたる大盆地の西部を占め、ダニ

面積 約九萬六千方  
 秆(約六千二  
 百方里)  
 人口 約七百二十萬  
 隣邦 奥地利・ユー  
 ゴースラビ  
 ヤ・ルーマニ  
 ヤ・チエツコス  
 ロバキヤ



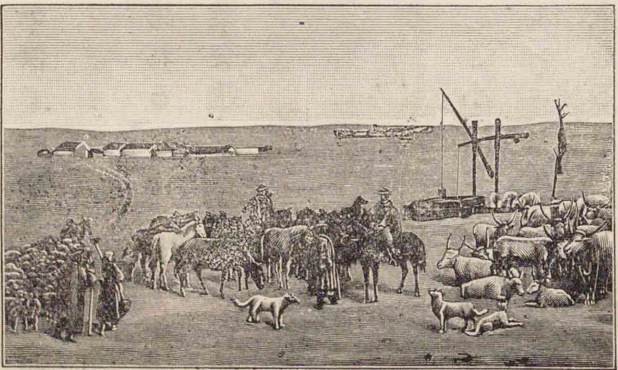
岸河ブーニダ

ドブ河は、その支流タイニス河・ドラウ河等と共に此處を流れて、舟楫の便多し。氣候は大陸性にして、降雨少く、處々にプスタと呼ばれる草地あり。國內平野廣く、且大部は豊沃なれば、麥類・玉蜀黍等の穀産多く、又葡萄を産し、プスタ地方には牛・馬・羊等の放牧行

はる。

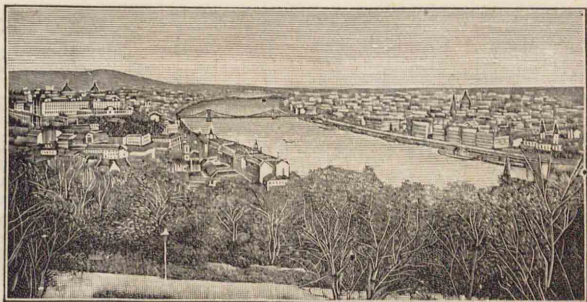
【住民政治】 住民の

大部は亞細亞種のマジャー族にして、言語・風習等著しく他と異なる所あり。この國は、近時まで奥地利と聯合して共同の君主を戴き來りしが、今次の大



景光の方地タヌブ

面積 約四萬方軒  
(約二千六百方里)  
人口 約三百九十萬  
隣邦 獨逸・奧地利・伊太利・佛蘭西



戦によりて革命起り、分離して別個の獨立國をなし、一時共和制を採りしも、今は王國となれり。されど講和の結果、廣大なる地積を隣境諸國に割讓したるを以て、面積は著しく縮小したり。

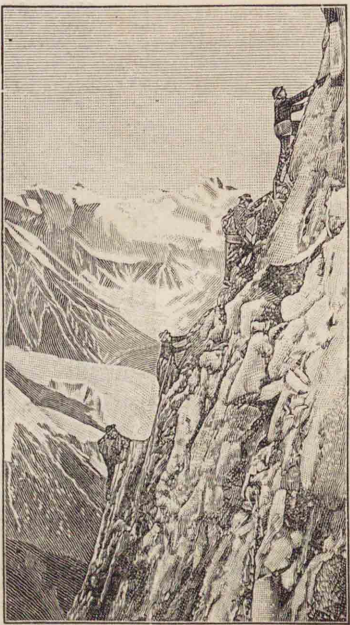
大の市トスベダブ  
の國の首府にして商業交通の大中心をなし、製粉・屠畜等頗る盛なり。

都邑 ダニューブ河に跨れるブダペストは、この國の首府にして商業交通の大中心をなし、製粉・屠畜等頗る盛なり。

第十一章 瑞 西  
Swiss (Switzerland)

地形 瑞西はその面積我が九州島と殆ど等しき小國なり。南部はアルプ山地に屬し、モンテローザ・マッテルホルン・ユングフラウ等、數多の高山、四時氷雪を戴きて雲表に聳え、雄大なる氷河その溪谷に

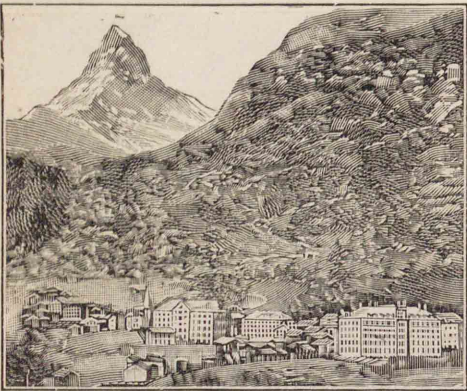
懸る。西北にはユラ山脈連りて、アルプ山地との間に一帯の平地を挟む。ライン・ダニューブ・ポー・ローヌ等の諸川、是等の山地より



(シムホルテマ) 景光の山登

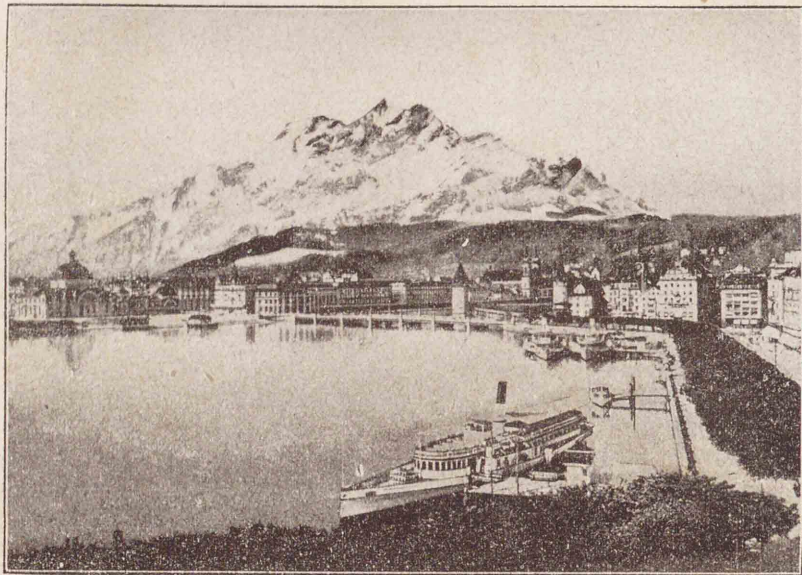
この國の湖水は何れも地質時代に於ける氷河の作用によりて成れるものなり

旅客の消費する金額は年々一億圓を越ゆるといふ



觀景のシムホルテマ

發して、到る處急流を走らし、飛瀑を懸け、又ジュネーブ・ニウシャテル・チューリヒ・ボーン等を始め、數多の湖水は鏡の如くその間に湛ふ。是等の風物は、翠綠の森林・優麗の都市等と相俟ちて、風景絶佳なる歐洲の樂園をなし、氣候亦冷涼にして、旅舎等の設備も能く整ひたれば、避暑遊覽の



ツルエ湖の風景



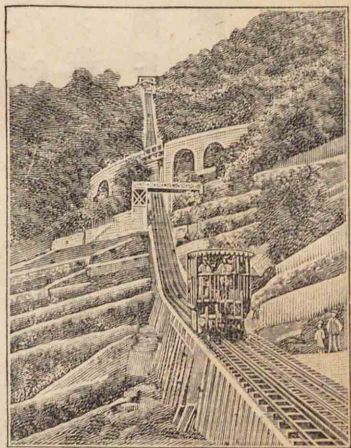
スキ一の遊戯

アルプス横断鐵道は今や七線を數ふるに至れり

シンプロン隧道は長さ十二哩に餘りサンゴタルド隧道は長さ九哩に餘る



ジュネーブ湖の光景



急勾配の登山鐵道

客群集し、その散財は本國の一財源をなす。

高き山上に鐵道を蛇曲せしむる等、工事の困難を排して、交通機關の施設能く備れり、殊にシンプロン隧道は、世界最長のものなり。

〔産業〕

國の大部は山地なれば、農耕區域は狭けれども、森

〔交通〕

旅客の多きと、位置の中

部を占むることにより、或は山

嶽を穿ちて大隧道を通じ、或は

山

Shimpon



圖 阿ルプの  
 峠には吹雪の爲  
 に倒るゝ旅人を  
 救ふ爲に設けら  
 れたる僧庵あり  
 て僧侶は晝夜の  
 別なく犬を伴れ  
 て巡廻す犬は雪  
 に埋められたる  
 旅人を探すに慣  
 れ之を見出せば  
 聲高く叫んで僧  
 侶を呼ぶ斯くし  
 て危く一命を救  
 はれたる旅人は  
 殆ど數を知らず  
 この犬は僧庵を  
 創開せしサンベ  
 ルナルドの伴ひ  
 來りし犬の後裔  
 と傳へらる

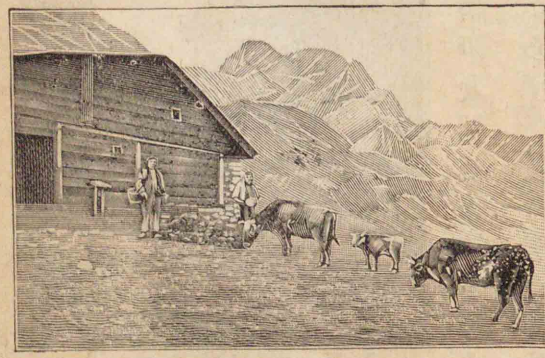
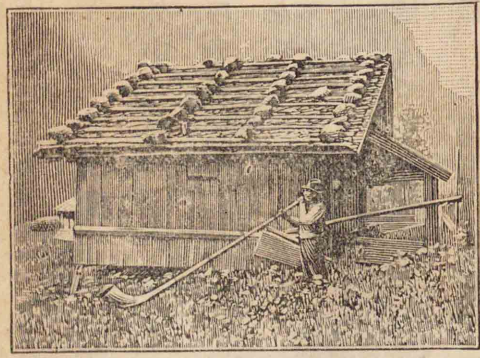
圖 角笛は四  
 邊に散じ居る畜  
 類を集むる爲に  
 牧夫の吹くもの  
 にして境靜かに  
 草綠なる牧場に  
 この笛の響くと  
 きば一種の感に  
 打たる



犬ドルナルメンサの中山アルプ

運輸に不便なれば、織  
 物、時計、化學製品等を  
 主とし、我が國へも時

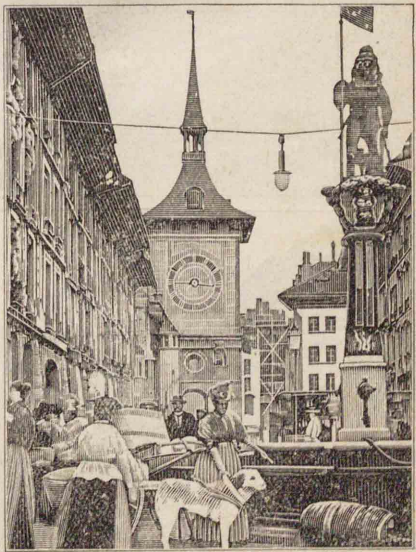
林處々に繁茂して、良材の産多く、木工業發達  
 し山腹谷地には牛羊の牧畜盛にして、牛酪煉  
 乳の産多し。鐵石炭の鑛産を缺くと雖、水力  
 を利用して盛に工業を營む、されど地勢の關  
 係上粗大なる製品の



夫牧く吹を笛角と揚牧の中山

計・メリンス等を輸出すること  
少からず。

**住民政治** この國は局外中立地  
にして、共和政治を行ひ、屢、列國  
共同事業の中心地となる。住  
民はチュートン族を主とすれど  
も、ラテン族も亦多く、國土の小



街市のソルベ

なるに關らず、言語錯雜して、獨逸語・佛蘭西語・伊太利語等並び行は  
る。宗教は新教盛なれども、舊教徒も亦少からず。教育能く普及  
して、勤勉力行の美風に富み、又古來獨立尙武の氣象旺盛なり。

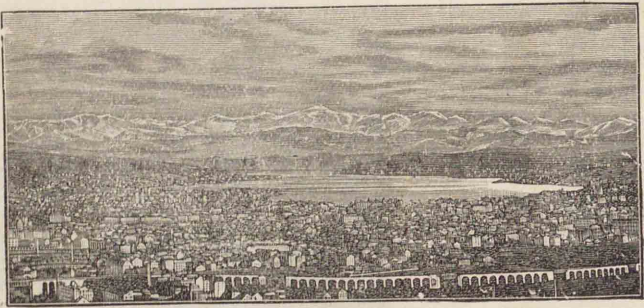
**都邑** この國の都會は、多く河湖の沿岸に發達して風景の秀麗な  
るもの多し。首府ベルンBernはアール河畔に位し、萬國聯合郵便電信  
事務局あり、我が公使も此處に駐在す。ジュネーブ湖畔のジュネーブ

ジュネーブに日本  
の國際聯盟帝國事  
務局あり

ジュネーブ湖北の  
ローガンヌは近東  
會議の開設せられ  
し地として知らる

チュエーリヒの工業  
學校は世界に有名  
なり

**面積** 約五十五萬方  
秆(約三萬五  
千六百里)  
**人口** 約三千九百萬  
**隣邦** 白耳義・ルク  
センブルグ・  
獨逸・瑞西・伊  
太利・西班牙



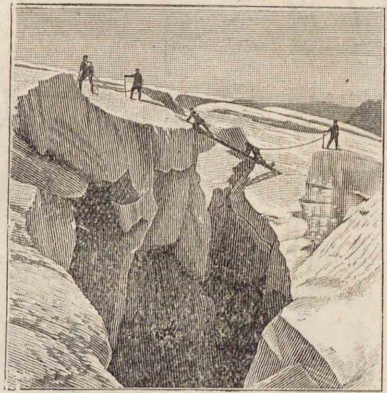
觀大の市ヒリ

は、西部に於ける商工業の中心をなし、時計の  
産多く、赤十字社本部の所在地にして、又國際  
聯盟本部も此處に置かる。北部のバゼル  
は、織物・化學製品等を産し、チュエーリヒ湖畔のチュ  
エーリヒは、東部の要市にして、織物・化學製品等  
を産し、ルツェルン湖畔のルツェルンLuzernは、湖水を隔  
て、リギ山を望み、風景甚だ佳なり。

第十二章 佛蘭西

France 附 モナコ

**地形** 西歐の大國にして、面積は我が國の約  
八割に當れり。國の形狀は、不完全なる六角  
形をなし、その三面は海に臨み、三面は他國と接す。東南境にはア  
ルプ山脈ありて、モンブランを始め高山多く、その北にユラ山脈Mont Blanc Vosgesボ



河氷のそとンラブソモ

イジュ山脈等相連り、西南境にも高峻なるピレネー山脈延互すれども、東北部のみは、天然の障壁を缺く。

内部には、稍、東に偏して中央臺地あり、數多の消火山その上に聳ゆ。臺地の東側は、急斜してローヌ河の谷となり西側は廣き

平野にして、ガロンヌ・ロアル・セーヌ等の河川此處を流る。

英吉利海峽には、ノルマンディー・ブルターニ等の半島あり、丘陵性にして地味瘠せたれども、風光佳麗なり。ビスカヤ灣岸は一帶に單調にして、砂丘の發達著しく、地中海面にはリオン灣灣入し、その

コルシカ島はナポリオン一世の生地にして伊太利語行はる

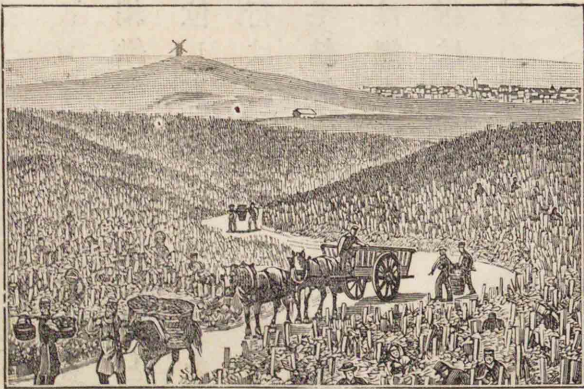
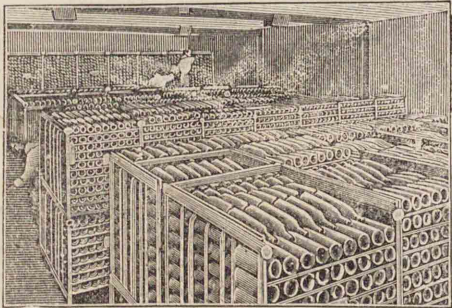
Lion

東南には海上遙にコルシカ島あり。

【氣候】 西部は灣流の影響を受け、溫和にして雨量に富み、地中海岸地方は、冬季殆ど雪を見ることなく良好の避寒地たり。されど内部は稍、大陸性に傾けり。

【産業】 氣候の關係上、農業は頗る盛にして、

北部は麥類の産多く、南部は葡萄・橄欖等の果實に富み、殊に葡萄は北方の一部を除きて殆ど全國に栽培せられ、葡萄酒の醸造盛にして、品質の優良なる事、世界の最と稱せら



園葡萄と蔵貯の酒葡萄





牡 蠣 の 養 殖

富めるが上に、更に大戦の結果、ザール流域の炭田・ローレンの鑛山を得たるを以て、將來益々旺盛を見るに至るべし。

工業は、綿織・絹織・毛織等の機業を第一とし、又優秀なる美術品の産多く、その他製鐵・造船等も甚だ盛なり。

貿易も近年大いに發達し、絹綿毛の織物・毛絲・葡萄酒等を輸出し、

れ、東北地方よりは名高きシャンパン酒を産す。ローヌ河の流域は養蠶盛にして、絹織業の盛大なること世界第一に位し、臺地の縁邊及び北部には牧畜行はれ、名産たる佛蘭西草の外、羊毛・毛絲等の産あり。西北部の近海には鱈の漁利多く、又牡蠣の養殖盛に行はる。鑛産は鐵・石炭に

羊毛・綿・生絲・石炭等を輸入す。我が國にとりては、大顧客にして、盛に生絲・羽二重等を賣り、又毛絲・メリンス・葡萄酒等を買ふこと少からず。

**交通** 鐵道網の發達著しく、巴里は歐洲大幹線の中心となり、河川は三方に

分流して之を連ぬる運河多く、陸内の交通至便なると共に、海運は多數の商船を有して、廣く世界の要地と航路を通じ、我が國の商船もこの國に寄港す。



佛 蘭 西 の 子 供

人口の増加率少きことはこの國の將來に對する國家的大問題なり

**住民** 國民はラテン族を主とすれども、西北部には原住のケルト族殘存し、又東北より移住し來れるチュートン族も加はりて、種々の雜種を生じ、西南の山地には少數のバスク族あり。國民の増加極めて少く、加ふるに今次の大戦に於て、多大の人命を失ひし爲密度

最近二回の人口調査期間に於て毎年平均一千人中五人減少を示せり

【圖説】 佛國農民の風俗にして「落穂拾ひ」と題するミレーの名畫を描寫したるもの原圖はルーブル博物館にあり

は一方料七十人餘に過ぎず。文化の程度高く、殊に美術・文藝に長じ、言語も極めて優雅なれば、佛語は廣く世界の交際場裡に用ひらる。教育能く普及し、宗教は主として舊教を奉じ、その儀式は頗る崇嚴なり。一般に感情的にして、都人士は稍浮華に流るゝ傾なきにあらざると雖、概して勤儉貯蓄を重じ、外國に放資せる金額は頗る多し。



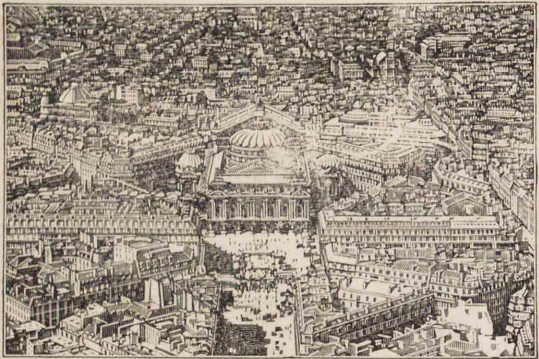
佛國西の農民

主 要 領 土

(保 護 地 治 地 を 合 む)

亞細亞	佛領印度支那 佛領印度 廣州灣(租借地) シリヤ地方
亞弗利加	アルゼリヤ チュニス モロッコ サハラ及びスダンの大部 カメルン 佛領コンゴ マダガスカル
亞米利加	ギアナの一部 西印度の一部
大洋洲	ニューカレドニア ポリネシアの一部

【政治】 この國は建國古く、中歐に雄飛すること多年、ナポレオン一世の帝位に即くに及び、歐洲の半を平定せしが、爾後屢政變を重ね、普佛戰爭の後共和制を採り、以て今日に及べり。軍備は



上空より觀る巴黎

海陸共に頗る強勢にして、今次の大戦にも能く獨逸の大軍を阻止し、聯合諸國と最後の勝利を得て、曩に獨逸に割讓したるアル・サ・ロレオンを回復し、大いに國威を宣揚したりと雖、之が爲に財政上産業上に受けたる瘡痕は甚だ深し。海外領土甚だ廣く、本國の二十

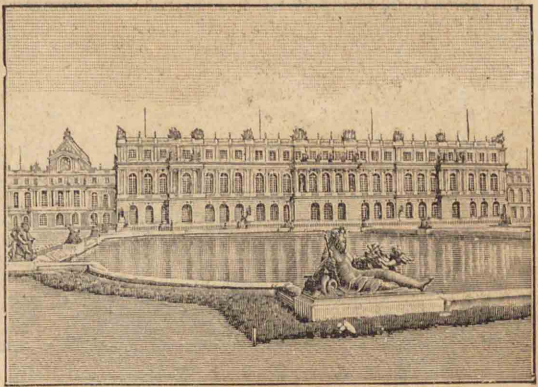
三倍に餘りしが、更に大戦の結果、獨逸土耳其等の舊領土中、この國の領有又は統治となれる處頗る多し。されど不生産的土地多く、その發展は未だ著しからず。

日本との關係 明治維新後に於ける我が軍事學藝等の進歩は、この國に負ふ所頗る多く、曩に日佛協約を結び、世界大戦には共同の敵に當り、今は往きて藝術の研究に従ふもの多し。

【都邑】 首府巴黎はセーヌ河に跨り、世界第三の都會にして、政治・商業の要樞を占め、我

巴里の裝飾品は世界に有名なり

ル・アンは女丈夫ジャンヌ・ダルクの焚刑に處せられたる處なり

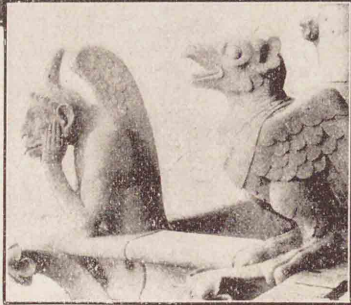
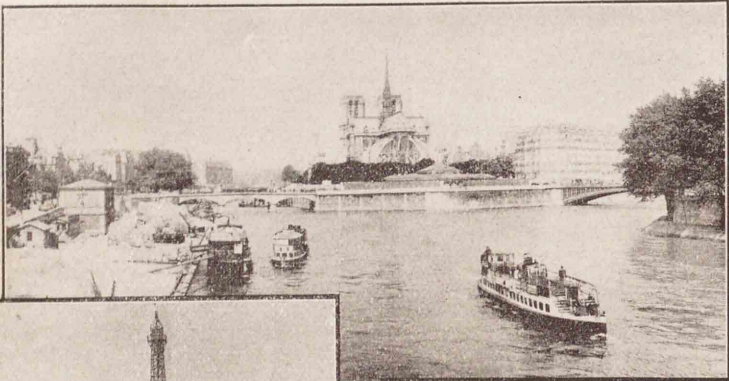


殿宮のユイサルベ

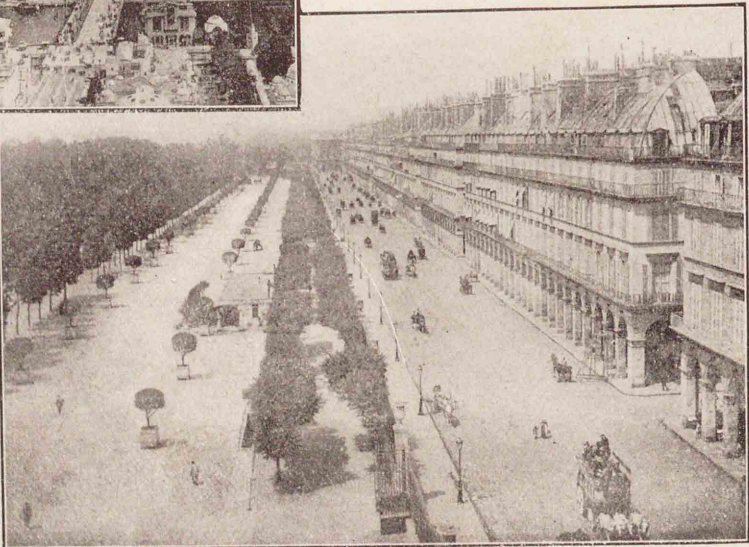
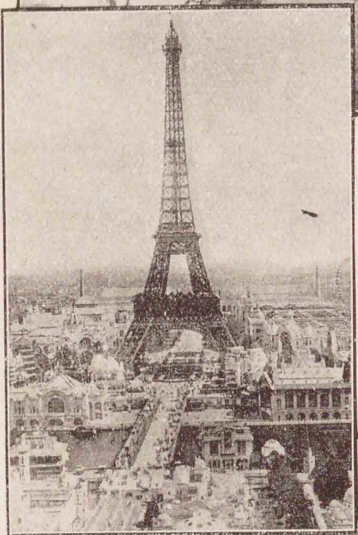
印せらる。ル・アンは嘗て繁盛なりし河港にして、今は綿布の製造盛に行はれ、河口のル・アールは織物の産多く、その附近よりは盛に石炭を出し、ダンケルクはこの國第三の商港にして、近時貿易の發達著しく、

が大使館も此處にあり。府内にはノートルダム寺院・大劇場・エッフェル塔・ルーブル博物館等を始め、壯大なる建物多く、市街の華麗なること世界無比と稱せられ、美術工藝盛にして、外人の來遊常に多く、世界に於ける服飾流行の中心をなす。市の西南に當るベルサイユには、建築の宏壯と林泉の美とを以て名高き宮殿あり、最近の對獨平和條約は、この殿内にて調

セーヌ河畔よりノートルダム寺院を望む(附圖は寺院の屋上を飾る怪獸)

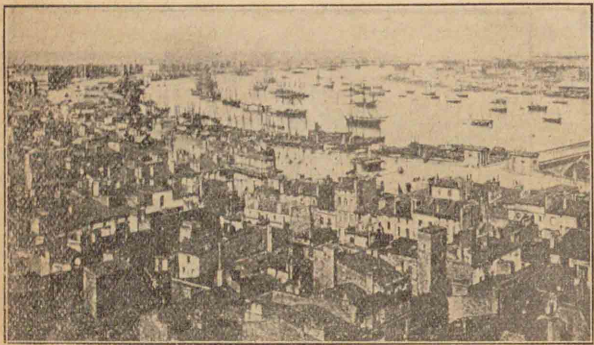


エッフェル塔



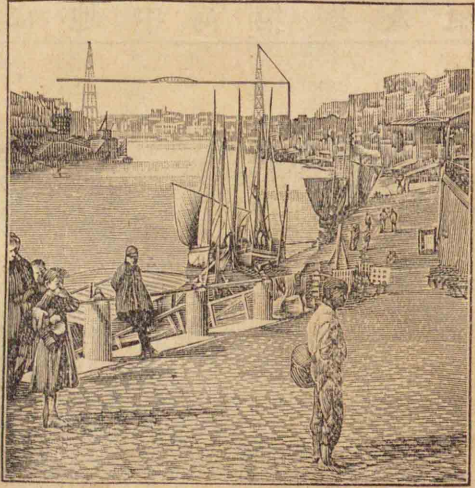
巴里の市街

オルレアンはジャ  
ンヌ・ダルクが英  
軍の圍を解きし處  
なり



カレールは近く英國と對し、海峽の要地を占む。西南のシエルブルブル  
ストは共に軍港にして造船業盛に行はる。  
ロアール  
河の口に近  
くナントの  
港市あり、砂  
糖の取引行はる。上流のオルレアンは形  
勝の地點を占め、更に上流のサンテチエヌ  
は製鐵業の大中心をなす。ガロンヌ河の  
下流地方をメドックといひ、葡萄の栽培盛なり。  
河口のボルドーはこの地方の中心市

ボルドーの埠頭

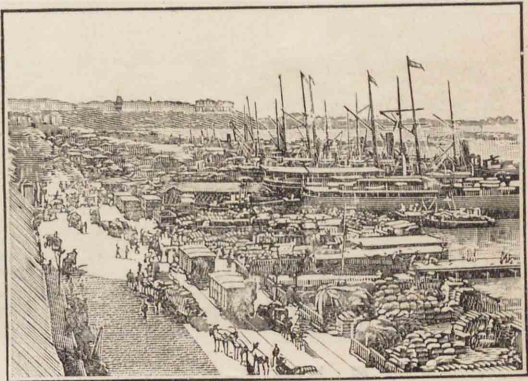


ナントの街市

Medoc  
Bordeaux (G)

里昂に我が領事館あり

マルセイユに我が領事館あり



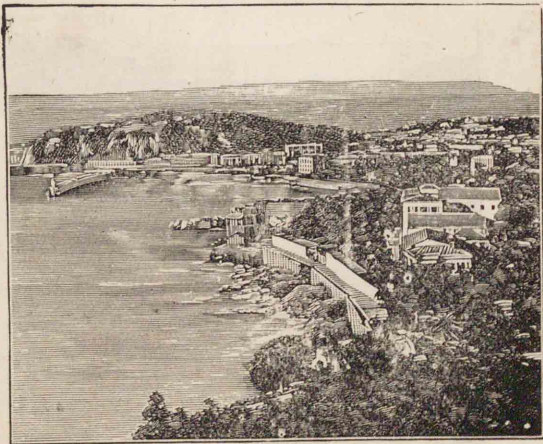
マールセルユの埠頭

にして、葡萄酒・果實等の輸出甚だ多く、上流のツールーズは、南部に於ける交通の中心地なり。

ローヌ河畔のリヨン(里昂)は絹織業の盛大なること

世界第一にして、又内地交通の中心をなし、河口に近きマルセイユ(馬耳塞)はこの國第一の商港にして、我が商船も此處に寄泊す。

ツールオンは軍港にして、壯大なる造船所あり。この以東の海岸は氣



ニースの海岸

候温暖にして避寒の好地をなし、ニースは殊に著名なり。

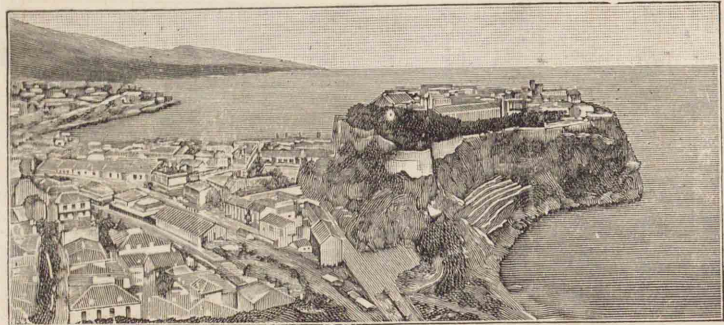
東部のアルサス・ロレーンは大戦講和の結果、獨逸より割譲せられたる處なり。

アルサス地方には農産多く、ストラズブルグはその中心市にして、交通の要地を占め、ロレーンは鐵の大産地にして、メッツの要塞市あり。

尙この附近にはベルダン・ナンシー等の要塞市多し。

ザール河流域は、國際聯盟の管理に屬し、その炭田はこの國の有に歸せり。

モナコ 佛蘭西の東南海岸にある侯國にして、歐洲最小の獨立國なり。一種の賭博を公許し、その税金を以て國費を支



メッツの附近より岩鹽を出す

モナコの面積は二十方軒(二方里餘)に足らず人口も二萬餘に過ぎざれども自國發行の貨幣及び郵便切手あり

辨す。風光明媚、氣候溫和なれば、保養遊樂地として知られ、又有名なる海洋博物館あり。

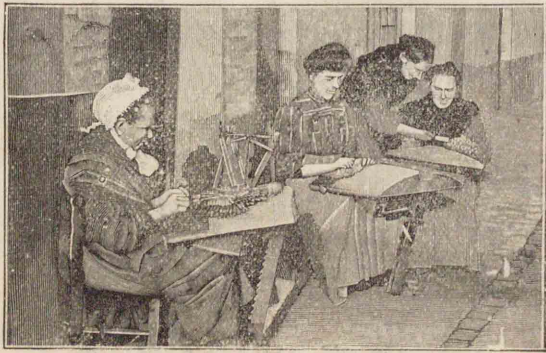
### 第十三章 白耳義

Belgium 附 ルクセンブルグ

面積 三萬方呎(約千八百方里)  
人口 約七百五十萬  
隣邦 佛蘭西・ルクセンブルグ・獨逸・和蘭

**地形** 北海道の殆ど半に等しき小國にして、東南の一部は山地なれども、次第に丘地となり、平野となる。マース・シルトの二川、緩く此處を流れて、灌漑の利至らざるなし。

**氣候・産業** 氣候は稍濕潤なれども、概し溫和にして農業大いに開け、小麥・亞麻等の産多く、小農法の完備は世界無比と稱せらる。中部以東には、鐵石炭の産多く、製鐵製鋼を始め、機械・硝子・織物・砂糖等の製造盛大を極め、



造 製 の ス - レ

中にもレースは世界獨歩の稱あり。貿易は甚だ盛にして、主として鐵石炭・板硝子・機械等を輸出し、食料品を輸入す。我が國へも鐵板硝子等を輸出すること少からず。

交通は地形平坦にして河川の水利大なるが上に、無數の運河を通じて、鐵道はその間を縫ひて、到る處に敷設せられ、水陸共に極めて便なれども、海運は多く外國船による。

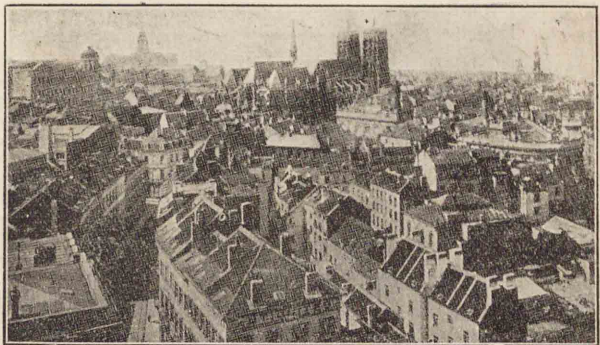
**住民政治** 平地多く、且工業盛なれば、人口の密度は世界第一に位し、殆ど我が國の二倍に當る。北部はフレミング人多くしてフレミング語行はれ、南部にはワールン人ありて佛語を用ふるが故に、公文には兩語を併用せり。兩族共に舊教を信ずるもの多く、教



賣 乳 牛 の 義 耳 白

鐵道の延長六千八百哩に達し鐵道網の發達せること世界第一なり  
**圖説** 犬を人馬に代用して車を牽かしめ農耕を助けしむるは白耳義・和蘭邊の特習なり今回の戰役にも犬を利用して頗る功を奏せりといふ  
人口密度は一方料二百六十余人にして我々關東と匹敵せり  
フレミング人はチユートン族とケルト族との混種にしてワールン人はラテン族とケルト族との混種なり

コンゴはもと個人として白耳義王の管理に属する獨立國なりしが明治四十一年之を本國に合併せり

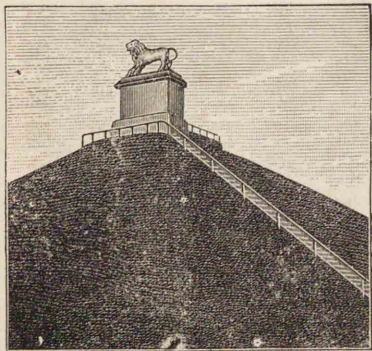


街市のルッセルブ

獨領東阿弗利加の一部を統治す。

都邑

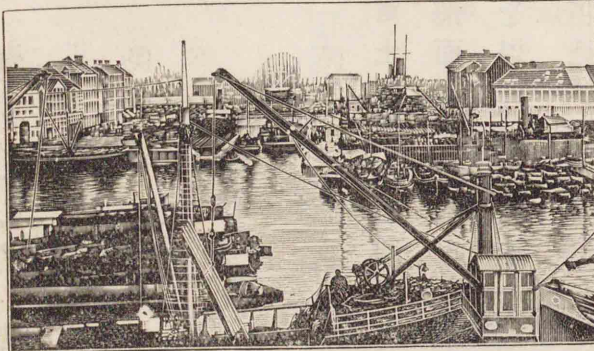
首府ブルッセルは、殆ど國の中央に位し、市街華麗にして「小巴里」の名あり、精巧なる



碑念記-ロルテ-ワ

育進歩し、實業教育殊に發達せり。この國は、往時和蘭と共に一國たりしが、民族・宗教等の相違より、九十餘年前分れて別箇の立憲王國となれり、歐洲の大戦に際し、國の大部は獨逸軍に蹂躪せられしも、國民は惡戰苦闘能く之に抗し、平和條約の結果、モレネ・オイペン・マルメヂー等の地を併せたり。阿弗利加のコンゴはこの國の屬地にして、又舊

安土府に我が領事館あり  
歐洲航路(往航)  
横濱：神戸：門司  
：上海：香港：シ  
ンガポール：マラ  
ツカ：コロンボ  
：スエズ：ポルト  
サイド：マルセイ  
ユ：倫敦：アンバ  
ルス



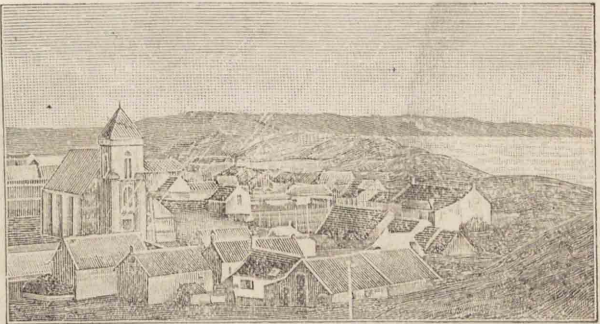
(下)スルベンアと(上)街市のジーエリ

レースの産に名高く、我が大使館此處にあり。市南のワテロ  
Iは著名の古戰場なり。マース河畔の地方には、盛大なる工業市  
多く、リエージュは製鐵業の中心にして、盛に機械・兵器等を製出し、ベ  
ルビエーは毛織物の産多し。シエルト河  
畔のアンベルス(府安土)は、西歐の大門戸にして、貿易盛大を極め、我が歐洲航路の寄船地なり。上流のガントは織物の産多く、西海岸のオランダは英國に渡る要津なり。

ルクセンブルグの面積は約二千六百万方呎(約百七十里)人口約二十六萬あり

面積 約三萬二千六百万方呎(約二千六百里)  
人口 約六百八十万  
隣邦 獨逸・白耳義

徳川時代の初期に紅毛人といひしは和蘭人なり  
和蘭の別名ネーデルランデンは低地の意なり



和 蘭 の 海 岸

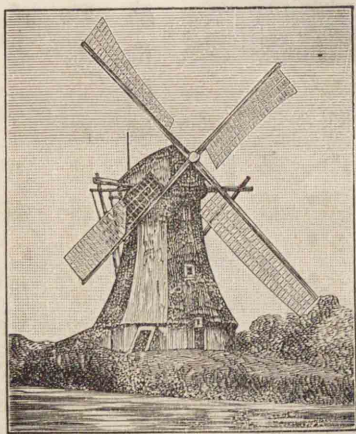
ルクセンブルグ 獨佛白の三國間に介在せる大公國にして、同名の都府あり。國內鐵の産に富む。

第十四章

和 蘭

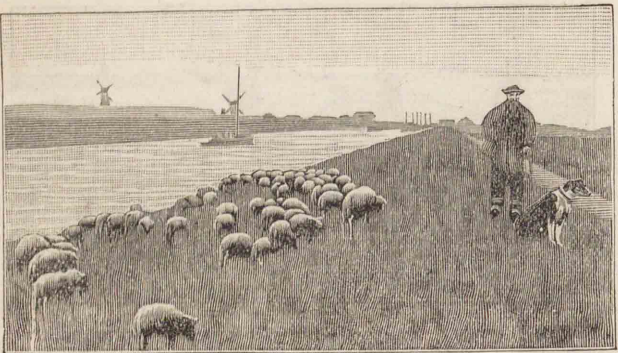
Holland (Netherlands)

地形 面積は我が臺灣よりも狭き小國にして、土地低く、沼澤多く、殊に海岸地方の大部は海面よりも低きを以て、天然の砂丘と人工の堤防とによりて、海水の浸入、河水の氾濫を防ぎ、風車又は蒸氣を用ひて、巧に排水を施す等、絶えず治水事業に力を盡し、



排 水 の 用 風 車

海面より低きは土地の沈降によるものにして、フリジャ諸島は砂丘の残りしものなり



海事思想著しく發達せり。ライン・マース・シュルト等の河川、數多に分れてこの低地を貫流し、運河は網の如く、到る處に開鑿せられ、多數の道路・鐵道と相俟ちて、交通甚だ便なり。北方のゾイデル海は、  
Zuider Zee  
海水極めて淺く、近時埋立によりて漸次縮少しつゝあり。

牧 場れども、霧多くして、快晴の天を見ること稀なり。東北部は冬寒割合に強く、運河は悉く凍結して、良好の橈道となれり。斯く氣候の多濕にして、健康に適せざる爲か、國民景は甚しく潔癖にして、洒掃は最意を用ふる所なり。

産業 耕地廣く、麥・馬鈴薯等の産少からざ





花 卉 園 と 乾 酪 略 市 場

れども、殊に發達せるは牧畜にして、牛酪乾酪等の産甚だ多く、濃緑なる牧場は、この國の特色たる花卉園と交錯して、

四通八達せる溝渠の間に開展する狀、一種の美觀をなせり。製糖・醸造等も頗る盛なれども、工業の最、盛大なるは造船事業とす。

貿易は甚だ繁盛にして、人口の割合にその額の多きこと世界第一に位し、且國人の海事に堪能なるより、多數の商船を有して運輸を營み、廣く海上を往來して、他國の貿易にも參加せり。

住民政治

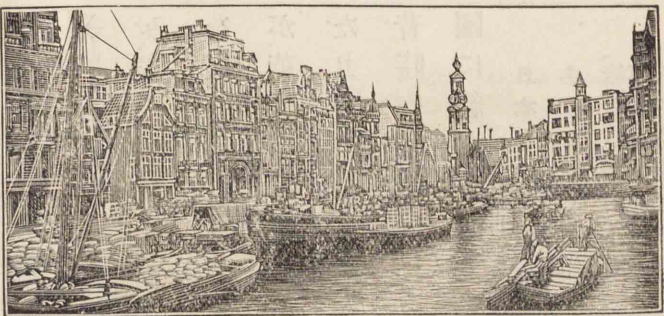
住民の密なること白耳義に次ぎ、その多數はチートン族にして、概新教を奉じ、教育能く普及して、勤儉の美風あり。國人は古來海事思想に富み、廣く東西に雄飛して世界の海上權を握り、我が國とも早く通商を開きしが、英國の勃興によりて全盛を奪はれたり。政治は立憲王制にして、國勢は昔時の旺盛を見る能はずと雖、尙マレー諸島の大部を始めとし、本國に約六十倍する廣き領土を有す。



和 蘭 の 田 舎

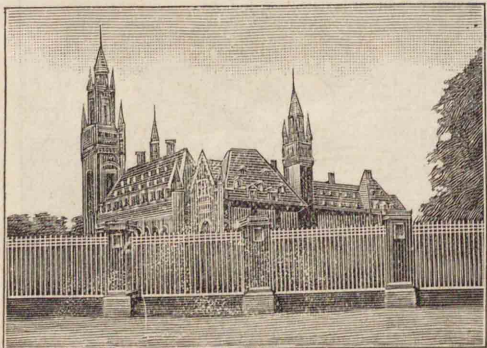
日本との關係 我が國とは已に徳川幕府の初期より通商を開き鎖國時代にありて能く西洋の文化を入れ、博物・地理・醫學等の進歩を促したり、されば昔時「唐なる語が外國を意味したる如く、一時和蘭なる語は西洋の意味に用ひらるるに至りしが、現時の關係は著しく深からず。

我が西陣織は平和殿内の装飾となりて異彩を放てり



街市のムダルトスマア

**【都邑】** 首府ハーグ<sup>(The Hague)</sup>は閑雅なる都にして、別荘多く、又萬國仲裁裁判所平和殿等あり、我が公使も此處に駐在し、ライデン<sup>(Leiden)</sup>は著名の古戰場なり。アムステルダム<sup>(Amsterdam)</sup>は國內第一の大都にして、北海運河によりて外洋と通じ、水運の便甚だ宜しく、貿易の盛大と、金剛石細工の特技とを以て著はれ、造船も亦盛なり。ロッテルダム<sup>(Rotterdam)</sup>は内外水運の要點に位し、貿易盛にして、その市況は前者を凌がんとし、ブリッセン<sup>(Brijsinghen)</sup>は英國へ渡る要津をなす。



殿 和 平

面積

約三一萬方軒  
(約二萬方里)

人口

約四千七百萬  
右はアイルランド自由國(面積約六萬九千方軒・人口約三百萬)を含む

第十五章

英吉利

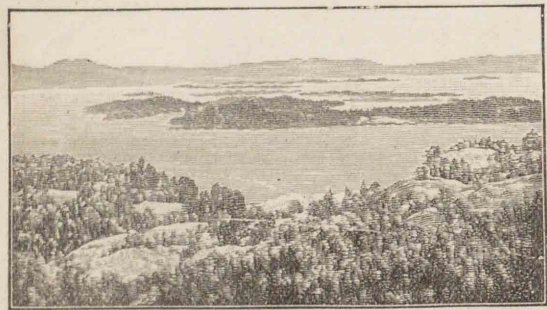
England

**【地形】**

英吉利は、大ブリテン・アイルランドの二大島と、ヘブライイズ

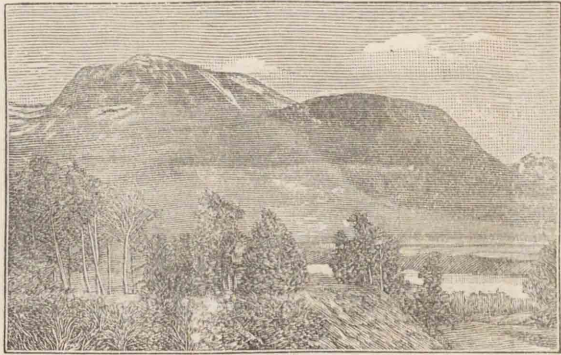
オークニー・シェトランド・チャンネル等諸島とより成り、その面積は

我が國の半よりも稍小なり。



(湖ドンモロ)水湖のドンラトッコス

大ブリテン島は、イングランド<sup>(England)</sup>・スコットランド<sup>(Scotland)</sup>及びウェールズ<sup>(Wales)</sup>に分る。スコットランドは山勝にして、湖水の風趣を添ふるもの多く、その南部は一帶の平地を挟みてチエビオット<sup>(Cheviot)</sup>の隆起あり、西部にはペンニン山脈<sup>(Pennine Hills)</sup>等ありて、ウェールズ及びイングランドに斷續し、處々に山地を成す。されど海拔は一體に小にして、國內の最高峯たるベンネビス山<sup>(Ben Nevis)</sup>も、尙



千三百四十米餘に過ぎず。東南部には廣  
 き平野ありて、テムス・ハンバー・セバーン  
 Thames Humber Seven  
 等の諸川此處を流れ、多數の運河之を連ね  
 て水運を助け、又その河口は、開きて喇叭狀  
 となり、良港を形成せるもの多し。アイル  
 ビネン  
 スランドは、周邊に低き山地を繞らし、内部は  
 山沼澤性の盆地をなして湖水多く、シャノン  
 Shannon  
 河その水を集めて海に注ぐ。

海岸は屈曲錯雜して良港灣に富み、殊に  
 スコットランドの西北岸は、無數の峽灣鋸齒の如く相連る。カレド  
 Caledonian

ニヤ運河は、天然の峽灣に人工を加へたるものにして、北海と大西  
 洋との航通を便ならしむ。

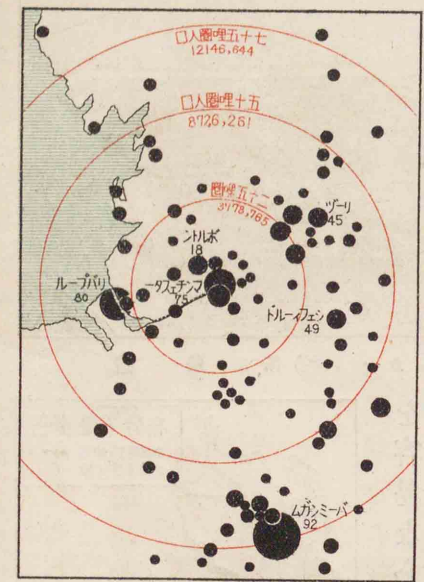
【氣候】 この國は我が千島よりも高緯度にあるに拘らず、灣流の影

倫敦にて快晴の日  
 は一年間平均十二  
 日を超えずといふ

響によりて氣候溫和なれども、濕潤にして濃霧多く、快晴の日は極  
 めて稀なり、又西部地方は頗る雨量に富む。

【産業】 國民の多數は商工業に従事し、田園を捨て、都市に集る傾

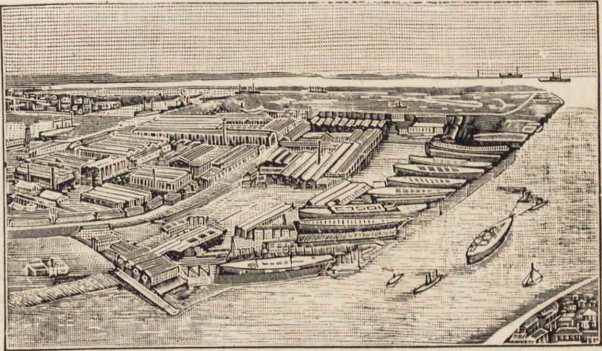
向著しく、イングランドに於ける耕地は、全土の約六分の一に過ぎ  
 ず。アイルランドにては農牧を主とし、馬鈴薯の産多く、牛馬の飼  
 養も亦行はれ、北海に於ける水産も頗る豊富なりと雖、是等の食料品



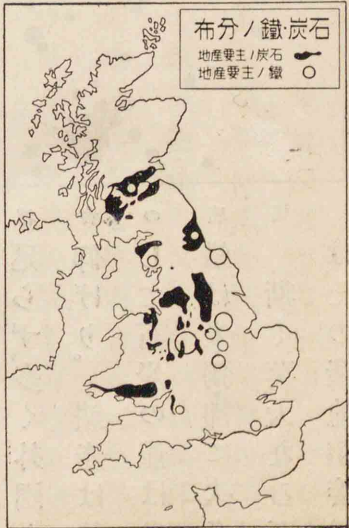
は到底多數の需用を充すに  
 都足らず、多く外國より輸入を  
 會仰げり。鑛産は甚だ豊富に  
 のして石炭の産は米國に次ぎ、  
 密鐵は米獨佛に次ぐ。  
 集 斯く莫大なる石炭と鐵と  
 は、その產地相接近し、廣大な

我が軍艦もこの國にて造りたるもの少からず

自由貿易主義を採る

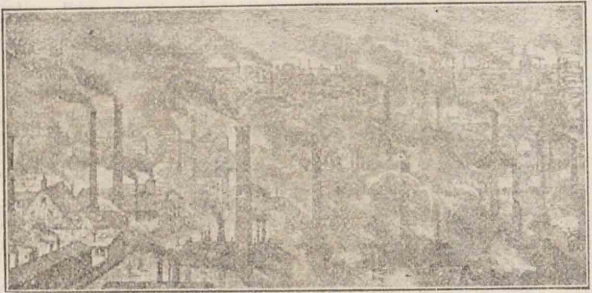


(ル ス ッ カ ー ニ) 所 船 造



も亦甚だ盛なり。イングラントの中部は、是等の工場最も多く、煤煙常に天を掩ひ、黒郷の稱あり。  
貿易も無比の發達をなし、盛に綿布、鐵、機械、石炭、毛織物等を輸出

る植民地は至廉の原料を供し、形勝の位置は製品の販賣

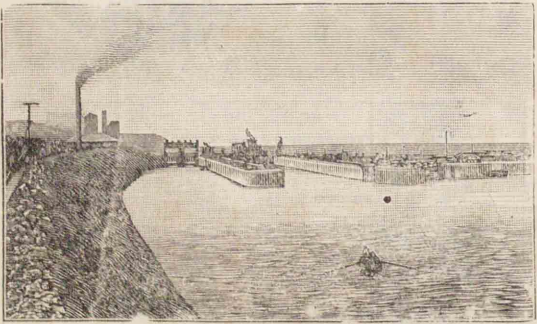


工 業 地 方 の 景 光

して、穀物、綿、肉、羊毛、木材等を輸入す。取引は米國、印度等との間に最盛に行はれ、我が國へも鐵材、鐵製品、綿布等の輸出頗多けれども、我が國よりの輸入は之に比して少く、羽二重、銅等を稍著しとす。

交通 通商の盛大に伴ひ、運輸も大いに發達し、鐵道は設備の完きが上に、面積の割合に延長の大なること、白耳義と共に

に世界の首位に居り、河川、運河の水運亦大にして、國內交通の至便なると共に、國の位置は陸半球の殆ど中央を占め、數多の良港は四邊に



河 運 ー タ ス ー ナ ン マ

英國の商船噸數は  
世界總噸數の三十  
五%に當る

開き、世界第一の商船を有して、  
廣く各地と航通し、世界の到る  
處殆どこの國の商船旗を見ざる  
はなく、我が商品の輸送も英船  
によるもの少からず。

住民 イングランドには、チユー

トン族のアンゴサクソン人多く、その他には先  
住のケルト族も少からず。人口の密なること白

Anglo-Saxons

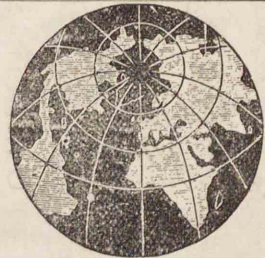
耳義和蘭に次ぎ、増加率も亦大にして、年々海外へ

移住するもの多く、英語は廣く世界の商用語として行はる。チユー

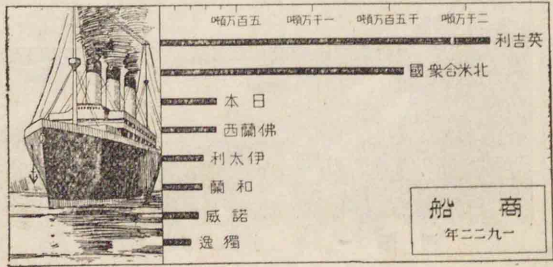
トン族の間には、新教盛なれども、その他には舊教徒も亦多し。教

育能く普及し、その方針は專、品性の修養に意を用ひ、勤勉著實にし

て秩序を守り、道義を重んずるを主眼とせり。



球 半 陸



主 要 領 土

(委任統治地を含む)

亞細亞	香港 印度帝國 海峽植民地 一ロン アデン パレスチナ ソボタミヤ ボルネオ一部 威海衛(租借地)
大洋洲	濠洲聯邦 新西蘭 ファイジー諸島 島 ニューギニア一部 同上一部 及ビスマルク諸島等(南洋) サモア 諸島一部(新西蘭) ナウル島(新西蘭)
歐羅巴	愛蘭自由國 ジアラタル マルタ島 南アフリ加聯邦 ケニヤ タンガ ンイカ 南西アフリ加(南アフリ加) ネヤ地方數ヶ所 スダン一部 加奈陀 ニューフォンドランド 英領ホンチュラス ジヤマイカ バハマ諸島
北米	ギヤナー一部
南米	フォークランド諸島

政治

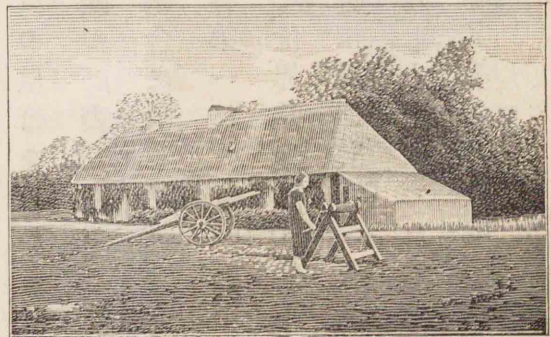
アングロサクソン人は、嘗てユトランド地方より移住し來り、早く憲法の基礎を定めて強大となり、スコットランド・アイルランドは各自獨立の立法權を有せしが、後に合同して今の聯合國となり、國號を大ブリテン・北アイルランド聯合王

The United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland

國と稱し、その王は印度の皇帝を兼ね、憲政の整備すること世界各國の師表と仰がる。

兵備は陸軍常備兵割合に少しと雖、海軍力の強大なることは世界第一に位す。領土は廣く六大洲に散在して、世界陸地の五分の一に餘り、その人口は四億に及び、英國の版圖内には太陽の没する時なしと稱せられしが、更に大戰の結果、獨逸・土耳其等の舊領中、この國及びその植民地の統治地となれる處多し。

愛蘭問題 愛蘭はケルト人の住地にして、久しく  
 アングロサクソン人の壓迫を受け、教育進まず、産  
 業發達せず、土地の多くは英蘭人の所有にして、彼  
 等は貧しき農民に過ぎざりき。民族的自覺を生  
 じたる愛蘭人は、速に英蘭の羈絆を脱して政治的  
 經濟的の獨立を得んとて、各種の反抗運動を試み  
 たり。英本國はその大勢の沮止すべからざるを  
 知るや、一千九百二十一年その自治を許して愛蘭  
 自由國と稱したり。然るに北部なるアルスター  
 州には、蘇格蘭よりの移民多く、工業を營み新教を  
 奉じて南方と融和せず、別に北愛蘭と稱して自治  
 を許され、兩者の國境問題に關して流血の慘を見たることあり。領土の大を  
 以て誇りし英國も、今や領土統一の煩に堪へざらんとす。



愛蘭の農民

日英の關係 我が國の海軍、學藝、實業等の進歩は、この國に負ふ所多く、商業上  
 の取引も亦少からざるのみならず、兩國共に島國にして、彼の大西洋を控へて  
 西歐に臨めるは、我が太平洋を控へて東亞に對すると形勢相等しく、各種の事

日英同盟は華盛頓  
 會議に於ける四國  
 (日英米佛)協約の  
 成立と共に消滅せ  
 しも國交は變るこ  
 となく曩に我が東  
 宮殿下は英國御訪  
 問を主として歐洲  
 を漫遊し給ひ次で  
 英國東宮殿下も亦  
 我が國へ御來遊あ  
 りて彼我の歡迎至  
 らざるなかりき

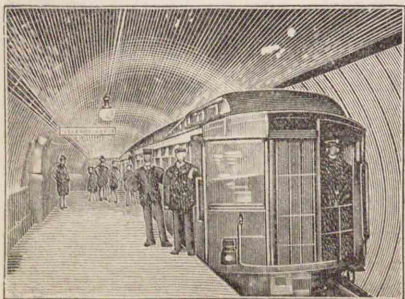


倫敦市の大觀

情相似たる點多きを以て、日本は往々東洋の英  
 國と稱せらる。この二島國は明治三十五年以  
 來同盟を結びて結合愈、固く、今次の世界大戰に  
 當りても、我が國は同盟の誼を守りて聯合國を  
 助け、國交極めて親密なり。

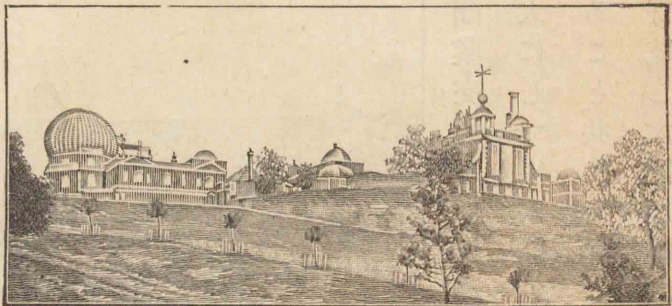
都邑 イングランドには重要な都會多  
 く、文化に、富力に、總てこの國の中心をな  
 す。首府倫敦はテ  
 ームス河に跨り、世  
 界の大都會にして、

商業交通及び經濟の大中心をなし、工業亦盛  
 大にして、出入船舶の繁劇、貿易取引の盛大な  
 ること、共に世界に比なく、我が商船も此處に  
 寄航し、大使も此處に駐在す。市内には國會



倫敦の地下鐵道

本初子午線は通常  
經度の起算とする  
線なり

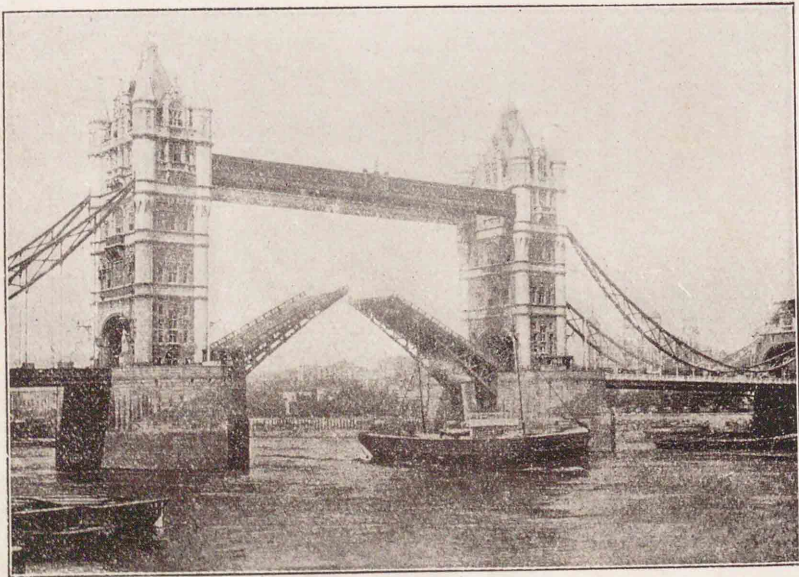


臺文天のチニリグ

議事堂・博物館・英蘭銀行・ウエストミンスター寺  
 ロンドン塔等、宏壯なる建物多けれども、煤煙  
 と濃霧とは市の名物にして、往々白晝にも點  
 火を要し、交通杜絶することあり。東南部の  
 グリニチには名高き天文臺あり、本初子午線  
 Greenwiche  
 此處を通ず。北方のケンブリヂ、西北のオック  
 Cambridge  
 スフォードには、共に著名の大學あり。  
 英吉利海峽に臨めるドーバーは、大陸と交  
 通の要地を占め、ポーツマスは海軍根據地に  
 Portsmouth  
 して、サザンプトンは大西洋航路の集點に當  
 Southampton  
 れり。ブリistol灣に臨めるブリistolは、  
 Bristol  
 カードフは、廣大にして  
 Cardiff  
 主要の商港にして、之と對するウールズのカーヂフは、廣大にして  
 良質なる炭田を控へ、石炭の輸出多きこと世界に冠たり。



場廣ルガルフラト敦倫  
(碑念記の軍將ンソルネはつ峙く高)

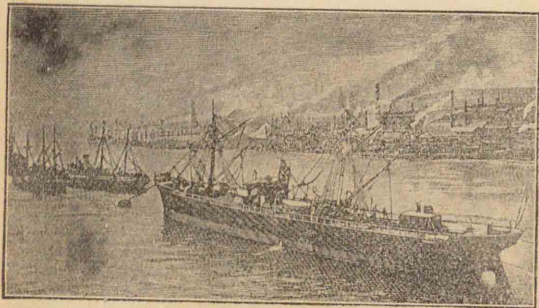


橋一ワタの河スムーテ  
(塔敦倫はるゆ見に微りよ間橋)

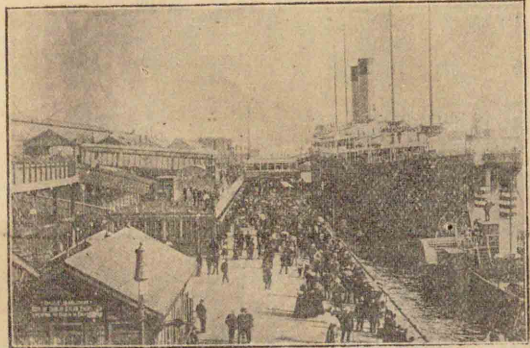
リバプール・マン  
チェスター間の鐵  
道は世界最古の  
ものとす

リバプールに我が  
領事館あり

イングランドの中部は、石炭鐵の産に富  
み、各種の工業市多し。バ・ミ・ガムは世  
界第一の鐵工業地にして、大小の鐵器産せ  
ざるなく、ブラッドフォード、リーズ、シェ  
フィールドの毛織物、シェ  
フィールドの利器等も  
亦名高く、マンチェスター  
は綿絲綿布の製造  
盛大を極め、世界工業  
市の白眉たり。市と  
運河を通ずるリバプールは、この地方の門戸  
をなし、輸出の盛なること倫敦を凌ぐ。  
東岸のハルは、通商の要地にして、又水産業  
の中心をなし、ミッドルズバラは鐵材の輸出多



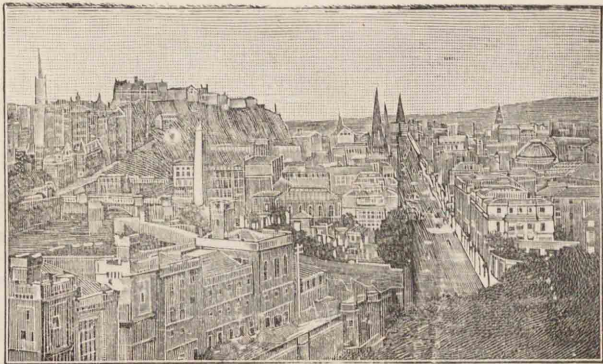
岸海のルスッカークニ



頭埠のルーバリ

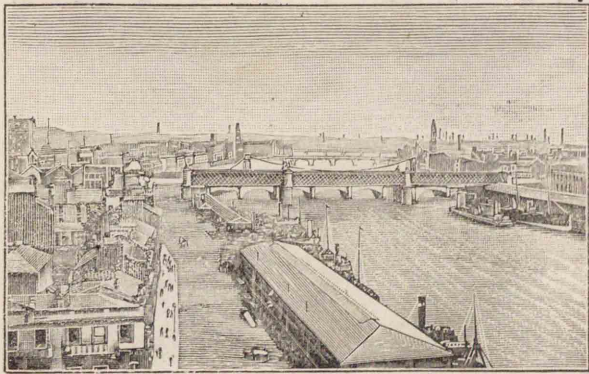


ニューカッスルの附近に有名なるアイムストロング會社あり



街市のラバンヂエ

船製鐵等の工業盛なり。北方のオークニ  
一諸島間にスカパフロアの内灣あり、大戦  
の際、艦隊の根據地とせし處なり。



ゴスラグと河ドイラク

く、我が郵船の寄港地にして、ニューカッスルは  
石炭の輸出多く、造船業亦盛大なり。  
スコットランドのエジンバラは、風光明媚  
にして、文藝上の中  
心をなし、出版業盛  
に行はる。クライ  
ド河畔のグラスゴ  
ーは、この國第二の  
都會にして、附近に  
廣き炭田を有し、造

面積	西班牙
約九萬一千方 里(三萬二千方 里)	約二十百萬 葡萄牙
人口	約九萬一千方 里(五千萬百 方里)
六百四十萬	



街市のシリブダ

ダブリンは愛蘭自由國の首府にして、釀  
造業行はれ、ベルファストは、北愛蘭の主邑を  
なし、亞麻の製造を以て名あり。

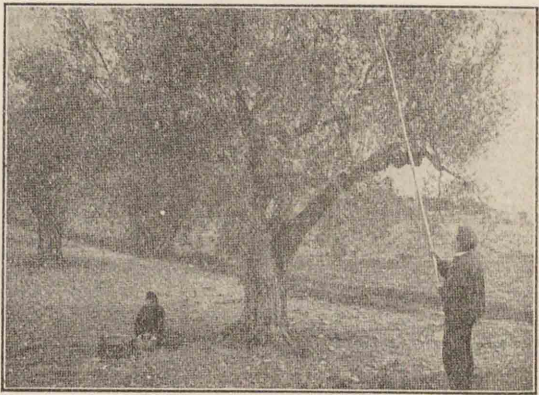
### 第十六章 イベリヤ半島

Iberian Peninsula

附 アンドラ

**地形** 歐洲の西南部に突出する大半島に  
して、中に西班牙・葡萄牙の二國あり。半島  
の北境には、ピレネー山脈ありてカンタブ  
リヤ山脈と連り、南部にはシエラモレナ・シ  
エラネバダ等の小山脈起伏して、域内一帶  
に臺地をなす。エブロ・ドイロ・タホ・グア  
ダルキビルの外は舟航の便なく、且道路・鐵道等も未だ整はざ  
の諸川、その間を東西に分流すれども、概し流勢急にして水量乏しく、  
グアダルキビルの外は舟航の便なく、且道路・鐵道等も未だ整はざ

カンタブリヤ山脈の西端は海岸に特殊の出入をなす西班牙語にて之をリア(Kria)とよぶリヤス式海岸の名稱は此に由来す



るを以て、半島の運輸は主として海運によると雖、海岸も單調にして良港乏しきが故に、形勝の位置を占むるに拘らず、交通の發達は著しからず。  
氣候産業 中部高臺の地方は、概々乾燥にして寒暑の差烈しく、地中海岸は亞熱帶性林なりと雖、西部は溫和にして

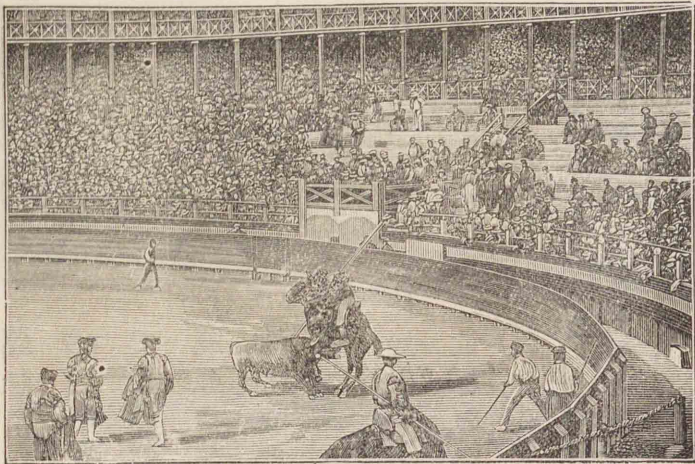


造製クルコ

雨量も頗多し。  
兩國共に河谷、海邊等には葡萄、橄欖、柑橘等の果物に富み、又葡萄酒の醸造盛なり。臺地にはコルク、櫟の

西班牙は葡萄酒の産額世界第三位なり

近年北部には石炭を輸入して製鐵紡織等の工業興れり



森林ありて、コルクを出し、羊、山羊等の牧畜も亦行はる。西班牙は鑛産豊富にして、北部の鐵、南部の銅、水銀、鉛等は共に有名なれども、概々外人の出資に屬し、鑛石の儘にて輸出せるもの多し。工業は、東部地方の紡織を稍盛なりとす。  
住民政治 住民はラテン族多けれども、南部は亞刺比亞族を混じ、北部には先住のバスク族あり、宗教は概々舊教を奉じ、教育振はず、慘酷なる闘牛の戲に熱狂するもの多し。  
葡萄牙は共和政治を行ひ、西班牙は立憲王國なり。中古の頃は、兩國共にその形勝の地位を利用して、國

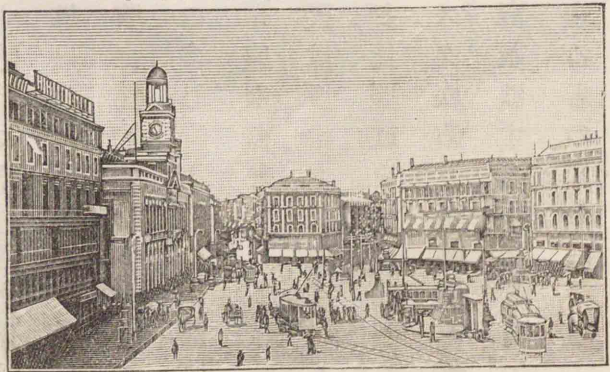
西班牙	阿弗利加	カナリヤ諸島	ギネヤ灣岸地方	
	亞細亞	マウリタニヤ	モロッコ	
土領外海	葡	葡		
阿弗利加	亞	澳門	葡領印度	チモール島一部
	細	アゾレス諸島	マデイラ諸島	
	亞	アンゴラ	東阿弗利加	
	細	ギネヤ灣岸地方		

西班牙語は領地の外マレー諸島の一部北米の南部及び南米の大部に又葡萄牙語はブラジルに行はる

西班牙語より國語となれる例  
天鵝絨 莫大小  
合羽 加須底羅  
葡萄牙語より國語となれる例  
羅紗 更紗 歌  
留多 金巾 麴  
純 紐釦

興國に奪はれ、今は僅に一小部を残して、昔日の強勢を偲ぶに過ぎず。されど西班牙語・葡萄牙語は、今尙世界の處々に行はる。日本との關係、この兩國は、歐米諸國中最も早く我が國へ來航して、鐵砲宗教等を初め、西洋文物輸入の前驅をなし、一時「南蠻」の名を以て知らるゝに至りしが、今尙この國の名詞の我が國語となれるもの少からず。

都邑 西班牙の首府マドリッドは、内地の

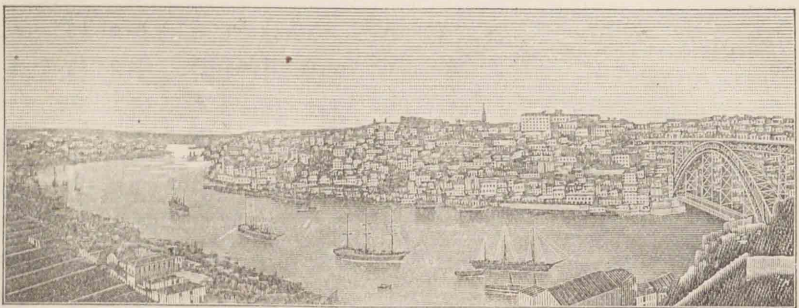


街市のド・リドマ

我が公使は葡萄牙を兼轄す

パロスにコロンブスが新大陸發見の出帆地なり

ビルバオには自由港區の設あり



望展のンボスリ

高臺(海抜六百五十米)にありて氣候不良なれども、交通の中心をなし、我が公使館あり。地中海岸のバルセロナは、國內第一の商港にして、コルクの輸出多く、バレンシヤは絹織物を産し、マラガは葡萄酒、果實等の取引盛なり。西岸のカデスは、古來著名の商港にして、その東南のトラファルガル岬は戦史に著はる。内地のコルドバ及びグラナダは、共に回教王國の舊都にして、一時隆盛を極めたる處なり、後者のアルハンブラ宮殿は、當時の著名なる遺物とす。北岸のビルバオは、鐵鑛の輸出多く、近年製鐵の業亦興れり。葡萄牙の首府リスボン(Lisbon)は、タホ河畔の良港

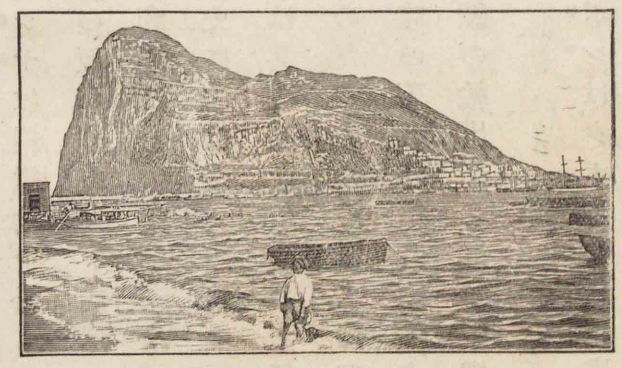
ポルトワインは葡萄酒の一種なり

アンドラは面積約四百六十方軒(約三十方里)人口約五千あり

にして、葡萄酒の輸出多く、氣候亦良好なれば、保養地として名高く、ドイロ河口のオポルトは、ポルトワインの名産地なり。  
ジブラルタル 西班牙の南端に突出する小岬角にして、英國の領土なり。地中海の西門を扼する形勝の地點を占め、軍港と商港とを兼ねて、堅牢なる砲臺の設けあり。  
アンドラ ピレネー山中にある小共和國にして、佛、西兩國の保護を受く。

第十七章 伊 太 利

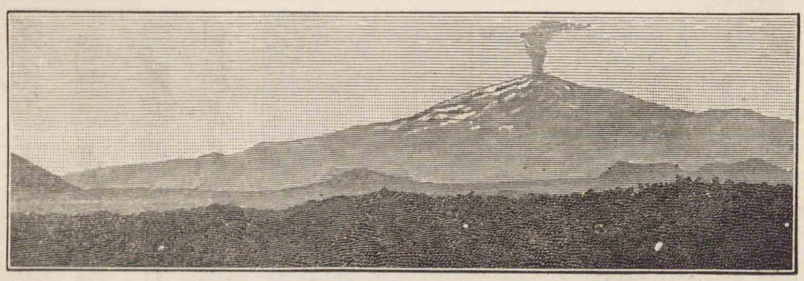
地形 伊太利半島及び大陸の一部と、シシリイ、サルヂニヤ等の島



ジブラルタル

面積 約二十八萬方軒(約一萬八千方里)  
人口 約三千五百萬  
隣邦 佛蘭西 瑞西 埃地利 ユーゴスラビヤ

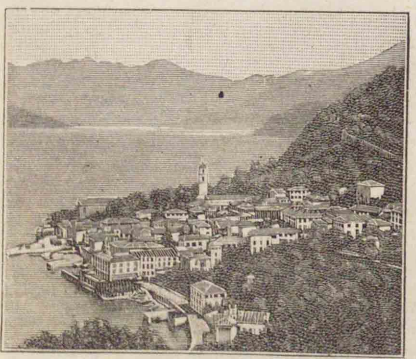
アルプ山地にはガルド・コモ・マッジオレ等の湖水多し



エトナ火山の遠望

嶼とより成り、その面積は我が本州よりも稍大なり。北境にはアルプ山脈連りて、高山竝び聳え、その餘脈はアペニン山脈となりて、半島の脊梁をなし、又南部には一帯の火山脈を通じて、ベスビヤス・エトナ等の火山多し。

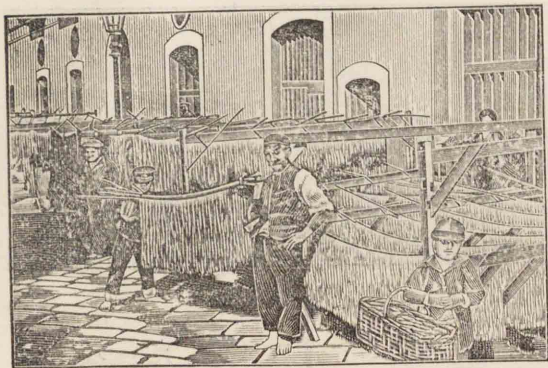
河流の最大なるは北部のポト河にして、その流域にロンバルヂヤ平原を開き、上流には風景に富める數多の湖水を伴ひ、下流には大三角洲を作る。この他半島地方のタイバー河、アルノ河等は、短流なれども



コモ湖の風景

歴史上に名あり。

〔氣候〕 大部は溫和にして、歐洲の樂園と稱せらるゝも、南部は阿弗利加より來る熱風の影響を受け

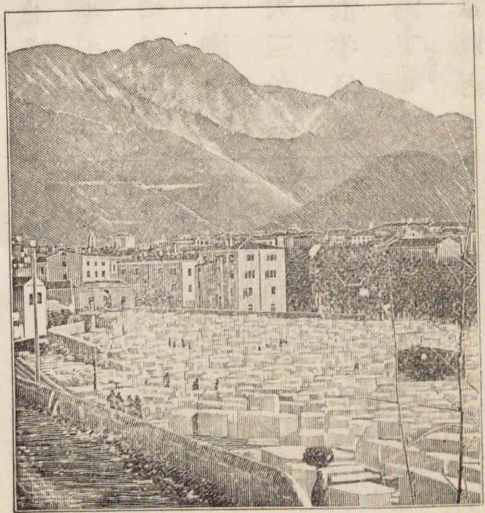


穀産は尙國內の需要を充たすに足らず  
蠶絲は世界第三位の産額を有す

て、夏季の温度は稍高し。

〔産業〕 農

業頗る發達し、北部は米麥等の穀産多く、且養蠶盛にして、生絲の産額歐洲第一に位し、南部は葡萄、橄欖、柑橘等の果實に富み、葡萄酒の製造盛にして、橄欖油の産も亦多し。鑛産は硫黃に富み、又良好の大理石を出す。



石理大るたし出切

珊瑚細工の原料は主として日本より輸入す

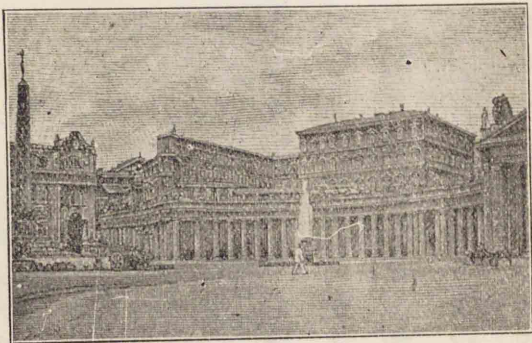
古來美術工藝を以て誇れる國にして、絹織物、麥稈、眞田等の外、彫刻、珊瑚細工、陶器等の工藝品を出し、又マカロニの特産あり。石炭、鐵の産に乏しきが故に、機械工業の發達は列強に比して遙に劣ると雖、近時水力の利用盛に行はれ、工業の將來は頗る有望なり。

貿易も未だ他の列強に及ばざれども、國の位置は地中海の要衝を占め、アルプの大隧道は中央歐羅巴と連絡せしめ、スエズ運河は東洋直通の航路を開ける等、益々交通上の便を加へたれば、通商次第に復活し、生絲、絹布、葡萄酒等を輸出して、綿、穀物、石炭、機械等を輸入す。我が國はこの國へ生絲を賣ること少からず。

〔住民〕 國民の最多數はラテン族に屬し、性質優雅にして古來文學美術に長じ、繪畫、彫刻、建築等の名手輩出し、又音樂は典



伊太利の子供



殿宮ンカチバるせ住居の王法

雅なる伊太利語と相俟ちて、世界の優と稱せらる。宗教は古來舊教の中心にして、國民の大多數は之を奉じ、又その首長たる羅馬法王も此處に住す。法王は往時政教の兩權を握りて、威を歐洲に振ひしが、今は政治上の權力を有せず、されど歐洲各國の政府より、君主と同一の待遇を受け、使節を交換せり。

政治

この地は往時羅馬帝國の中心とな

り、その盛時は歐亞及び阿弗利加之三洲に跨る一大帝國なりしが、後數多の小國に分れ、約六十年前に統一して現時の立憲王國となれり。爾來國運次第に進みて、阿弗利加洲の處々に領土を有せしが、尙大戰の結果、境域を北方に擴めてアドリヤ海の制海權を握り、

Adriatic

阿弗利加洲に於ける領土はエリトリア・ソマリランド及びトリポリ等とす

又土耳其領たりしロードス島も、この國の有となれり。

Rhodes

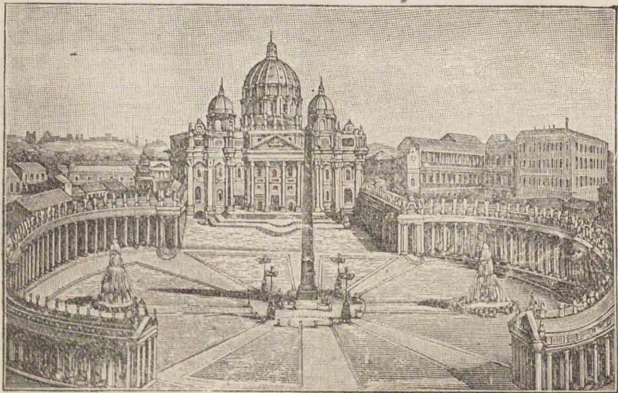
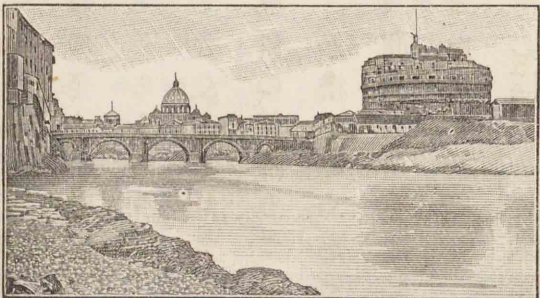
日伊の關係 伊太利は地形氣候等の我に似たる外、歐洲の火山國・地震國にして、温泉名勝古蹟多く、米生絲等の産物を出し、國民の手藝に巧なる等、悉く我に似たり、我は生絲銅等を輸出する外、珊瑚細工の原料を供し、又我が製帽原料は、この國より仰ぐもの少からず。

都邑 首府羅馬はタ

Roma (Romae)

イバー河の下流に臨み、上古羅馬帝國の首都たりし處にして、壯大なる當時の遺蹟に富み、その他舊教の大本山たるセントペテロ寺・法王の居所たる

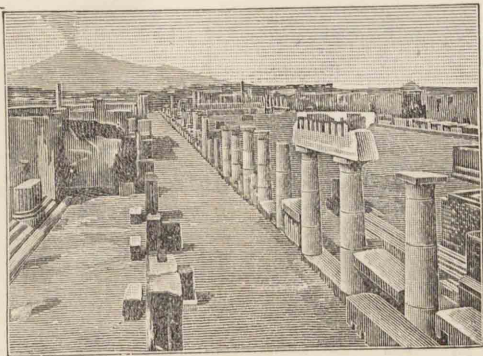
St. Peter



寺ロテベトンセと街市のマ-ロ

ネーブルスに名高き臨海實驗所あり

バチカン宮を始め、有名なる建物遺跡等ありて、遊覽の旅客常に多く、我が國の大使も此處に駐在す。  
ネーブルス (Naples) は同名の灣岸にありて、近くベスピヤス火山の噴煙を望み、風景の佳なること繪の如く、歐洲著名の美港とせらる。此の國第一の大都會なり。ベ



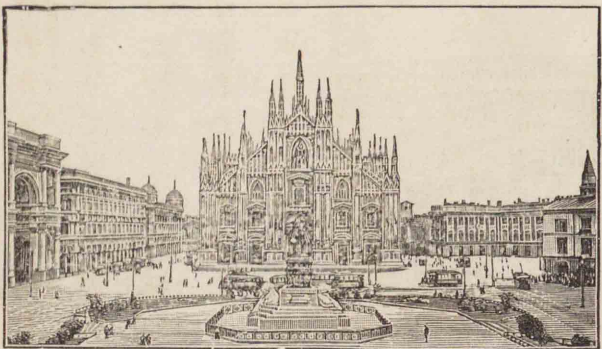
イベンボるたれらせ掘發  
没せられたるポンペイ市の遺址あり、今は發掘せられて、來り訪ふもの多く、ブリンジ



望 展 の ス ル プ - ネ

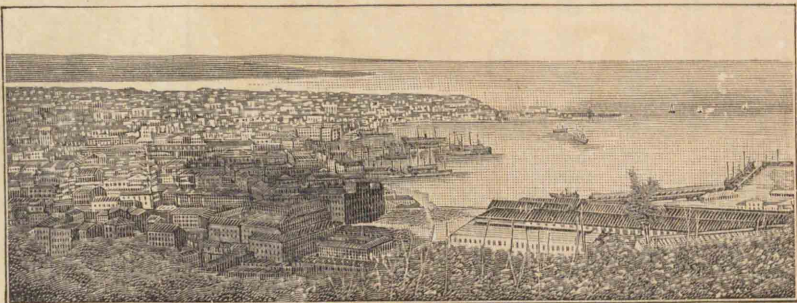
ミランに我が領事館あり

シは水陸交通の要地に當れり。アルノー河畔のフロレンスは、市街壯麗にして美術の淵藪をなし、名畫に富めること歐洲第一とす。



て、橄欖油の輸出多く、ピサは斜塔あるを以て著はる。カララは良好の白大理石を産し、スペチヤは軍港の一なり。  
ロンバルヂヤ平野のミランは、アルプ横斷鐵道の要衝に位し、養蠶業の中心にして絹織物の産に名高く、又壯大なる寺院あり。チユリンはモンズニ隧道を経て佛國に通ずる要地に當り、ゼノアは國內第一の商港にして、絹織物の産あり。  
東岸のベニス (Venezia) は、同名の灣中にある數多

【圖解】 檸檬は種類甚だ多く果實は生食し得べく又枸橼酸を採り或は檸檬水に製す産地は伊太利を初め地中海岸の地方に多し



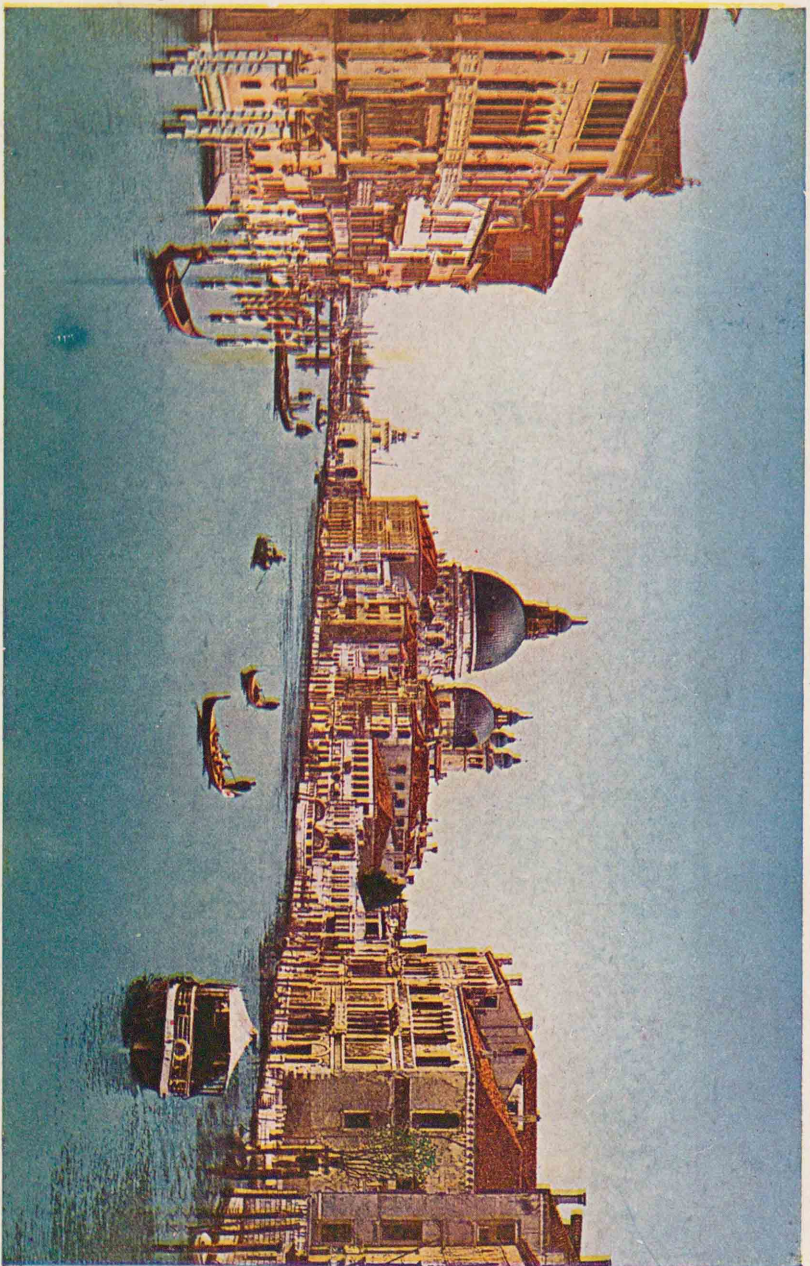
トリエステの埠頭

の島上に跨り、市街恰、水上に浮ぶが如く、水を以て道路となし、來往は專、ゴンドラと稱する小舟に依り、硝子器の名産あり。對岸のトリエ・ストは、新に獲得したる主要の商港にして、フイウメは、大戦の後、自由市として獨立を認められしが、最近に至りてこの國に歸屬し、その港の一部はユーゴスラビヤに使用せしむることとなれり。



檸檬の様採收

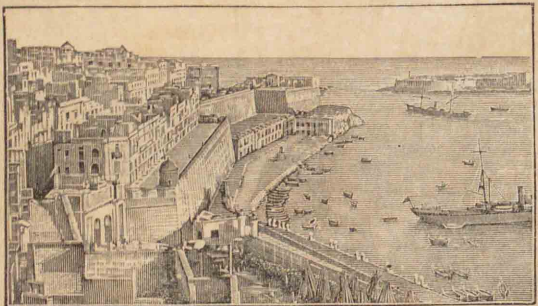
シシリー島は地中海中の最大島にして、半島よ



光水のヴェニス



サンマリノは面積  
約六十二万平方  
里(約四万平方里)人口一萬  
餘に過ぎず



タールの島タルマ

り互れる火山脈は、リバリ諸島にストロンボリ山・ブルカノ山を起  
し、更に島内にエトナ山を噴起す、この山中には硫黄の産多く、パ  
ルモは西北岸にありて、硫黄・葡萄酒・果實等を輸出す。サルヂニヤ  
島は第二の大島なれども、山地多く、エルバ島はナポレオン一世の  
配所として名高く、又鐵の産あり。

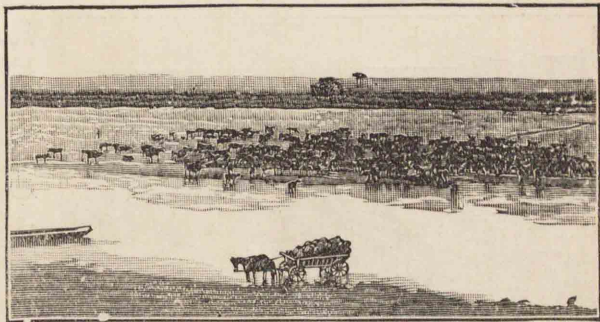
サンマリノ 伊太利の域内にある小共和国  
にして、建國頗る古し。

マルタ島 英國の領土にして、その港市をバ  
レタといふ、英國地中海艦隊の根據地にし  
て、大戦當時には、我が出征艦隊も此處を根  
據地としたり。

第十八章 バルカン半島

Balkan Peninsula

多島海は陸地の陥  
没によりて生ぜし  
ものなり



ダニュープ河の沿岸

**地形** バルカン半島は、アドリヤ海・イオニヤ海・多島海及び黒海に包まれたる地域にして、  
ダルダネル・ボスポロスの二海峡を隔て、近  
く亞細亞洲と對す。

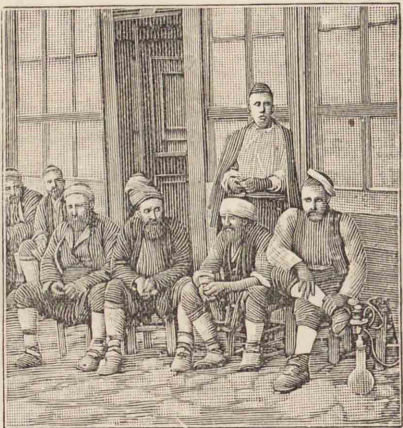
西部にはチナルアルプより續ける數多の  
山脈あり、その中稍、著しきをピндаス山脈と  
す。北部にはトランシルバニアアルプ連互  
し、更に迂曲してバルカン山脈となる。是等  
の支脈は縦横に起伏するを以て、域の大部は  
山地に屬すと雖、東北部には廣き沃野ありて、  
ダニュープ河此處を流る。海岸は山地の餘勢を受けて、錯雜せる小  
半島多く、又多島海には無數の島嶼を形成せり。

**氣候**

バルカン山脈以南の地方は、氣候概々溫和なれども、北部は大

陸性を帶び、寒暑の差頗大なり。東北  
部は沃野廣く、農業盛にして麥類の産  
に富み、中部以南の地方は、葡萄・無花果  
等の果實及び煙草を産し、牧畜も亦處  
々に行はる。

**國狀** この地方は古來民族の轉移屢  
行はれ、且地勢の關係上、一地方に分據

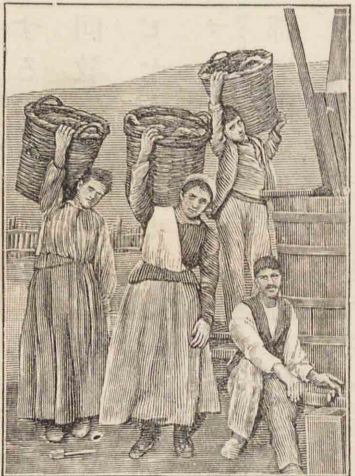


土耳其の勞働者

するが故に、住民甚だ錯雜せり。東南部には土耳其族多く住みて、  
回教を奉じ、北部にはスラブ族のセル  
ビヤ人・ブルガリヤ人、ラテン族のルー  
マニヤ人等住居し、南部には希臘族、西  
部にはアルバニヤ人住みて、共に希臘  
教を奉じ、又混住するマジール族、猶太



ブルガリヤ人



人等も少からず。往時土耳其は、半島の全部を領せしが、民族・宗教等の相違より、常に争亂を惹起し、十九世紀以來、小獨立國相次で起り、其等相互の軋轢と、列強利害の衝突とにより、紛亂常に絶ゆることなく、歐洲の争源地と目せられしが、最近の世界大戦も、その淵源はこの半島より起れり。

一 希臘

Greece

バルカン半島の南部を占め、その沿岸は屈曲甚しく、殊に西部には、コリント灣・エギナ灣深く彎入し、僅にコリント地峽を残して、モレア半島を連ね、運河ありて此處を通ず、又中部にはサロニキ半島あり。近海には屬島多く、エウボイヤ島・カンヂヤ島等は殊に大なる

面積 約十一萬方里 (七千方里) 人口 約五百四十萬

Euboea

Candia

Salonica



アテネの市街

り。住民は希臘教徒たる希臘族を主とし、その多くは農耕を業とし、乾葡萄・無花果・煙草等の産に富み、又海上貿易に従事して、近海に頗る勢力あり。

この地は往昔

甚だ繁盛を極め、

その文明は西歐

文化の淵源をなしたりしが、爾後種々の變遷

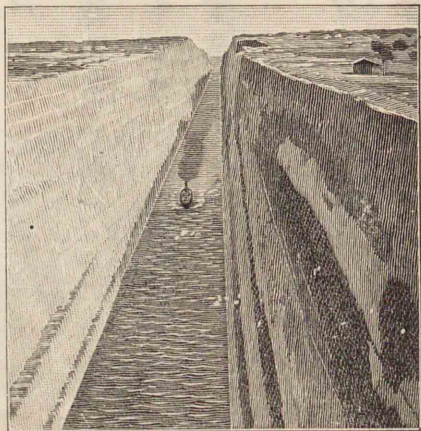
を重ね、十九世紀に至り、土耳其の羈絆を脱し

て王國となり、最近に共和制を布けり。先年

土耳其と干戈を交へ、北方及び多島海の島嶼

に領土を増し、更に今次の大戦によりて、大い

に境域を擴張したりしが、再び土耳其と事を



コリント運河

構へて、その得たる大部を失ひたり。  
 首府アテネ(Athene)は古史に名高き地にして、市の内外には著名なる遺蹟多く、ピレウス(Piræus)はその外港をなす。コリント(Corinth)も亦史上の名地にして、運河の開通と共に益、重要な地點となれり。中部のザロニ

キは、主要の商港にして中央歐羅巴と鐵道の便を有す。

二 アルバニヤ

アドリヤ海に臨める小國にして、山地多く、産業の見るべきものなし。住民はアルバニヤ人多く、牧畜を主業とす。チラナ(Tirana)はこの地の主邑なり。

三 ユーゴスラビヤ(セルブクロアト)  
(Yugoslavia Serbo-Croat-Slovene)

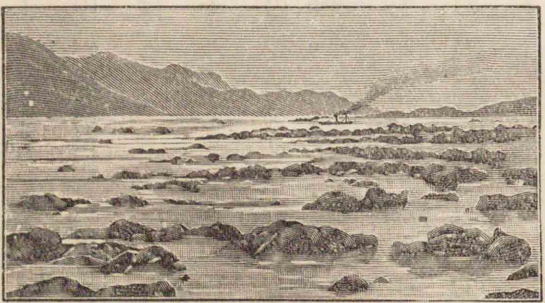
西北部には海岸に近くチナルアルプの山

面積 約二萬九千方  
 約一千方九  
 百方里)  
 人口 約八十五萬

面積 約二十五萬七  
 千方里(一萬  
 七千方里)  
 人口 約一千二百萬

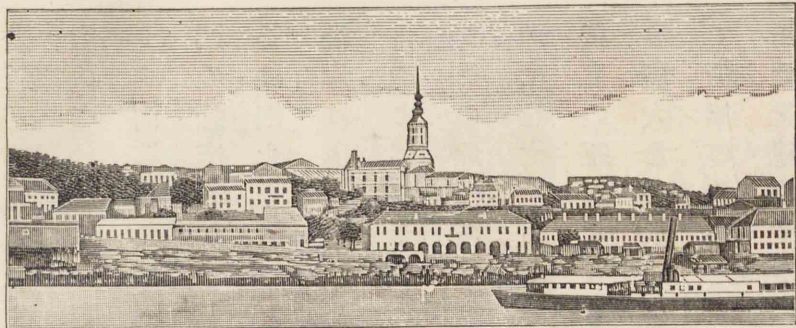


嶺延互し、東部にはバルカン山脈連りて、其等の餘勢國內に蟠延し、山地多けれども、北部にはダニューブ河及びその支流たるドラウ河、サウ河等ありて、流域に平野を開けり。ダニューブ河の河道には鐵門(Zrinski)の急流あれども、人工を加へて航通に便し、又南部のモラバ河溪谷は、南北交通の要路をなす。ダルマチヤ(Dalmatia)の海岸は、出入錯雜して島嶼多きも、峻嶮にして舟泊に適せず。  
 この地は南スラブ族に屬する諸民族の住地にして、その中セルビヤ・モンテネグロ等(Montenegro)は獨立の王國なりしが、大戰の結果、埃洪兩國より廣大なる土地を併せ、セルビヤを中心として積年の希望たりし民族統一を實現し、一大王國を建設するに至れり。



鐵門の急流

面積 略三十一萬五  
千方料(二萬  
方里)  
人口 約千八百萬



街市のドラグルベ

氣候は概々寒暑の差著しく、産業は農を主とし、麥類・玉蜀黍・馬鈴薯等の外、橄欖・無花果等の果實を出し、牧畜も亦行はる。

首府ベルグラドは、舊セルビア王國の首都

*Belgrade*

たりし處にして、交通上の要地を占め、バルカ

ン半島の鍵と稱せられ、*チエチエ*は舊モンテ

*Cetinje*

ネグロ王國の首都たりし處なり。*サラエボ*

*Sarajevo*

は嘗て奥國皇太子遭難の地にして、實に世界大戰の導火線たりし處とす。

四 ルーマニヤ

*Roumania*

ダニューブ河の下流地を占むる立憲王國にして、トランシルバニアアルプの山地國內に延互すれども、その東部には廣き沃野ありて

ブルート河以東のベサラビヤの所屬に就ては露國と係争中にある

面積 約九萬六千方  
料(六千八百  
方里)  
人口 約四百八十萬



畑 薔 薔

麥類の産に富み、石油・岩鹽等の産出も亦頗多し。

住民はラテン族の一派なるルーマニヤ人にして、今次の大戦により、露西亞、奥地利及び洪牙利等より同族の住める廣大なる土地を併せられたれば、殆ど舊時に倍する大國となれり。

首府ブカレストは、東部平地の要部を占め、市街の美を以て名高

*Bukarest(31)*

く、*ガラツ*は主要の河港にして、農産物の集散

*Galatz*

五 ブルガリヤ

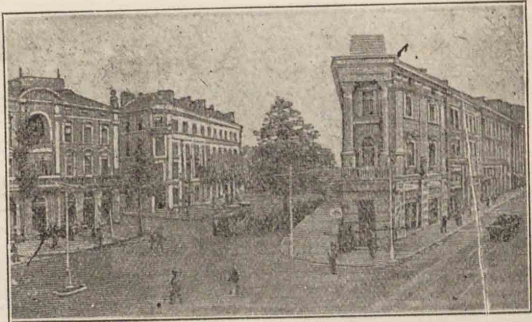
*Bulgaria*

バルカン山脈東西に連互すれども、その南北には平地ありて小麥の産頗多し、又薔薇油の名産あり。國民の多くはスラブ族のブルガリヤ人にして、先年土耳其と戦ひ大いに領土を擴めしも、世界大戰の結果、多島海岸の地

域を失ひたり。首府をソフィヤといひ、中央歐羅巴へ通ずる鐵道の要地に當れり。

六 歐羅巴土耳其

ソフィヤ市の街

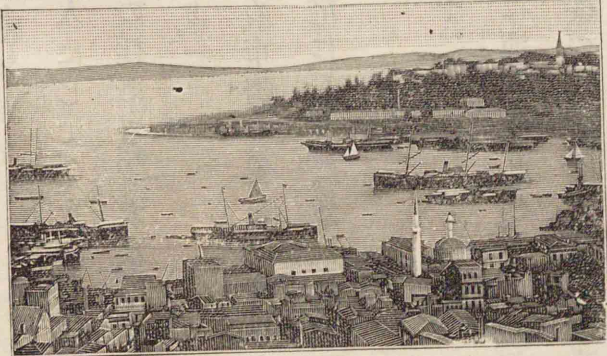


土耳其は歐亞の兩洲に跨る國にして、住民の大多數は回教徒たる土耳其族なり。

一時は歐洲に廣大なる地域を有せしが、次

第に縮少し、更に大戰の結果、僅にコンスタンチノブルを含める掌大の地となりしも、最近に希臘と戦ひてマリツァ河以東を回復し、永年の帝政を廢して共和制を布き、且首

Maritza



コンスタンチノブルの海岸

土耳其皇帝はサルタンと稱して回教の首長を兼ねたりしが今はその特權をも奪はれたり

ボスポロス海峡は長さ十二軒に及べども幅の狭き所は五百米に過ぎず水深甚だ大にして巨艦の航通自由なり

府を亞細亞洲に遷したり。

コンスタンチノブル Constantinople

昔時は東羅馬帝國の首都となり、最近まで土耳其の首府として繁盛を極めしが、今も南部歐洲の最大都邑とす。

アドリヤノブル Adrianoople

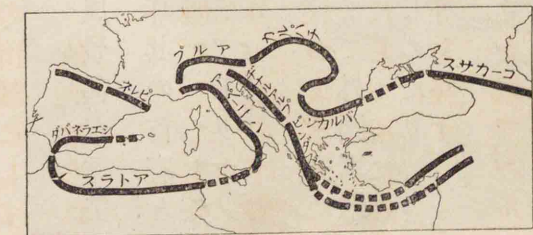
ボスポロス海峡は國際上重要な所にして、近時まで外國軍艦の通行を抑制せしが、大戰の結果、航行を自由ならしめたり。

總説

地勢海岸 本洲は、ユーラシヤ大陸の一半島を成せるものにして、亞細亞洲に於けるが如き、宏大なる地塊、雄大なる起伏なしと雖、無數の肢節ありて、地形は極めて

複雑せり。

南部にはアルプを盟主とし、渦狀配列を成せる大山脈群ありて、遠く阿弗利加洲及び亞細亞洲に連る。この山脈群は、本洲に於ける大分水



系山の洲歐部南

界の一をなし、氣候上、人文上に劃然たる境界線をなす。北方にありて之と對比すべきものは、スカ

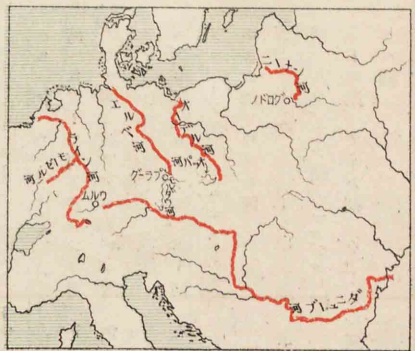
山脈	ウラル山脈	スカンヂナビヤ山脈
東北部	1 アペニン山脈	シエラネバダ
南部	2 デナルアルプ	ピンドス山脈
西南部	3 カルパチヤ山脈	バルカン山脈
高地	カントアブリヤ山脈	
平野	ボヘミヤ高地	イペリヤ高地
	佛蘭西高地	南獨逸高地
	地バルダイ丘	
	露西亞平原	北獨逸平原
	佛蘭西平原	洪牙利平原
	ロンバルヂヤ平原	

表中河名の右に一を加へたるものは國際河なり。

北氷洋斜面	ベチョラ河	ドビナ河
波羅的海斜面	ヂユナ河	ニイメン河
大西洋斜面	エルベ河	ウエーセル河
	ライン河	マース河
	セーヌ河	ロアール河
	ガロンヌ河	ドイロ河
	タホ河	グア
	ヂャナ河	グアダルキビル河
	ティムス河	ハンパー河
	セバイン河	シャンノン河
地中海斜面	エプロ河	ローヌ河
黒海斜面	ダニユーブ河	ドニエストル河
裏海斜面	ボルガ河	ウラル河
アルプ山地	ジュネーブ湖	ニユーシヤテル湖
	ボーデン湖	チューリヒ湖
	ルツェルン湖	マッジョレ湖
	コモ湖	
波羅的海邊	ラドガ湖	オネガ湖
	ウエーネル湖	ウエッテル湖
	メーラル湖	

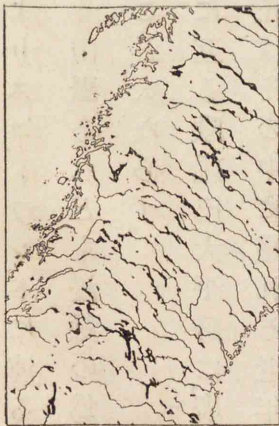
ンヂナビヤ半島よりスコットランドに連る臺地性の山脈にして、東方にも洲界を劃る山脈あれども、浸蝕の爲に著しく陵夷せられ、交通の便を妨ぐるゝこと大ならず。中歐より東歐に互る歐羅巴大平野は、廣き準平原にして、主分水界たるバルダイ丘はその中に残れる老年臺地なり。この平野の西部は、地質時代の氷河に被はれたる地方にして、現に幾多の漂堆石、湖水等を殘す。

地勢斯の如きを以て、バルダイ丘に發する河川は、概ね長大にして屈曲多く、その流路極めて錯雜せり。アルプより出づるものは、比較的短小なりと雖、水

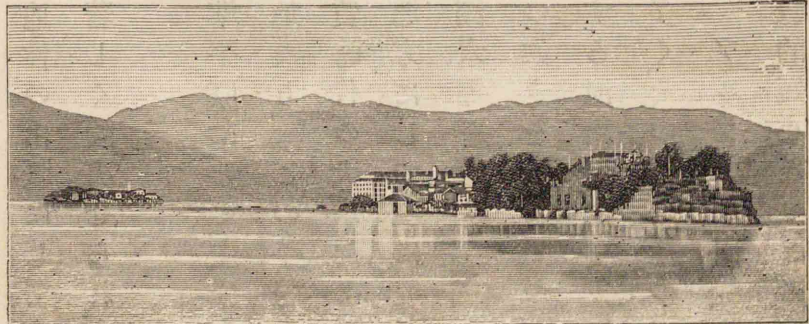


地質時代に於ける氷河の作用に成れるものにして、アルプ山地にあるものは、峨々たる秀峯と相俟ちて、風景幽邃なる世界の大地

量豊富にして、灌漑水運發電に利用せらるゝこと多く、更に運河によりて縦横に連結せらる。湖水は三地方に多く集る。何れも



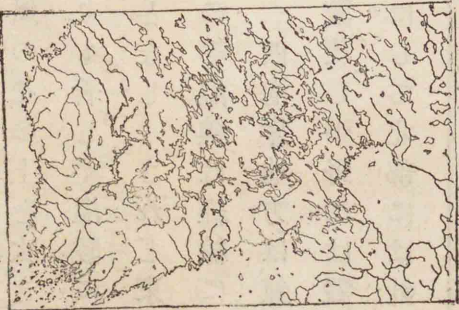
水湖の典瑞



(湖レオジマ)水湖の中山ブルア

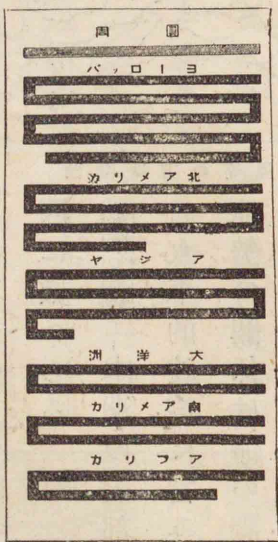
公園を成し、瑞典には平行せる狭長の湖水多く、盛に發電に利用せられ、フィンランド地方には、本洲最大の湖水あるも、低平なるが上に凍結の期永く、その利用少し。

本洲は半島大陸なるが上に、更に數多の半島を出して多くの海峡を擁し、近海には無数の屬島散在するを以て、海岸線の發



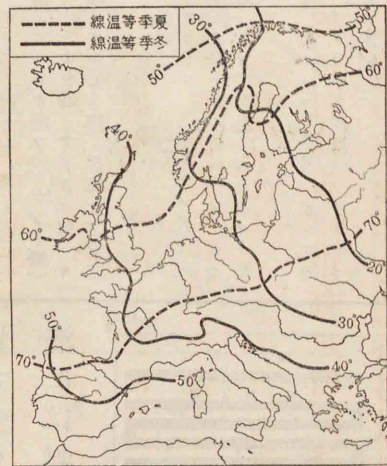
相地の方地蘭芬

- 半島
  - スカンヂナビヤ半島 ユトランド半島 イベリヤ半島 伊太利半島 バルカン半島 (モレヤ半島 サロニキ半島) クリミヤ半島
- 海灣
  - 白海 バルチック海 (ボスニヤ灣 フィンランド灣)
  - 北海 ビスカヤ灣 リオン灣 アドリヤ海
  - オニヤ海 多島海 マルモラ海 黒海 (アゾフ海)
- 屬島
  - 英吉利諸島 アイストランド シェルランド バレアル諸島 コルシカ島 サルヂニヤ島 シシリ島 マルタ島 カンヂヤ島 エウボイヤ島
- 海峡
  - スカゲラク海峡 カテガット海峡 ズンド海峡
  - 英吉利海峡 ジブラルタル海峡 ガルダネル海峡
  - ボスボロス海峡



海岸線の發達せること、他洲に秀て、氣候・交通等に著しき影響を及ぼし、





線温等の方地歐西

この地方の文化開發上有力なる一因に數へらる。

**氣候・生物** 本洲の大部は北温帯に位

し、水平的肢節に富みて大地塊なく、

地勢の關係は海の調和を受くるに

適し、墨西哥暖流は遺憾なくその西

岸を洗ひ、西南風のその上を吹き來

れる等、各種の關係により、他の同緯度の地よりも著しく温暖にし

て、北緯七十度にある北岬も、冬季凍結することなし。されど東方

に進むに伴れ、漸次大陸性となるが故に、冬季の等温線は經線に平

行し、夏季に於ては之と直交するの狀を呈す。西海岸地方は、氣候

溫和、夏涼冬暖にして雨量多く、山地には森林繁茂し、平野には穀物

を作り、牧畜も亦盛なり。東歐地方は大陸性にして、北部には針葉

北部ツンドラには馴鹿を飼ふ。

樹林帯あり、中部の黒土帯は歐洲の穀倉と稱せらるゝも、南方は雨量少く、沙漠狀を呈する處あり。南歐の地中海沿岸は、一般に雨量少く、阿弗利加大陸の影響を受けて冬季温暖なるも、夏日は乾燥して暑氣強く、伊太利イベリヤ半島の南部には熱帯植物を見る。

**産業・交通** 沃野廣き東部は、農耕を主業として

麥類(露西)の大供給地となり、中部の地方は馬

鈴薯(獨逸佛蘭西和蘭等)、甜菜(獨逸チリコスロバキヤ露國等)等の産多くして、

製糖業發達せり。南部一帯は葡萄(伊太利佛蘭西西班牙葡

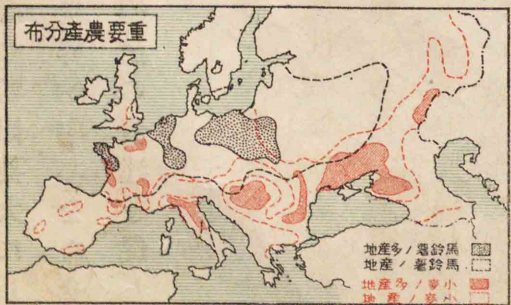
萄牙)・橄欖(上同)等の果實に富み、其等の搾業盛に

して、又養蠶(伊太利佛蘭西等)を營めり。牧畜は東南部

の馬(露國洪)の外、バルチックの沿海地方には酪業

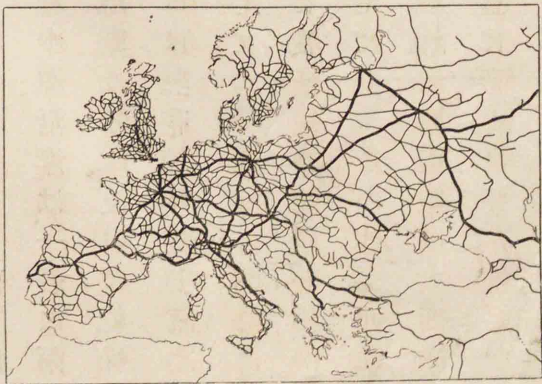
盛に行はる。中部以西の諸國は、石炭(獨英)、鐵

(佛等)の産多く、豊富なる水力は發電に利用せ



布分産農要重

られ、工業は無比の發達をなし、原料の輸入、製品の輸出莫大にして、廣く世界の各地と通商を營み、産業上、經濟上、世界的中心をなせり。産業の進歩は、地勢の平坦なると相俟ちて鐵道の發達を促し、その延長は北米大陸に劣ると雖、鐵道網の密なることは六大洲中第一に位し、その大幹線は主として東北より西南に、或は西北より東南に走れり。アルプ山脈は長く交通を妨げ、文化住民の移動に大なる障壁なりしも、今や之を通過する數條の大隧道あり。水運の便亦世界に卓越す、蓋し本洲は陸半球の中央を占め、南北には二大内海ありて、更に幾多の支灣を抱き、河川運河は是等の海灣と内陸とを



歐 洲 の 鐵 道

連絡して遺憾なし。地中海及びバルチック海は、中世まで海運の二

東北—西南系		西北—東南系	
1	レニングラード：ダンチヒ：伯林：巴里（二晝夜弱）	1	リバプール：倫敦：巴里：維也納：コンスタツツ（約六十五時間）
2	モスコウ：ワルソー：伯林：巴里（約二晝夜半）	2	サンゴタルド：プリンヂシ（約二晝夜）

大幹線として、その沿海諸市は繁盛を極めたりしが、新大陸の發見せらるゝや、大西洋岸諸港の勃興と共に、内海交通は一時衰へたれども、スエズ運河の開鑿によ

りて、東亞・濠洲に至る航路新に開け、アルプ横斷線の開通と相俟ちて、地中海の諸港は再び活況を呈するに至れり。その他交通・通信機關としては、陸に航空機の定期航路開かれ、海底電線は大西洋岸の諸港を基點として各大陸に達し、無線電信・電話等も亦重要なる通信機關として、その設備完からんとす。

**住民國狀** 本洲の人口は約四億五千萬に達し、その密度は諸大洲中第一にして、中部以西殊に白蘭・英伊等は甚だ大なるも、東部・北部及びバルカン地方は小なり。住民の最多數は歐羅巴人種にして、そ

人口密度（二方寸）	白耳義	和蘭	英吉利	日本	伊太利	獨逸	瑞西	チマコ	丁抹	埃利地	洪牙利	波蘭	佛蘭西
	二五三	二一〇	一五〇	一四五	一三六	一三四	九四	九三	八一	七七	七五	七三	七一

ラテン族  
舊教

新教

スラブ族  
希臘教

歐羅巴人種

ラテン族 伊太利・佛 蘭西・イペリヤ半島・ ルーマニア等	吉利等の西部 バスク族 ビレネー山 中
チエートン族 瑞典・諾 威・丁抹・獨逸・英吉 利の大部等	猶太族 露西亞・獨逸 等其他處々
スラブ族 露西亞・パ ルカン半島・波蘭・チ ェッコスロバキヤ・ユ ーゴスラビヤ	亞細亞人種 土耳其族 バルカン半 島の東南部
ギリシヤ族 希臘	マジャール族 洪牙利 フィン族 フィンランド
ケルト族 佛蘭西・英	ラップ族 スカンヂナ ビヤ・フィンランド等 の北部

の中ラテン族・チエートン族・スラブ族を三大民族とす。ラテン族はアルプの南方に起れる民族にして西南部に多く、優雅にして美術文藝に長じ、宗教は儀式の賑なる舊教を奉じ、性質快活なるも、浮薄にして政變屢起り、人口の増殖亦遅く、今や全盛を過ぎたるの感あり。チエートン族は中歐に崛起せる民族にして、西北部に多く、着實勤勉にして實用の才能に富み、宗教は專、理論に傾ける新教を信じ、現時世界の最優勝者として活躍す。スラブ族は東部に多く、頑強にして雄圖を好み、未だ文化の程度高からず、宗教は希臘教を奉ずるもの多し。是等の外、東部地方には亞細亞民族の住める處あり、民族の大移動の後、此處に止りて次第に歐化するものなり。

本洲は、全く獨立國の集合にして、毫も他洲の國家に屬する地なし。是等の諸國中、露西亞は洲の約半を占むる大國なれども、その他は悉く我が國よりも狭く、丁抹、和蘭、白耳義、瑞西等に至りては、我が十七分の一乃至二十三分の一に過ぎず。歐洲の強國中には、廣き植民地を有するものありと雖、近時まで世界の重鎮たりし獨逸は、大戰の爲に甚だしき打撃を蒙り、露西亞は國內の紛亂を來し、壞地利は狭小なる山國となれると共に、フィンランド、波蘭、チェッコスロバキヤ、ユーゴスラビヤ等を始め、數多の新國家を生じて、將來大いに形勢の變化を見んとす。

**日本との關係** 歐洲には、世界の強國と仰がるゝもの甚だ多く文化開け、産業進み、現代文明の中心となれり。我が國も、或は西班牙人、葡萄牙人の渡來により、或は和蘭人の通商によりて、西歐の文化に浴したる古は暫く措くも、開國以後、政治に、學術に、軍事に、産業に、範を本

洲に採りたるもの頗多し。我が國が明治以來驚くべき急速の發達を遂げて、能く世界の列強に伍するに至れるは、東洋固有の文明に加ふるに、本洲の文明を善化し、之を採容したること、與て力ありといふべし。

中等教育 最近世界地理 中巻終

附録 (中巻)

設問集

設問は、既往數年間に於ける各専門學校等の入學試験問題を集めて、之を本書修學の順序に按排し、更に新問題を補ひて整理したるものなれば、重複に傾ける個所も少からざれども、同一の事項も、發問異なれば思考自ら變ずるを以て、概ね之を採擇したり。又問題の下に、括弧を加へて記せる(高等)(東師)(神商)(海機)等は、高等學校・東京高等師範學校・神戸高等商業學校・海軍機關學校等の入學問題なりしことを示せる略字なり。

歐羅巴洲概説

- 面積及び海岸線屈曲の上より歐羅巴洲と亞細亞洲とを比較して述べよ
- 歐羅巴に於ける河流の特長を記せ
- 歐羅巴の氣候を略述し日本の氣候と比較せよ
- 歐羅巴の三大民族とは何ぞ

露西亞

- 歐羅巴露西亞の境域を問ふ(神商)
- 歐羅巴露西亞の地勢及び河川につきて記せ
- 左の地につきて記せ
  - クリミヤ半島(高等)
  - バルチック海(神商)(郵電)
  - 黒海(海經)
  - 白海(海經)
  - ホスニヤ灣(郵電)
  - バルダイ丘(海經)
  - ネバ河(海經)
- 露西亞の氣候につきて記せ(陸士)

- 露西亞の産業につきて説明せよ(東師)
- 露西亞の住民につきて記せ(女師)(郵電)
- 露西亞民族を類別せよ(東商)
- 露西亞の政治につきて記せ(海機)
- 歐羅巴露西亞の商港を示せ(郵電)
- 左の地につきて記せ

ベトログラード(海機)(郵電)(註記レニングラードの

舊名)

モスコイ(郵電)

アルハンゲルスク(廣師)

クロンスタット(陸士)(海經)(專檢)

オデッサ(廣師)(高等)(遞信)(陸士)(海兵)(商船)(海機)

(郵電)(外語)

### 北部 歐羅巴

- フィンランドの住民及び産業につきて記せ
- 最近に獨立したる所謂バルチック沿海諸國の國名及び首府を問ふ

●スカンデナヴィヤ半島の地勢を説明せよ

●スカンデナヴィヤ半島の緯度に比して高温なる事實及びその理由を記せ(陸士)

●スカンデナヴィヤ半島の産物を示せ

●諾威人が古來海事に堪能なる所以を問ふ(小商)

●瑞典・諾威兩國の政治につきて記せ(高等)

●丁抹の主要なる島名を記せ

●バルチック海と北海とを連ぬる海峡の名を問ふ

●アイスランドにつきて記せ

●左の地につきて記せ

●ストックホルム(郵電)(外務)

●クリスチヤニヤ(東師)(商船)

●ゲテボルグ(陸士)

●ベルゲン(小商)(東師)(商船)(陸士)(東外)

●コペンハーゲン(海機)(郵電)(陸士)(海兵)(商船)

●ロフォデン諸島(水産)

●ロッテルダム(陸士)

●

### 獨 逸

●獨逸と境を接する列國及び首府を問ふ(海機)

(專檢)(陸經)

●獨逸の地勢を説明せよ

●ライン河につきて記せ(高等)(外語)(長商)(普文)

●獨逸の地形・氣候及び有名なる都市五つを記せ(海機)

(海機)

●獨逸の工業地を列舉せよ(商船)

●獨逸の主要商港を舉げその位置を示せ(郵電)(商船)

(商船)

●世界大戰以前に於ける獨逸の領土を列記せよ(海兵)(長商)

●世界大戰前獨逸國が太平洋上に有したる領土と之に對する戦後の處分に就きて記せ(外語)(高等)

(等)

●大戰の前と後とに於ける獨逸國境の變化を記せ

(等)

●獨逸の政治組織を問ふ

●ライン河に沿へる重要都市三つを舉げ各その特徴を記すべし(福商)

●エルベ河岸の大都會及びその概況を記せ(早大)

●ライン河に沿へる主要都市を示せ(海機)

●獨逸の主要なる都會五つを舉げ其の各につき知る所を記せ(商船)

●獨逸の略圖を描きて主要なる都市五つを記入せよ(山商)

●左の地につきて記せ

●ベルリン(海兵)

●ハンブルグ(高等)(專檢)(海機)(商船)(東商)(神商)(長商)(普文)

●ドレスデン(商船)

●ライプチヒ(長商)(小商)

●ダレイメン(東師)(外語)(專檢)

●キール(高等)(小商)(海兵)(外語)(專檢)(鐵道)

●エルベ河(高等)

●エッセン(高等)(神商)(小商)(海軍)(陸士)(海機)

●ケルン(小商)(東師)

●フランクフルト(郵電)

●ミュンヘン(高等)(東商)

●クレイフェルト

●

中部歐羅巴

- 波蘭の政治・住民を問ふ
- 波蘭の産業につきて述べよ
- ダンチヒにつきて記せ(高等)(東師)(名商)
- チエッコスロバキヤ國とは何ぞや(外務)
- チエッコスロバキヤの住民・政治に就きて語れ(高宣)
- 舊埃洪帝國の瓦解するに至りし理由を地理上より述べよ
- 洪牙利の住民・産業につきて記せ
- マジヤール種族に就き記せ(外語)
- 左の地につきて記せ
  - ワルソ(外語) ガリチャ(東師)
  - ブライト(早大)(福商)(東師)(鐵教)
  - ブダペスト(東師)(海機)(郵電)
  - ウイーン(海機)
  - リヒテンスタイン(海經)
  - サンゴタルド隧道(東商)

- シンブロン隧道(普文)
- ベルン(海兵)(海經)(山商)(海軍)(海機)(商船)(專檢)(廣師)
- ジュネーブ(高等)(小商)(海機)(海經)(大分商)
- ローザンヌ(名商)
- 瑞西の産業につきて述べよ
- 瑞西の住民につきて記せ(郵電)
- 瑞西の政治につきて述べよ(高等)

佛 蘭 西

- 佛蘭西と境を接する國及びその首府を問ふ(海機)(陸士)
- 佛蘭西の地勢を説明せよ
- 佛蘭西の主要産業につきて記せ(專檢)(東外)
- 長崎を發してマルセイユに至る航海中、寄港所及び其の所屬國、通過すべき海洋海峡を順序に記せ(陸士)
- 佛蘭西の住民につきて記せ(郵電)
- 佛蘭西の政體を問ふ(海機)

- 日佛兩國の關係につきて記せ(專檢)
- セーナ河及びピロメ河に沿へる都市を列舉せよ(專檢)
- 佛蘭西に於ける主要商港を問ふ(海兵)(郵電)
- アルサス・ロレーンにつきて記せ(廣師)(海經)
- 左の地につきて記せ
  - 巴 里(海經)(海機)
  - メッツ(東商)
  - リール(商船)(商大)
  - ダンケルク(海經)
  - カレ(專檢)
  - ルアール(長商)(海兵)(高等)
  - ブレスト(高等)
  - ナント(商船)
  - ボルドー(外語)(專檢)(水濱)(小商)
  - マルセイユ(海兵)(商船)
  - ツィロン(東師)(早大)(外語)
  - リヨン(高等)(小商)(外語)(海機)(商神)(郵電)(東師)(專檢)(彥商)

- モナコ(東師)(商船)(專檢)
- ザール(名商)
- ベルサイユ(商大)

和 蘭 ・ 白 耳 義

- 瑞西・和蘭の兩國につきて左の各項を比較説明せよ(陸士)
- 地 勢 交 通
- 和蘭の住民につきて記せ(郵電)
- 和蘭の海外領土を問ふ(郵電)
- 白耳義の産業・住民につきて述べよ(郵電)
- 左の地につきて記せ
  - ハーグ(海經)(海機)(郵電)(山商)(海兵)(長商)(專檢)(北大)
  - アムステルダム(長商)
  - ロッテルダム(東師)(小商)(商船)(郵電)(海兵)
  - リエージュ(東師)(山商)(海機)(商船)
  - ガン(山商)(專檢)

アンベルス(東商)(高等)(商船)(郵電)(海機)(彦商)  
ブリッセル(高等)(海機)(商船)  
ルクセンブルグ(選信)

英 吉 利

- 英吉利の地勢につきて述べよ
- 英吉利の主要なる河川を列擧せよ
- 英吉利に於ける鐵鑛の産地につきて知れる所を述べよ(東師)
- 英吉利に於ける工業の状況及びその中心を問ふ(東師)
- 英吉利に於ける造船地及びその位置を問ふ(商船)
- 英吉利の工業國たる所以を説明し且その中に盛大なる工業につきて述べよ(小商)
- 英吉利本國に於て工業の發達せる理由を問ふ(陸士)
- 英吉利に於ける商工業の盛なる地方を擧げて説明せよ(東師)

- 英吉利の主要なる輸出品を擧げよ(外語)
- 英吉利の主要なる貿易品を列擧せよ(商船)
- 英吉利の住民につきて記せ(郵電)
- 英吉利の統治につきて詳説せよ(專檢)
- 英佛二國の政體・住民の異なる點を表示せよ(專檢)
- 英吉利の主要なる領土四つを擧げよ(東外)
- 英吉利の主要領土を列記すべし(長商)(東師)(海機)
- 英吉利の著名なる港を問ふ(商船)
- 英吉利海峡に面する港を擧げその位置を示せ(商船)
- テムス河岸の大都會及びその概況を問ふ(海兵)(海經)(早大)
- グラスゴー・シェフィールドの位置を圖上に示し各地につきて知る所を記述せよ(海兵)(海機)(海經)
- 英吉利の略圖を描きポーツマス・ニューカッスル・ベルファスト・グラスゴー・シェフィールドの

位置を示し各地につきて知る所を略述せよ(海兵)  
●左の地につきて記せ

グリニチ(高等)  
プリマス(商船)  
ポーツマス(神商)(商船)(海兵)  
サザンプトン(海經)(郵電)(商船)  
シェフィールド(陸士)(外語)  
バイミンガム(東師)(商船)(東商)(海機)  
リーヅ(山商)  
リバプール(海經)(東師)(海兵)(海機)(商船)(水産)  
マンチェスター(東師)(外語)(陸士)  
ミッドルズバラ(小商)(專檢)  
ハル(廣師)(陸士)(福商)(專檢)(商船)  
ダブリン(小商)(外語)  
カイデフ(海兵)(商船)(小商)(海機)(海經)(名商)(商大)  
グラスゴー(神商)(海機)(海經)(小商)(選信)  
ベルファスト(陸士)(海機)(海經)  
アルスター(高等)

西 班 牙 ・ 葡 萄 牙

- イベリヤ半島の地勢を述べよ
- 左の各項につきて述べよ
  - ピレネー山脈(高等)(東商)(東師)(陸士)
  - グアダルキビル河(郵電)
  - トラファルガル岬
- 西班牙・葡萄牙の住民・政治につて詳説せよ(郵電)(海機)
- 西班牙・葡萄牙の主要領土を列擧せよ(東商)
- ジブラルタルにつきて詳説せよ(海經)
- 左の地につきて記せ
  - マドリード(海兵)(海機)
  - バレンシヤ(陸士)
  - バルセロナ(水産)(郵電)(小商)(外語)
  - ビルバオ(山商)
  - リスボン(高等)(海機)(商船)(郵電)(海兵)
  - オポルト(郵電)

伊 太 利

- 伊太利の地勢を説明せよ
- 左の各項につきて述べよ
  - アペニン山脈(東師) タイバー河(外語)
  - ベスビヤス山(陸士)(海軍) ロンバルヂヤ平原
- 伊太利の氣候・産業を述べよ
- 伊太利の工業状態につき記せ(陸士)
- 伊太利の住民につき記せ(郵電)
- 伊太利の政治及び海外領土を問ふ
- マルタ島につき記せ(高等)(東商)(海機)(商船)
- 左の地につきて記せ
  - 羅馬(海機)(海軍) ネーブルス(專檢)
  - ゼノア(外語)(女師)(小商)(商船) バレッタ(海經)
  - ミラノ(高等)(海兵)(專檢)(長商)(陸士)
  - トリエスト(東師)(高等)(小商)(海機)
  - ブリンヂシ(東商)(小商)
  - ファレンツェ(フロロレンス)(東師)
  - フィウメ(鐵教)(廣師)(名商)(遞信)

● 日伊兩國の類似點を記せ

バルカン諸國

- バルカン半島の略圖を描き山系・水系・國界を記入せよ(高師)(專檢)
- ダニユープ河の奔流國名及び流入海名を問ふ(高等)
- 左の各項につきて記せ
  - 多島海(陸士)(郵電) 鐵門 コリント運河
  - ダーダネル海峽(陸士) モレヤ半島
  - バルカン半島の住民を記せ(東師)(陸士)
  - バルカン半島の略圖を描き國名及び首府を記入せよ(高等)(海兵)(海機)(陸士)(陸經)(專檢)
- バルカン諸國につきて最近の國境變動を略說せよ
- ユーゴスラビヤにつきて記せ
- コンスタンチノブルにつきて記せ(海兵)(海機)(陸士)(郵電)(商船)
- 左の地につきて記せ

- ソフィヤ(外語)(專檢)
- ベルグラド(海機)(海經)(小商)(商船)(專檢)
- ブカレスト(商船)(外語) アドリヤノブル(廣師)
- サロニキ(商船) アテネ(商船)

歐羅巴洲總說

- 歐羅巴の地勢を説明すべし(遞信)(專檢)
- 歐羅巴の山系につきて記せ(東師)(陸士)
- 歐羅巴洲の山系を略圖にて示せ(名工)(外語)
- アルプ山系につきて記せ(神商)(陸士)
- 歐羅巴大陸の河系及び著名なる河流の注ぐ海面を問ふ(陸士)
- 歐洲の六大河とその流入する海洋とを示せ(高等)
- ダニユープ河につきて記せ(高等)
- 國際河川に就きて記せ(高等)
- 歐羅巴に於て二ヶ國以上を貫流する大河の名を列擧しその沿岸の大都會及び國の名を示せ(長商)

- 歐羅巴の半島五つを擧げよ(高等)(海軍)
- 地中海に於ける重要なる島名を擧げその何れの國に屬するかを記せ(海兵)(海機)(海經)
- 亞細亞大陸と歐羅巴大陸との地勢を比較し且この兩大陸の地理上の形勢がその文明に與へたる影響に就て知れる所を記せ(神商)
- 歐羅巴大陸の略圖を書き大山脈・大河及び各國の首府を示し各その名を記入せよ(商船)
- 歐羅巴の氣候につきて述べよ
- 墨西哥灣流が歐洲の氣候に及ぼす影響を述べよ(廣師)
- 歐羅巴にて製鐵工業の盛なるは何れの地方か(東師)
- 英國及び獨逸に於ける造船地を擧げその位置を示せ(商船)
- 日本郵船會社歐洲航路の寄港地及びその國名を列擧せよ(山商)(海兵)(海機)(商船)(陸士)
- 歐羅巴に住する重なる民族名及びその住する地方を擧げよ(高等)(水産)



- 歐羅巴三大民族の特異優劣竝にその信ずる重なる宗教につき記せ(陸主)(陸主)
- 歐羅巴に於ける白人種族につきて知る所を記せ(長商)
- 歐羅巴の略圖を畫きて主なる人種の分布を示せ(北大)
- アジア人種に屬する民族中ヨーロッパに於て國家を建つるものの名稱竝に其の首府を併せ記せ(陸主)
- スラブ種族の作れる國家を列舉せよ(陸主)
- 歐羅巴の邦制區劃を問ふ(高等)
- 歐羅巴の四大半島に於ける國名を問ふ(高等)
- 歐羅巴の邦國中四面海を以て圍まれたる邦國及び四面陸を以て圍まれたる邦國を問ふ(郵便)
- 大戰後歐羅巴に興れる國家中有力と認めらるる國を舉げ其の然る所以を説明せよ(天外)
- 歐羅巴洲中亞細亞人種(蒙古人種)に屬する邦國若しくは地方が歐洲戰爭の前後に於て其の

設 問 集 終

- 領土上政體上如何に變化せしやにつき記すべし(神商)
- 歐羅巴の北海に面せる國名を列舉しその各國の首府名を記せ(水産)
- 最近の世界大戰に参加せる主要國家を示せ(陸主)(海兵)
- 世界大戰後ヨーロッパ洲に於ける新興國の名稱及び首府を列舉せよ(東商)
- 舊埃太利洪牙利帝國の地域は世界大戰後何々國の領土に分れたるか(長商)
- 地中海に臨める邦國中歐羅巴に屬するものを列記し且同海中にある島の名三を舉げよ(海經)
- 歐洲に於て我が國より大使を派したる國の名稱政體及び首府を問ふ(東師)
- 歐羅巴に於ける我が領事駐在地を問ふ(小商)

日 三 月 二 年 四 十 正 大  
濟 定 檢 省 部 文

製 復 許 不

明治四十四年十月三十日印  
 明治四十四年十一月二日發  
 明治四十五年一月廿一日修正再版印刷  
 明治四十五年一月廿四日修正再版發行  
 明治四十六年十二月十三日修正十一版印刷  
 大正六年十二月十六日修正十一版發行  
 大正十四年一月二十三日修正十八版印刷  
 大正十四年一月二十六日修正十八版發行

中等最近世界地理(九訂版)	大正十四年度臨時定價
上卷定價金四拾壹錢	金七十四錢
中卷定價金四拾四錢	金七十九錢
下卷定價金四拾九錢	金八十八錢

編 纂 者

三省堂編輯所

東京市麴町區大手町一丁目一番地

印 發 者 兼

株式 三省 堂

代表者 神 保 周 藏

東京 府 荏 原 郡 蒲 田 町

印 刷 所

株式 三省 堂 印 刷 部

發 行 所

(東京市麴町區) 大手町

株式 三省 堂

電話牛込七二六三(振替口座東京三二五七)

第三學年組 岡崎克滿勝



Faint vertical text impressions on the right page, likely bleed-through from the reverse side. The characters are illegible due to fading.



広島大学図書

2000301541

